



同志社大学

Doshisha University

2027 年度

学部外国人留学生入学試験要項 (Ⅰ期入試・Ⅱ期入試)

同志社大学
留学生課国際入学係

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL (+81) -075-251-3257
E-mail ji-intad@mail.doshisha.ac.jp



この入学試験要項は本学ホームページからダウンロードできます。
https://intad.doshisha.ac.jp/intad/japanese_program/guide_entrance_exam.html

2027年度学部外国人留学生入学試験日程表

	I 期入試	II 期入試
インターネット出願 システム登録期間・ 入学検定料納入期間	2026年8月18日(火)～8月31日(月)	2026年11月2日(月)～11月16日(月)
出願受付期間 ※受付は郵送のみ	2026年8月18日(火)～8月31日(月) 17時(日本時間) 郵送必着 (韓国居住者については、2026年8月18日(火) ～2026年8月21日(金) 17時(日本時間)の期 間に限り、ソウル事務所にも郵送可)	2026年11月2日(月)～11月16日(月) 17時(日本時間) 郵送必着 (韓国居住者については、2026年11月2日(月) ～2026年11月6日(金) 17時(日本時間)の期 間に限り、ソウル事務所にも郵送可)
学部独自試験日	2026年10月10日(土)	2027年1月9日(土)
合格者発表日	2026年10月23日(金)	2027年1月22日(金)

次の入学試験要項は別冊をご覧ください。

■国際教育インスティテュート〔ILA〕国際教養コース

文学部・社会学部・法学部・経済学部・商学部・政策学部の6学部の外国人留学生と日本人学生を対象とした文系学部横断型のコース

(英語で教授される授業の履修のみで学位取得可能)

国際教育インスティテュート〔ILA〕ホームページ【URL：<https://ila.doshisha.ac.jp/ila/en/index.html>】

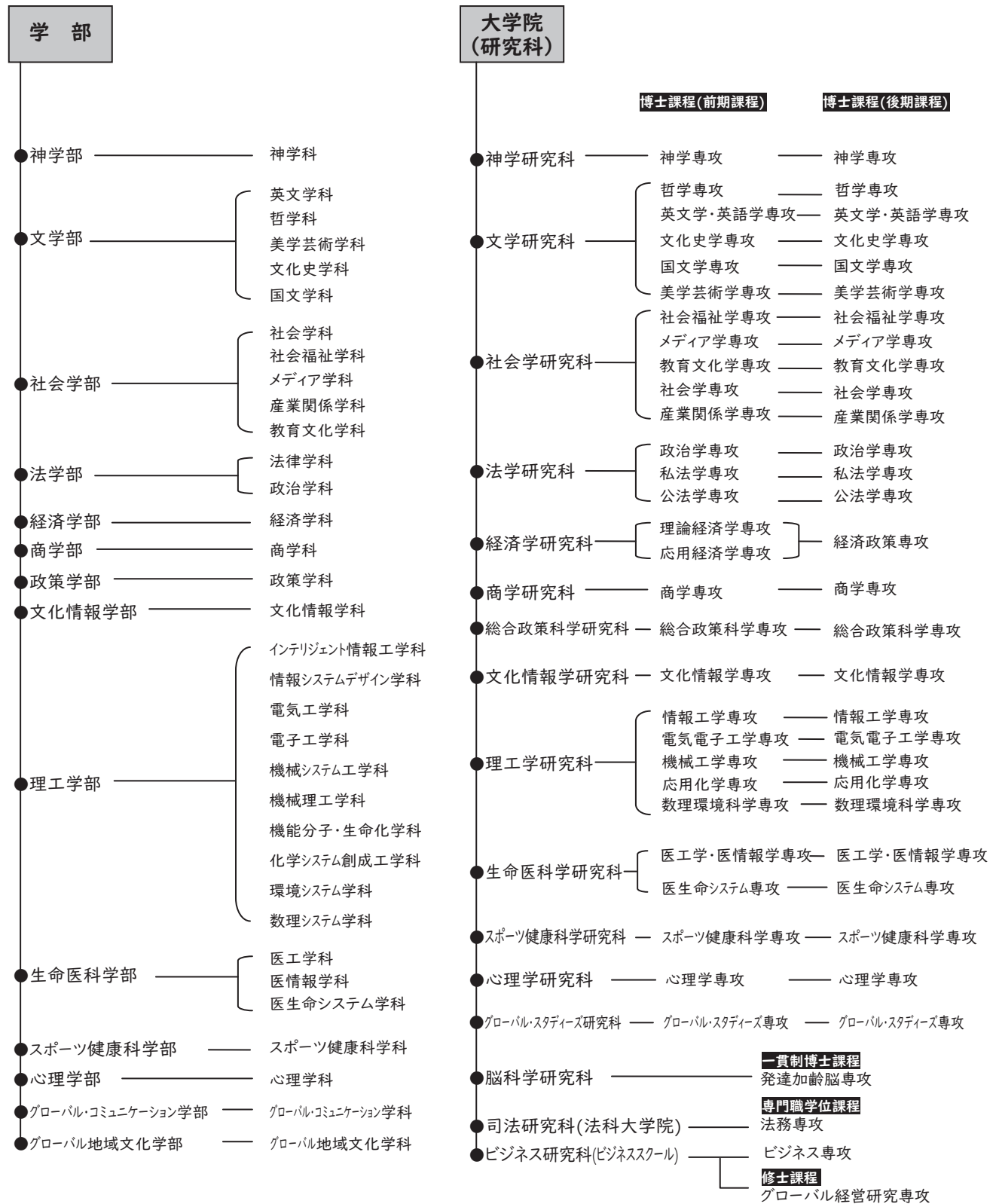


■グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科 日本語コース「外国人留学生公募制推薦選抜入学試験」

グローバル・コミュニケーション学部ホームページ【URL：<https://globalcommunications.doshisha.ac.jp/>】



同志社大学の組織



1. 学部の修業年限は4年です。
2. 本学学部学則および学位規程に基づき、4年以上在学し、学部学科所定の教育課程に従って授業科目を履修し、所定の単位を修得した者には学士の学位が授与されます。

1. 標準修業年限は、博士課程（前期課程）・修士課程・専門職学位課程は2年（ただし、法科大学院は3年）、博士課程（後期課程）は3年、一貫制博士課程は5年です。
2. 本学大学院学則および学位規程に基づき、博士課程（前期課程）・修士課程修了者には修士、博士課程（後期課程）および一貫制博士課程修了者には博士の学位が授与されます。
3. 本学専門職大学院学則・法科大学院学則および学位規程に基づき、司法研究科修了者には法務博士（専門職）、ビジネス研究科ビジネス専攻修了者にはビジネス修士（専門職）の学位が授与されます。

目 次

I 期入試

I. 募集学部・学科・コース／募集人数	1
II. 出願資格	2
III. 出願手続	4
IV. 出願書類	12
V. 選考内容	15
VI. 合格者発表	21
VII. 入学手続	22
VIII. その他の注意事項	24

II 期入試

I. 募集学部・学科・コース／募集人数	25
II. 出願資格	26
III. 出願手続	28
IV. 出願書類	34
V. 選考内容	37
VI. 合格者発表	42
VII. 入学手続	43
VIII. その他の注意事項	45

■ 学生納付金	47
■ 私費外国人留学生（学部生）のための学生生活支援情報	49
■ 試験に関する問い合わせ先	53
■ アクセスマップ	54
■ 所定用紙	巻末
様式① 同志社大学学部外国人留学生入学試験 志望理由書	
様式② 推薦状〔神学部出願者のみ〕	
様式③ 書類チェックシート	
様式④ 2027年度同志社大学入学検定料免除措置申請書	
様式⑤ 2027年度特定国からの外国人留学生に対する支援奨学金願書	

同志社大学外国人留学生入学試験 アドミッション・ポリシー

同志社大学は、創立者新島襄の建学の精神を実現するために、「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」という3つの基本的な教育理念を掲げて、今日までの長きにわたり国内外で活躍する有為な人材の輩出に努めてきました。これらの教育理念は、個儻不羈（てきとうふき・「才気がすぐれ、独立心が旺盛で、常軌では律しがたいこと」）の精神を兼ね備え、良心を手腕に運用する、社会の発展に貢献できる人物の育成を目指すものであり、同志社大学は、現在もその責務を果たすべく努力を積み重ねてきています。

なかでも、同志社大学では、「国際主義」の現代的実質化がますます重要になってきており、近年とみに国際的通用性を備えた教育課程の構築と充実および高度な日本語運用能力の涵養を目指す教育課程の充実が社会的要請として大学教育に求められています。さらに、グローバルスタンダードとしての教育・研究水準の国際化は、質の高い意欲ある国内外からの受験生にとって、大学選択の重要な要素になってきています。

同志社大学の外国人留学生受入に対する基本理念（アドミッション・ポリシー）は、上述の教育理念に基づいており、1）専門的・実学的能力を高める上でその土台となる、幅広い教養と柔軟な論理的思考能力を育成するために必要な基礎学力を有し、2）大学での学修において必要とされる知識だけでなく、強い意欲と熱意を持ち、3）高潔な社会的倫理観に支えられた優れた感性と徳性を備えた、質の高い外国人留学生（大学院生を含む）を受け入れることを目指しています。

神学部神学科

アドミッション・ポリシー	
神学部は、人類の営みに深く関わり、生きるための知恵と力を生み出してきた宗教、とりわけキリスト教、ユダヤ教、イスラーム教という3つの一神教とその世界について、文献の分析やフィールド調査などによって様々な角度から研究を行います。そうした研究をとおして、3つの一神教を、人間・言語・歴史・文化・社会の様々な側面と関連させつつ、客観的に考察するための知識と技能を身につけます。そして、それらの知識・技能に基づいて、3つの一神教に関する問題を主体的に発見し、その問題を他者と共有するとともに、学術的に解決を導くための思考力・学問的方法論・語学力などを養います。 神学部は、上記の知識・技能・思考力・表現力などを活用し、キリスト教会の牧師やキリスト教主義学校の聖書科教員として、あるいは、一般企業・公的機関・福祉・教育・研究・国際交流などの多様な分野で、国内外を問わず、主体性と協働性をもって活躍できる人材を育成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。	
神学部神学科の求める学生像	
知識・技能	キリスト教をはじめ、ユダヤ教、イスラーム教という3つの一神教を中心に、宗教とその世界に関する諸問題を客観的に考察するための知識・技能を積極的に習得しようとする学生を求めています。そのため、地理歴史・公民、宗教、国語、英語、美術、音楽などの様々な教科の学習をとおして、あるいは、報道や普段の生活、教会活動、課外活動、ボランティア活動などをとおして、上記の3つの一神教に対する強い関心を抱くようになり、それらの宗教の思想や、それらの宗教が人間の精神や芸術、社会や文化、政治や経済などとの間に取り結んできた豊かな関係について、高等学校の教科書程度の基礎的な知識を身につけていることが望まれます。
思考力・判断力・表現力	キリスト教をはじめ、ユダヤ教、イスラーム教という3つの一神教を中心に、宗教とその世界について様々な角度から学習・研究を行うためには、物事を筋道たてて考察する論理的な思考力と的確に批評する判断力を身につけ、調べたり考えたりしたことを明快に表現して他者と共有し、積極的に議論しようとする姿勢が求められます。そのため、高等学校の基礎的な数学の学習などをとおして論理的な思考方法を訓練し、国語や英語、美術や音楽などの学習をとおして建設的な批評を経験し、教会活動、課外活動、ボランティア活動などをとおして自分の考えを他者に説明して議論することを体験しておくことが望まれます。
主体性・多様性・協働性	神学部では、宗教という人間の精神や価値観の根本に関わる事柄について、学生自身が主体的に問題を見出し、自発的に学習・研究を進めていくことを重視しています。そのため、自らの精神を見つめ、人間の生きるべき道について謙虚に問い求める学生を求めています。同時に、世界には様々な宗教があり、キリスト教、ユダヤ教、イスラーム教という3つの一神教の間にも、多くの共通点とともに多くの相違点もあります。そのため、人間・言語・歴史・文化・社会の多様性を重んじ、異なるものの見方を学術的に理解し、他者と協働しながら様々な問題を究明する態度を育もうとすることが望まれます。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
神学部が研究・教育の対象としている3つの一神教（キリスト教、ユダヤ教、イスラーム教）は、世界の各地で多様な人々に信仰されています。神学部では、世界の様々な国や地域から、様々な信仰や言語を背景に持ちつつ、3つの一神教を多様な角度から主体的に学習・研究しようとする熱意ある学生を選抜しています。そのため、3つの一神教に関する基礎的な知識と、各教科（自国語、英語、地理歴史・公民、数学など）において日本の高等学校卒業と同程度の知識・技能を身につけるとともに、神学部での授業を理解できるだけの日本語能力・英語能力を習得していることが望まれます。同時に、それぞれの出身国・地域の言語や文化などにも理解を深め、そうした自身の背景に根ざした3つの一神教に対する強い関心と、異なる背景を持つ人々と協働しながら主体的に学習・研究に取り組もうとする積極的な姿勢を育てておくことが望まれます。	

入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	キリスト教やユダヤ教、イスラーム教に関する学習・研究の基礎として十分な知識・技能を身につけ、論理的・批判的に学習・研究を進める思考力・判断力と、自身の見解を的確に説明する表現力を持ち、他者との協働をとおして主体的に学習・研究に取り組む意欲ある学生を選抜するために、出願書類と面接によって、総合的かつ適正に審査します。出願書類では、日本の高等学校卒業と同程度の知識・技能を習得し、十分な日本語能力・英語能力を身につけていることを確認するとともに、上記の3つの一神教に対する強い関心を論理的に表現できていることなどを中心的に評価します。面接では、神学部で学びたい具体的な内容とその背景・理由を確認しつつ、異なる見解を持つ他者と建設的に議論をする能力や、主体的に学習・研究に取り組もうとする姿勢を中心的に評価します。

文学部

アドミッション・ポリシー
文学部は、キリスト教主義・自由主義・国際主義に基づく人間形成を根本的な教育理念として、人文学の諸領域（英文学・哲学・美学芸術学・文化史学・国文学）における専門的な教育・研究をとおして、現代のグローバル社会の諸課題に自立的かつ実践的に対応する力を備えた人物を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

文学部英文学科

文学部英文学科の求める学生像	
知識・技能	言語、文学、思想、宗教、芸術、文化、歴史、社会などの基本的知識を有し、これらに対して幅広い興味と関心を持っている学生。
思考力・判断力・表現力	高等学校までに培った確かな基礎学力に加え、それに基づく論理的思考力や判断力、それを的確に表現する力を身につけている学生。
主体性・多様性・協働性	何事も自明のことと思わず、自ら問題を発見し、合理的な手続きを踏んで、説得力のある解答を求めようとする学生。 多様な価値観を持った人々との協働作業を通じて、グローバル社会の問題の解決策を探ろうとする学生。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、グローバル社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、文学部英文学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力に加えて、英米文学・英米文化および英語学・英語教育に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ文学部英文学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）、口頭試問等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、文学部英文学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、文学部英文学科への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

文学部哲学科

文学部哲学科の求める学生像	
知識・技能	言語、文学、思想、宗教、芸術、文化、歴史、社会などの基本的知識を有し、これらに対して幅広い興味と関心を持っている学生。
思考力・判断力・表現力	高等学校までに培った確かな基礎学力に加え、それに基づく論理的思考力や判断力、それを的確に表現する力を身につけている学生。
主体性・多様性・協働性	何事も自明のことと思わず、自ら問題を発見し、合理的な手続きを踏んで、説得力のある解答を求めようとする学生。 多様な価値観を持った人々との協働作業を通じて、グローバル社会の問題の解決策を探ろうとする学生。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、文学部哲学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、哲学・倫理学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	

入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験 (Ⅰ期入試・Ⅱ期入試)	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ文学部哲学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類(日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等)、口頭試問等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、文学部哲学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、文学部哲学科への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

文学部美学芸術学科

文学部美学芸術学科の求める学生像	
知識・技能	言語、文学、思想、宗教、芸術、文化、歴史、社会などの基本的知識を有し、これらに対して幅広い興味と関心を持っている学生。
思考力・判断力・表現力	高等学校までに培った確かな基礎学力に加え、それに基づく論理的思考力や判断力、それを的確に表現する力を身につけている学生。
主体性・多様性・協働性	何事も自明のことと思わず、自ら問題を発見し、合理的な手続きを踏んで、説得力のある解答を求めようとする学生。 多様な価値観を持った人々との協働作業を通じて、グローバル社会の問題の解決策を探ろうとする学生。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、文学部美学芸術学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、美学芸術学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験 (Ⅰ期入試・Ⅱ期入試)	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ文学部美学芸術学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類(日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等)、口頭試問等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、文学部美学芸術学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、文学部美学芸術学科への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

文学部文化史学科

文学部文化史学科の求める学生像	
知識・技能	言語、文学、思想、宗教、芸術、文化、歴史、社会などの基本的知識を有し、これらに対して幅広い興味と関心を持っている学生。
思考力・判断力・表現力	高等学校までに培った確かな基礎学力に加え、それに基づく論理的思考力や判断力、それを的確に表現する力を身につけている学生。
主体性・多様性・協働性	何事も自明のことと思わず、自ら問題を発見し、合理的な手続きを踏んで、説得力のある解答を求めようとする学生。 多様な価値観を持った人々との協働作業を通じて、グローバル社会の問題の解決策を探ろうとする学生。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、文学部文化史学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、文化史学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験 (Ⅰ期入試・Ⅱ期入試)	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ文学部文化史学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類(日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等)、口頭試問等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、文学部文化史学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、文学部文化史学科への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

文学部国文学科

文学部国文学科の求める学生像	
知識・技能	言語、文学、思想、宗教、芸術、文化、歴史、社会などの基本的知識を有し、これらに対して幅広い興味と関心を持っている学生。
思考力・判断力・表現力	高等学校までに培った確かな基礎学力に加え、それに基づく論理的思考力や判断力、それを的確に表現する力を身につけている学生。
主体性・多様性・協働性	何事も自明のことと思わず、自ら問題を発見し、合理的な手続きを踏んで、説得力のある解答を求めようとする学生。 多様な価値観を持った人々との協働作業を通じて、グローバル社会の問題の解決策を探ろうとする学生。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、文学部国文学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、国文学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ文学部国文学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）、口頭試問等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、文学部国文学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかななどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、文学部国文学科への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

社会学部社会学科

アドミッション・ポリシー	
社会学部社会学科は、同志社大学が掲げるキリスト教主義・自由主義・国際主義に基づく人間形成を根本的な教育理念として、社会学および人類学の専門的な教育・研究をおこなっています。そして、複雑化する現代社会が直面する問題を、社会学および人類学の諸理論と計量調査や質的調査に基づく実証的データによって解明することで、その解決のために自律的に思考・行動できる人材を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。	
社会学部社会学科の求める学生像	
知識・技能	社会学および人類学がどのような特色をもった学問なのかについて理解を有している学生を求めています。 社会に氾濫する情報の真偽を自分の目で確かめようとする態度や、批判的思考力、及び基礎的な情報リテラシーを身につけている学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	日本語・英語の基礎的な言語力とコミュニケーション能力、論理的な思考力、自分の個性をいかした豊かな表現力を備えている学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	激動する社会や、そこにおける人間関係、社会と人間のより良い関係などについて幅広い興味と関心を持っている学生を求めています。 社会において解決すべき諸問題を自ら発見し、科学的かつ合理的な方法によって解決しようとする意欲と態度を備えた学生を求めています。 社会的マイノリティの問題を自分自身の問題として捉え、そのような立場からも、社会の動きを捉えることができる学生を求めています。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、社会学部社会学科での専門性を身につけるために必要な日本語・英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、社会学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ社会学部社会学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、社会学部社会学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」が備わっているかななどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、社会学部社会学科での学修に必要な「知識・技能」の評価に重点を置き、総合的に審査しています。

社会学部社会福祉学科

アドミッション・ポリシー	
社会学部社会福祉学科は、同志社大学が掲げるキリスト教主義・自由主義・国際主義に基づく人間形成を根本的な教育理念として、社会福祉学の専門的な教育・研究をおこなっています。そして、社会において生じる個人や社会の問題を解決するために必要な専門的知識や技能を培い、自立的かつ実践的に現代社会の変化に対応できる力を備えた人材を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。	
社会学部社会福祉学科の求める学生像	
知識・技能	社会に氾濫する情報の真偽を自分の目で確かめようとする態度や、批判的思考力、及び基礎的な情報リテラシーを身に付けている学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	日本語・英語の基礎的な言語力とコミュニケーション能力、論理的な思考力、自分の個性をいかした豊かな表現力を備えている学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	現代社会や、そこにおける人間関係、社会と人間のより良い関係などについて幅広い興味と関心を持っている学生を求めています。 社会において解決すべき諸問題を自ら発見し、科学的かつ合理的な方法によって解決しようとする意欲と態度を備えた学生を求めています。 社会的マイノリティの問題を自分自身の問題として捉え、そのような立場からも、社会の動きを捉えることができる学生を求めています。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、社会学部社会福祉学科での専門性を身につけるために必要な日本語・英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、社会学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ社会学部社会福祉学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、社会学部社会福祉学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、社会学部社会福祉学科での学修に必要な「知識・技能」の評価に重点を置き、総合的に審査しています。

社会学部メディア学科

アドミッション・ポリシー	
社会学部メディア学科は、同志社大学が掲げるキリスト教主義・自由主義・国際主義に基づく人間形成を根本的な教育理念として、情報社会において重要さを増すメディアの社会的機能とその直面する課題等に関して広く学術的知見に基づいた教育・研究を行っています。様々な社会的課題とメディアの関係や、メディアにかかわる課題等について、他者と協働して解決策を考案し、それを論理的にわかりやすく他者に伝えることができる人材の養成を目指しています。そのために、次のような学生を求めています。	
社会学部メディア学科の求める学生像	
知識・技能	メディアが飛躍的に発展した情報社会と言われる今日の世界を理解するために、メディアの社会的機能や課題に興味を持つ学生を求めます。テレビや新聞などのマスメディアや、インターネットやSNSといったメディアのシステムや技術に加えて、ニュースやテレビ・ドラマ、映画、漫画、広告、音楽などといった表現そのものに対する幅広い関心を持った学生を求めます。
思考力・判断力・表現力	インターネットなどを通じてあふれる情報の中には、有用なものと同時に、虚偽や有害なものも多くふくまれています。そうした情報を批判的に解釈すると同時に、様々な社会の課題を解決するために、メディアをいかにして利用できるかを考え、その考えを表現し、論理的にわかりやすく、他者に伝える意欲を持った学生を求めます。
主体性・多様性・協働性	メディアを通じて得られる多様な情報に触れ、多様な他者の存在を認める寛容な精神を育みたいという意思を持った学生を求めます。また、広く社会に対して関心を持つと同時に、主体的にメディアを利用し、多様な他者と協働してメディアのあるべき将来像を提示しようとする意欲を持った学生を求めます。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、社会学部メディア学科での専門性を身につけるために必要な日本語・英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、社会学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	

入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ社会学部メディア学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、社会学部メディア学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、社会学部メディア学科での学修に必要な「知識・技能」の評価に重点を置き、総合的に審査しています。

社会学部産業関係学科

アドミッション・ポリシー	
社会学部産業関係学科は、同志社大学が掲げるキリスト教主義・自由主義・国際主義に基づく人間形成を根本的な教育理念として、産業関係学の専門的な教育・研究をおこなっています。そして、雇用と労働に関する課題を理解するために必要な基礎的知識や技能を習得し、その知識を応用して未知の課題を探求する態度を養い、問題提起することができる人物の養成を目的としています。そのために、次のような学生を求めています。	
社会学部産業関係学科の求める学生像	
知識・技能	社会に氾濫する情報の真偽を自分の目で確かめようとする態度や、批判的思考力、及び基礎的な情報リテラシーを身に付けている学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	日本語・英語の基礎的な言語力とコミュニケーション能力、論理的な思考力、自分の個性を生かした豊かな表現力を備えている学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	激動する社会や、そこにおける人間関係、社会と人間のより良い関係などについて幅広い興味と関心を持っている学生を求めています。 社会において解決すべき諸問題を自ら発見し、科学的かつ合理的な方法によって解決しようとする意欲と態度を備えた学生を求めています。 社会的マイノリティの問題を自分自身の問題として捉え、そのような立場からも、社会の動きを捉えることができる学生を求めています。 社会的存在としての人間において根源的な営みである「働く」ことについて、強い関心と問題意識をもっている学生を求めています。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、社会学部産業関係学科での専門性を身につけるために必要な日本語・英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、社会学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ社会学部産業関係学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、社会学部産業関係学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、社会学部産業関係学科での学修に必要な「知識・技能」の評価に重点を置き、総合的に審査しています。

社会学部教育文化学科

アドミッション・ポリシー	
社会学部教育文化学科は、同志社大学が掲げるキリスト教主義・自由主義・国際主義に基づいて、多文化共生社会における教育文化による人間形成に関する専門的な教育と研究を行っています。この目的は、グローバル化が進む下で激動する現代社会の諸課題の解決へ向けて、本学科で修得した知識と技能を活かして主体的に思考し、賢明に判断し、他者と協調して行動できる人材を養成することにあります。そのために、次のような学生を求めています。	
社会学部教育文化学科の求める学生像	
知識・技能	大学での学修成果を活かして、社会貢献につながる職業を目指そうとする学生を求めています。（社会貢献）
思考力・判断力・表現力	日本語の能力はもちろん、英語の総合的な運用能力の向上に努力している学生を求めています。（英語能力）
主体性・多様性・協働性	多文化共生社会における教育文化による人間形成について幅広く興味と関心を持っている学生を求めています。（興味関心） 学習目標を自ら設定して着実に努力し、教員や他の学生と協働して学べる学生を求めています。（学習姿勢） 海外留学、国際交流活動、多様な異文化体験などに積極的に挑戦していく学生を求めています。（海外雄飛）
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、社会学部教育文化学科での専門性を身につけるために必要な日本語・英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、社会学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	

入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ社会学部教育文化学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、社会学部教育文化学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、社会学部教育文化学科での学修に必要な「知識・技能」の評価に重点を置き、総合的に審査しています。

法学部法律学科

アドミッション・ポリシー	
法学部法律学科は、法学についての体系的・専門的知識を修得し、これをもとに法を理解することができ、法学についての専門的な知識を活用して、法的問題の妥当な解決を図ることができ（いわゆるリーガルマインドを身につけ）、社会において幅広く活躍することができるような人材を養成することを目的としています。そのために次のような学生を求めています。	
法学部法律学科の求める学生像	
知識・技能	社会科学に関する一般的素養を備え、常に新しい物事に向き合う精神を有し、幅広い視野の下で学問に取り組む意欲をもつ学生を求めます。 法学は、さまざまな社会的要因（法、経済、政治等）が複合的に関連し、それらの相互作用の下にある問題を取り扱います。法律はもちろん、それ以外の多様な社会科学的及びその他の学問的素養は、問題のより良い解決には極めて重要です。また、現代社会の変化の潮流は激しく、変化のスピードも速くなっています。そのような社会で起こるさまざまな問題への対処には、一度得た知識や認識にとどまることなく、常に新しい物事に取り組む姿勢が必須となります。法学についての体系的・専門的知識を修得し、リーガルマインドを身につけることを目指す法学部法律学科は、このようなことから、法学はもちろん、それ以外のさまざまな学問分野への興味関心を維持し、追究する意欲を有する学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	論理的思考力、高度な日本語能力を有する学生を求めます。 法学にかかわる問題の中には、複雑な状況下で、相対立する利害関係が絡み合うものがあります。また、問題の解決法は多様であり、一つの解決法のもたらす効果はさまざまです。そのような問題についての判断を行う際には、複雑な状況や利害関係、多様な問題解決法やその効果などを明確に整理分析し、筋道を立てて説明・主張を行い、批判・反論を行うことが必要です。法的専門知識を活用し、法的問題の妥当な解決を図る技能の修得を目指す法学部法律学科は、以上を可能とする論理的思考力や高い言語能力（相手の主張を言語上及び文章上で正確に理解し、論理的・説得的に活発な批判的議論を展開し、それらに対応した論理的説得的な議論や文章を構成したりできる言語操作能力など）をもつ学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	広く国際的な視野をもち、高度な外国語能力を有しつつ、社会における活躍の場を求め、主体性を持って多様な人々と協働する意欲に富む学生を求めます。 現代の法律問題は、国内的なものにとどまりません。市民活動自体や企業活動自体、政治問題自体が国際的な場合もあれば、国内的なものに見える場合であっても国外との密接な関わりを視野に入れなければ、的確な認識が不可能で、より良い解決策を提示できない問題も多くあります。また、現代日本が国際的におかれた状況を鑑みると、日本国内から外国の状況を見るだけでなく、国際的な場で日本の状況を発信しながら、問題に対応すること、又は、日本を離れた国際的な場に意識や身をおいて問題に対応すること、というようにグローバルな視野が不可欠になってきています。 法的専門知識を活用し、社会において幅広く活躍する人材の育成を目指す法学部法律学科において、学生の活躍の場（大学卒業後の進路）は、多種多様です。典型的な法律職である法曹（裁判官・検察官・弁護士）はもちろん、それ以外の法律関係職（司法書士、税理士など）、企業における法務担当者、国内の各種公務員・外交官や国際公務員、政治家、ジャーナリスト、会社従業員などがありますが、志望や適性に応じ、各自の自由な選択にゆだねられています。国際的な場面に乗り出す積極性をもつことが歓迎されますし、選択した場が国内であっても、ここで示したような認識をもって積極的に行動し、相互コミュニケーションを可能とする高度な外国語能力はもちろん、世界的な多様な事象に対して広い観点から分析を加えて判断を行える学生を法学部法律学科は求めています。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
法学についての体系的・専門的知識を修得し、これをもとに法を理解することができ、法学についての専門的な知識を活用して、法的問題の妥当な解決を図ることができる能力を備えるために、自国の歴史や文化に対する深い理解、他者との関係構築に必要なコミュニケーション能力、法学部法律学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、法学に対する関心、学習意欲等を身につけておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ法学部法律学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）、面接等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」、法学部法律学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかについて適正に評価しています。なお、上記に加えて同志社大学で学修するために必要である高度な日本語能力が備わっているかについても評価しています。とりわけ、本入試においては、法学部法律学科への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

法学部政治学科

アドミッション・ポリシー	
法学部政治学科は、政治学についての体系的・専門的知識にもとづき、政治をはじめとする、過去・現在における国内外の多様な社会現象に関する妥当な価値判断を行い、それらを理論的・実証的に分析することによって、社会における多くの分野で問題を発見・解決できる能力を備えた人材を養成することを目的としています。そのために次のような学生を求めています。	
法学部政治学科の求める学生像	
知識・技能	社会科学に関する一般的素養を備え、常に新しい物事に取り組む進取の精神に富む学生を求めます。 政治学は、法律、社会、経済、文化、歴史、思想などさまざまな要因の相互作用を取り扱います。政治学のみならず、それ以外のさまざまな社会科学に関する一般的素養は、政治学を学び、それを生かして問題解決に当たるために極めて重要です。また目まぐるしく変化する現代社会で起こる問題に対処するためには、一度得た知識や認識にとどまることなく、常に新しい物事に取り組む姿勢が必須となります。このようなことから、政治をはじめとする、過去・現在における国内外の多様な社会現象に関する妥当な価値判断を行い、それらを理論的・実証的に分析できるようになることを目指す法学部政治学科は、政治学はもちろん、それ以外のさまざまな社会科学への幅広い興味関心をもち、それらを追究する意欲をもつ学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	論理的思考力および高度な言語能力を有する学生を求めます。 政治学の対象となる問題には、相互に対立する利害が複雑に絡み合うものが多く含まれます。またそうした問題の解決法は多様であり、それぞれの解決法がもたらす効果もさまざまです。これらに適切に対応するためには、利害関係を明快に整理・分析し、複数の問題解決法とその効果を検討するとともに、そこから得られた自分の結論について筋道を立てて説明する能力が求められます。そうすることではじめて多くの人が納得する、説得力のある議論を展開することが可能になります。このようなことから、社会のさまざまな局面における問題の原因の解明を行い、しかるべき方針を決定し、その内容を論理的に他者に伝えることができるようになることを目指す法学部政治学科は、これらの基礎となる論理的思考力および高度な言語能力をもつ学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	広く国際的な視野と高度な外国語能力をもちいて、国内外に活躍の場を求める意欲に富む学生を求めます。 政治学の対象となる問題は国内的なものにとどまりません。一見、国内的なものに見えたとしても海外との密接な関わりを視野に入れることなしには的確な認識が不可能であり、適切に対処することができない問題が多く存在します。また国と国との相互依存の関係がさまざまな分野で進展している現状に鑑み、日本国内から海外を見るだけではなく、国際社会における日本の状況を把握する広い視野が不可欠になっています。このようなことから、国内外で多様な背景をもつ他者に積極的に働きかけ、相互理解を深め、協力して政治的・社会的問題の妥当な解決を図ることができるようになることを目指す法学部政治学科は、大学卒業後の活動の場を、国内に求めるにせよ、海外に求めるにせよ、広く国際的な視野と高度な外国語能力をもつ学生を求めています。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
政治学の体系的・専門的知識にもとづいてさまざまな社会現象に関する妥当な価値判断を行い、それらを理論的・実証的に分析することによって、社会における多くの分野で問題を発見・解決する能力を備えるために、自国の歴史や文化に対する深い理解、他者との関係構築に必要なコミュニケーション能力、法学部政治学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、政治学に対する関心、学習意欲等を身につけておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ法学部政治学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）、面接等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」、法学部政治学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかについて適正に評価しています。なお、上記に加えて同志社大学で学修するために必要である高度な日本語能力が備わっているかについても評価しています。とりわけ、本入試においては、法学部政治学科への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

経済学部経済学科

アドミッション・ポリシー	
経済学部は、長い歴史に培われてきた教育研究環境の下で、幅広い教養を身につけるための科目、経済学の系統的・段階的理解をはかる科目、および問題発見と問題解決能力の強化をはかる科目を提供し、主体的な学修を促すことにより、国際化する経済・社会の状況に対応し、広く社会のために行動しうる、自治自立の人物を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。	
経済学部経済学科の求める学生像	
知識・技能	経済学部では、文章表現能力、語学能力、情報処理能力をはじめとする技能を活用して、理論的、制度的あるいは歴史的な経済学的知見をもとに、国際化する経済・社会の状況を理解できるようになるために、表現・コミュニケーションの基礎となる言語的能力や論理的思考の基礎となる数理的能力といった基礎学力を有する学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	経済学部では、系統的・段階的に学んだ経済学的知見をもとに、国際化する経済・社会に対応した適切な問題解決方法を提案できるようになるために、同志社の建学の精神を尊重し、経済学部教育目標の下、経済学部における専門的知識および幅広い教養の修得に意欲を有する学生を求めています。

主体性・多様性・協働性	経済学部では、良心を手腕に国際化する経済・社会の諸課題に自ら関わり、幅広い教養や経済学的知見をもとに、主体的に行動できるようになるために、問題発見・問題解決能力の修得に意欲を有し、国際化する経済・社会に貢献しようとする意志を有する学生を求めています。また、その過程で、他者との関わりの中で自らの役割を認識し、その役割を果たせるよう不断的な努力を惜しまない学生を求めています。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
国際化する経済・社会の状況に対応し、広く社会のために行動していくためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が必要です。そのためには、自国の歴史や文化に対する理解、経済学部での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力や学習意欲を持っていることを期待します。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ経済学部で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）、口頭試問等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、経済学部で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。

商学部商学科

アドミッション・ポリシー	
商学部では、現代産業社会の経済活動について、基礎的な知識の修得をはかるとともに豊かな教養を培い、専門領域の体系的かつ系統的な教育方針に基づく学習と実践的能力の育成を通して、企業や産業に関わる諸問題を的確に分析し、その解決のための判断能力を身につけ、多様な価値観が共存する世界の人々とともに「良心を手腕に運用する」有為な人物を養成することを目的としています。こうした観点から、商学部では、次のような学生を求めています。	
商学部商学科の求める学生像	
知識・技能	商学部では、経済社会のさまざまな現象に対して、日頃から関心と興味をもち、実践的かつ高度な専門知識及び技能を身につけ、それらを用いて、経済社会の諸課題の解決に向けて、主体的かつ積極的に取り組む学生を求めています。「好きこそものの上手なれ」というように、興味関心こそ意欲を持って学ぶうえでの必要条件です。
思考力・判断力・表現力	商学部では、物事を判断・主張・批判する際に、常に明確な根拠（理由）を立てて説明することができ、また複雑な状況を整理し順序立てて考えられる論理的思考力、それを記述（発言）することのできる表現力（説得力があり、分かりやすい文章が書ける能力）に優れている学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	商学部では、目的意識が明確で、多様な背景をもつ仲間とともに困難に立ち向かうことのできる学生を求めています。明確な目的意識とそれを実現しようとする強い意欲があれば、大きく成長することができます。また、グローバル化が進むビジネスの世界では、多様な文化的背景を持つ同僚や顧客と協働し、価値を創造していくことが必要になります。したがって、何のために商学部に入學するのかが明確であり、その目的に向かって多様な仲間たちと困難を乗り越え努力しようとする強い意志をもつ人物こそが求める人物像です。たとえば、「経営者・ビジネスリーダーになる」「将来、起業する」「公認会計士、税理士になる」「経営コンサルタントになる」「専門的なビジネス知識を身につけた社会人になる」「大学院に進学して産業・企業活動の研究者になる」「経済人としてグローバルに活躍できる能力を身につける」など、一人一人目的は違っても明確であることが望まれます。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する深い理解、商学部での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、商学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ商学部で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）、面接等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、商学部で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、商学部への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

政策学部政策学科

アドミッション・ポリシー	
政策学部は、グローバル化や情報化が進む現代社会において、多様化・複雑化する諸課題に対し、自ら問題を発見し、解決する能力を備えた自律的人材の養成を目的としています。そのため政治、経済、法律、組織を柱とした政策学の体系的かつ系統的な教育方針に基づき、社会科学横断的な知識と具体的課題を客観的に調査分析する技能を学び、その実践的能力の育成を目指します。そして問題解決に至る政策の理論と方法を学ぶとともに、公的機関や民間企業、NPO・NGOなどの現場を重視した実践的な教育も行います。こうした観点から、政策学部では、次のような学生を求めています。	
政策学部政策学科の求める学生像	
知識・技能	政策学部では、日本国内外で起きている社会の出来事、組織の中の人々の活動など、現代社会のさまざまな現象や問題に対して、日頃から関心をもち、かつ地域やグローバル社会が直面する課題解決に自ら貢献しようとする学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	政策学部では、意欲ある学生が互いに切磋琢磨する中で視野を広げ、柔軟で革新的な発想や工夫を生んでいくことが、課題解決に向けた重要なプロセスであると考えています。したがって、物事を判断・主張・批判する際に、常に明確な根拠（理由）を立てて説明することができ、また複雑な状況を整理し順序立てて記述（発言）することのできる論理的思考力がある学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	政策学部では、現代社会の諸問題に関心をもち、かつこうした問題の解決に自らが関わり、貢献しようとする主体的で積極的な学生を求めています。問題解決の実践にあたっては、主体性や意欲だけではなく、他者の意見を尊重し、多様性を受け入れ、異なる立場の人とも協働して学ぶ態度を身につけていなければなりません。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、政策学部での専門性を身につけるために必要な日本語、英語能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、政策学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ政策学部で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、政策学部で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、などを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、政策学部への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

文化情報学部文化情報学科

アドミッション・ポリシー	
文化情報学部は、文化に関する確かな情報が社会問題の解決において枢要であることを理解し、課題の解決のために実践的にデータを利活用する学問としての「データサイエンス」の方法論に基づいて、新たな価値を析出・創造できる人物を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。	
文化情報学部文化情報学科の求める学生像	
知識・技能	広い意味での文化についての知識や関心とともに、データサイエンスの技法を学ぶための基礎となる知識と技能を身につけている学生
思考力・判断力・表現力	本学部の探究的カリキュラムを十分に生かすための言語の運用能力に加え、数理的な理解力・表現力・思考力を身につけている学生
主体性・多様性・協働性	人間をとりまくさまざまな文化現象の中に新しい価値を見だし、それを社会問題の解決につなげようとする開拓的かつ向社会的な精神をもつ学生
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、文化情報学部での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、文化とデータサイエンスに対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ文化情報学部で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）、口頭試問等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、文化情報学部で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかななどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、文化情報学部への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

理工学部インテリジェント情報工学科

アドミッション・ポリシー	
理工学部インテリジェント情報工学科では、情報科学・情報工学分野、特にハードウェアやセンシング・制御技術、人工知能について、多様で体系的なカリキュラムに基づく講義や実習をとおして、基礎および応用を深く学びます。そして、問題を論理的に分析し、コンピュータをより知的にする情報技術を開発・応用する技能を有し、様々な分野で活躍できる人材を養成することを目的としています。そのため、次のような学生を求めています。	
理工学部インテリジェント情報工学科の求める学生像	
知識・技能	インテリジェント情報工学科では、問題を論理的に分析し、先端技術の開発・応用ができるようになる素養を持つ学生を求めています。高等学校までの履修内容のうち、「数学」と「理科」を通じて得られた科学的な知識と論理的に分析する素養を評価します。また、国際化された情報科学・情報工学分野では「英語」の知識・技能も必要です。
思考力・判断力・表現力	「数学」と「理科」により培った基礎学力に基づき、種々の問題を解決し得る基礎的な技術を考え出す思考力や判断力を習得している学生を求めています。さらに「英語」で学んだことを活かして、考え出した技術を理路整然と明確に説明・記述できる力が望まれます。
主体性・多様性・協働性	自然現象に対する関心や探究心をもち、目的意識をもって観察・実験などに取り組み、科学的に探究する能力と態度を兼ね備えた「人間のための科学技術」に貢献しようとする学生を求めています。特に、著しい速さと広がりで発展している情報科学・情報工学分野では、自主的・積極的に学び続ける姿勢が必要です。世界中で情報技術が社会を支えるインフラであることを意識して、多様な人々に共通して役立つ技術開発を考える力も望まれます。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
世界を舞台に活躍する科学技術者になるためには、多様な文化や価値観を理解尊重し、円滑なコミュニケーションと積極的な意見主張ができる素養が求められます。この素養は、問題を多面的に観察分析して解決策に導くことにもつながります。インテリジェント情報工学科では、この素養の源となる自国と日本の文化や価値観の十分な理解、および、情報科学・情報工学を学ぶ上で必要な能力を備えた人物を求めています。具体的には、日本語、英語等の外国語運用能力、数学、理科等の基礎学力と論理的思考能力、情報関連の技術と応用への強い関心を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	外国の学校教育を通じて培われた基礎学力、多面的に物事を捉える視点、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を持ち、インテリジェント情報工学科で学ぶ高い意欲を持つ人物を選抜します。出願書類（日本留学試験、日本語）と英語能力を証明する書類により、コミュニケーションに必要な「知識・技能」を評価します。出願書類（日本留学試験、数学、理科）からは、情報科学・情報工学に必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。さらに、志望理由書を通して学習意欲と「主体性・多様性・協働性」を評価しています。特に、インテリジェント情報工学科では、問題を論理的に分析して先端技術の開発・応用ができる人物になり得るかに重点を置き、総合的に審査しています。

理工学部情報システムデザイン学科

アドミッション・ポリシー	
理工学部情報システムデザイン学科では、情報科学・情報工学分野、特にヒト・モノ・AI・IoT・ビッグデータを連携させる基盤技術とシステム開発について学びます。多様で体系的なカリキュラムに基づく講義や実習をとおして、基礎から応用まで習得していきます。そして、物事の本質を見極めて、人と社会に役立つ情報システムを企画・設計・開発する技能を有し、様々な分野で活躍できる人材を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。	
理工学部情報システムデザイン学科の求める学生像	
知識・技能	情報システムデザイン学科では、物事の本質を見極めて、社会に役立つ情報システムを企画・設計・開発できるようになる素養をもつ学生を求めています。高等学校までの履修内容のうち、「数学」と「理科」を通じて得られた科学的な知識と本質を見極める素養を評価します。また、国際化された情報科学・情報工学分野では「英語」の知識・技能も必要です。
思考力・判断力・表現力	「数学」と「理科」により培った基礎学力に基づき、様々な問題の背後にある本質を論理的に見出す思考力や判断力を習得している学生を求めています。さらに、「英語」と「国語」で学んだことを活かして、問題解決のアイディアと実現方法を正確に分かりやすく説明できる力が望まれます。
主体性・多様性・協働性	自然現象に対する関心や探究心をもち、目的意識をもって観察・実験などに取り組み、科学的に探究する能力と態度を兼ね備えた「人間のための科学技術」に貢献しようとする学生を求めています。特に、著しい速さと広がりで発展している情報科学・情報工学分野では、自主的・積極的に学び続ける姿勢が必要です。社会に役立つ情報システムを意識して、多様な人々がともに活動できる場を考えることも望まれます。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
世界を舞台に活躍する科学技術者になるためには、多様な文化や価値観を理解尊重し、円滑なコミュニケーションと積極的な意見主張ができる素養が求められます。この素養は、問題を多面的に観察分析して解決策に導くことにもつながります。情報システムデザイン学科では、この素養の源となる自国と日本の文化や価値観の十分な理解、および、情報科学・情報工学を学ぶ上で必要な能力を備えた人物を求めています。具体的には、日本語、英語等の外国語運用能力、数学、理科等の基礎学力と論理的思考能力、情報関連の技術と応用への強い関心を備えておくことが望ましいでしょう。	

入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	外国の学校教育を通じて培われた基礎学力、多面的に物事を捉える視点、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を持ち、情報システムデザイン学科で学ぶ高い意欲を持つ人物を選抜します。出願書類（日本留学試験、日本語）と英語能力を証明する書類により、コミュニケーションに必要な「知識・技能」を評価します。出願書類（日本留学試験、数学、理科）からは、情報科学・情報工学に必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。さらに、志望理由書を通して学習意欲と「主体性・多様性・協働性」を評価しています。特に、情報システムデザイン学科では、物事の本質を見極めて社会に役立つ情報システムを企画・設計・開発できる人物になり得るかに重点を置き、総合的に審査しています。

理工学部電気工学科

アドミッション・ポリシー	
理工学部電気工学科は、電力の安定供給と省エネルギー化を支える電気工学分野の基礎理論とそれらを応用・展開する能力を養い、学問領域の修得を目指して体系的に編成したカリキュラムを通して、電気工学に関わる技術課題を主体的に見出すとともに最適な解決策を探る能力を身につけ、高いコミュニケーション能力と表現力および倫理観をもち合わせた社会の発展に貢献できる人材の養成を目的としています。そのために、次のような学生を求めています。	
理工学部電気工学科の求める学生像	
知識・技能	高等学校までの履修内容のうち、数学、理科〔物理、化学〕を通じて、基礎的な計算能力や読解力を身につけている学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	高等学校までに培った確かな基礎学力に加え、現象を理解する力や、問題解決の筋道を見出す論理的思考力や、それを的確に表現する力を身につけている学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	自然現象に対する関心や探究心をもち、目的意識や向上心をもって観察・実験などに取り組み、科学的に探究する能力と態度を兼ね備えた「人間のための科学技術」に貢献しようとする学生を求めています。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、理工学部電気工学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、数学、理科〔物理、化学〕に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ理工学部電気工学科で学ぶ高い意欲をもつ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、理工学部電気工学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、理工学部電気工学科への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

理工学部電子工学科

アドミッション・ポリシー	
理工学部電子工学科は、高度情報化社会を支える電子工学分野の基礎理論とそれらを応用・展開する能力を養い、学問領域の修得を目指して体系的に編成したカリキュラムを通して、電子工学に関わる技術課題を主体的に見出すとともに最適な解決策を探る能力を身につけ、高いコミュニケーション能力と表現力および倫理観をもち合わせた社会の発展に貢献できる人材の養成を目的としています。そのために、次のような学生を求めています。	
理工学部電子工学科の求める学生像	
知識・技能	高等学校までの履修内容のうち、数学、理科〔物理、化学〕を通じて、基礎的な計算能力や読解力を身につけている学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	高等学校までに培った確かな基礎学力に加え、現象を理解する力や、問題解決の筋道を見出す論理的思考力、それを的確に表現する力を身につけている学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	自然現象に対する関心や探究心をもち、目的意識や向上心をもって観察・実験などに取り組み、科学的に探究する能力と態度を兼ね備えた「人間のための科学技術」に貢献しようとする学生を求めています。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、理工学部電子工学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、数学、理科〔物理、化学〕に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	

入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ理工学部電子工学科で学ぶ高い意欲をもつ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、理工学部電子工学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、理工学部電子工学科への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

理工学部機械システム工学科

アドミッション・ポリシー	
理工学部機械システム工学科はものづくりを原点とする最先端技術に必要な機械システムの構築と創成に関わる技術分野について、講義と実習をととして、それらの基礎を十分に学習し、次世代の機械とシステムの技術開発や問題解決を行う技術者としての能力と、それらを自らの良心に基づき運用できる技術者としての倫理観を身につけて、安全・安心な社会の発展に貢献する人材を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。	
理工学部機械システム工学科の求める学生像	
知識・技能	高等学校までの履修内容のうち、数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ａ、Ｂ、Ｃなどの「数学」科目と、物理基礎、物理の「物理」科目を通じて、基礎的な数理能力さらに英語力を身につけている学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	高等学校までに培った確かな基礎学力に加え、様々な現象を解析する能力に基づく論理的思考力や判断力、それを的確に表現する力を身につけている学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	自然現象に対する関心や探究心を持ち、目的意識をもって観察・実験などに取り組み、科学的に探究する能力と態度を兼ね備えた「人間のための科学技術」に貢献しようとする学生を求めています。また、新たにものを創造できる独創性を持つ人材を求めています。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、理工学部機械システム工学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、ものづくりに対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ理工学部機械システム工学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、理工学部機械システム工学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、理工学部機械システム工学科への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

理工学部機械理工学科

アドミッション・ポリシー	
理工学部機械理工学科は、自然科学の原理を理解し、その応用を可能とする技術分野について、講義と実習をととして、それらの基礎を十分に学習し、地球資源の有効利用や環境に優しい機械に関する技術を開発する技術者としての能力と、それらを自らの良心に基づき運用できる技術者としての倫理観を身につけて、理工学の視点を有し、持続可能な社会の構築に貢献する人材を養成することを目的としています。そのため、以下のような学生を求めています。	
理工学部機械理工学科の求める学生像	
知識・技能	高等学校までの履修内容のうち、数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ａ、Ｂ、Ｃなどの「数学」科目と、物理基礎、物理の「物理」科目および化学基礎、化学の「化学」科目を通じて、基礎的な数理能力さらに英語力を身につけている学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	高等学校までに培った確かな基礎学力に加え、様々な現象を解析する能力に基づく論理的思考力や判断力、それを的確に表現する力を身につけている学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	自然現象に対する関心や探究心を持ち、目的意識をもって観察・実験などに取り組み、科学的に探究する能力と態度を兼ね備えた「人間のための科学技術」に貢献しようとする学生を求めています。また、新たにものを創造できる独創性を持つ人材を求めています。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、理工学部機械理工学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、エネルギー利用に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	

入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ理工学部機械理工学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、理工学部機械理工学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、理工学部機械理工学科への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

理工学部機能分子・生命化学科

アドミッション・ポリシー	
理工学部機能分子・生命化学科は、化学と化学技術について、教育と先端的な研究をととして、また、本学の教育理念（キリスト教主義・自由主義・国際主義）に基づき、環境や生命を意識したナノ・バイオを含む化学の基礎と応用に関する幅広い学術的な知識・技術を身につけて、「機能分子創製および生命現象解明の化学」に関連する工学・薬学・医学に貢献できる独創性にあふれ、問題解決能力を備えた人材を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。	
理工学部機能分子・生命化学科の求める学生像	
知識・技能	高等学校までの履修内容のうち、「数学科目」、「理学科目」および「英語科目」を通じて、基礎的な自然科学および語学に関わる知識と技能を身につけている学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	高等学校までに培った確かな基礎学力に加え、読解力や文章力に基づく論理的思考力や判断力、それを的確に表現する力を身につけている学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	自然現象に対する関心や探究心をもち、目的意識をもって観察・実験などに取り組み、科学的に探究する能力と態度を兼ね備え、主体性、多様性、協働性を軸に「人間のための科学技術」に貢献しようとする学生を求めています。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、理工学部機能分子・生命化学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、自然科学および理学・工学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ理工学部機能分子・生命化学科で学ぶ高い意欲をもつ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、理工学部機能分子・生命化学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、「主体性、協働性や多様性に対する理解」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、理工学部機能分子・生命化学科への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

理工学部化学システム創成工学科

アドミッション・ポリシー	
理工学部化学システム創成工学科は、持続可能な社会・環境づくりに貢献する化学技術について、本学の教育理念（キリスト教主義・自由主義・国際主義）に基づき、化学および化学工学を基盤とする工学全般にわたる幅広い学術的な知識・技術を身につけて、地球環境、資源・エネルギー、バイオテクノロジーなどが関わる諸問題を解決することができる「新しい化学システムの創成」に貢献することができる人材を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。	
理工学部化学システム創成工学科の求める学生像	
知識・技能	高等学校までの履修内容のうち、「数学科目」、「理学科目」および「英語科目」を通じて、基礎的な自然科学および語学に関わる知識と技能を身につけている学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	高等学校までに培った確かな基礎学力に加え、読解力や文章力に基づく論理的思考力や判断力、それを的確に表現する力を身につけている学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	自然現象に対する関心や探究心をもち、目的意識をもって観察・実験などに取り組み、科学的に探究する能力と態度を兼ね備え、主体性、多様性、協働性を軸に「人間のための科学技術」に貢献しようとする学生を求めています。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、理工学部化学システム創成工学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、自然科学・工学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	

入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ理工学部化学システム創成工学科で学ぶ高い意欲をもつ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、理工学部化学システム創成工学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、「主体性、協働性や多様性に対する理解」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、理工学部化学システム創成工学科への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

理工学部環境システム学科

アドミッション・ポリシー	
理工学部環境システム学科は、環境科学について、自然科学分野の横断的な知識をもとにシステムとしての環境の特質を理解することとおして、問題を発見し、論理的な思考と豊かな発想をもって科学的に分析する能力、そして学際的な素養をもとに問題を解決する能力を身につけて、国内外の各種産業界や研究・教育機関等において貢献する人材を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。	
理工学部環境システム学科の求める学生像	
知識・技能	高等学校までの履修内容のうち、「数学」と「理科（物理・化学・生物・地学）」を通じて環境科学の基礎的な知識・技能を身につけているとともに、「英語」を通じて読む・聞く・書く・話すの4技能の基本知識を有する学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	高等学校までに培った確かな基礎学力に加えて、世界が直面する環境問題を自然科学の知見に基づいて理解・解析するための論理的思考力や判断力、およびそれを的確に表現する力を身につけている学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	多様な自然現象に対する関心や探究心をもち、目的意識をもって観察・実験に主体的に取り組むことができるとともに、他者との関係を構築しながら積極的に自己表現し、環境科学を探究する能力と態度を兼ね備えた学生を求めています。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、理工学部環境システム学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、環境科学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ理工学部環境システム学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、理工学部環境システム学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、理工学部環境システム学科への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

理工学部数理システム学科

アドミッション・ポリシー	
理工学部数理システム学科は、数理科学について、講義、問題演習およびコンピュータ実習をとおして、数学を中心とする理学的素養およびコンピュータを用いて様々な問題を具体的に解く能力とデータの統計処理能力を身につけて、情報・金融関連産業など高度な数学的能力を必要とする企業や、次世代の高度な理数能力の養成を担う教育機関、または数理科学の研究機関等において活躍する人材を養成することを目的としています。そのため、以下のような学生を求めています。	
理工学部数理システム学科の求める学生像	
知識・技能	高等学校までの履修内容のうち、「数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」と「数学A、B、C」を通じて、基礎的な学力を身につけている学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	高等学校までに培った確かな基礎学力に加え、発展させる力や数式や平面・空間理解に基づく論理的思考力や判断力、それを的確に表現する力を身につけている学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	自然現象や社会現象等に対する関心や探究心をもち、目的意識をもって観察・実験などに取り組み、科学的に探究する能力と態度を兼ね備えた「人間のための科学技術」に貢献しようとする学生を求めています。

大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、理工学部数理システム学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、数理解析学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ理工学部数理システム学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、理工学部数理システム学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、理工学部数理システム学科への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

生命医科学部医工学科

アドミッション・ポリシー	
医工学科では、医療、福祉、健康など「生命」に関連する幅広いフィールドに存在するさまざまな課題を、医学および機械工学の複眼的視点を持って解決することのできる技術者・研究者を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。	
生命医科学部医工学科の求める学生像	
知識・技能	生命医科学に関連する基礎医学や機械工学の専門知識を得るために必要な、自然科学に関する基礎学力を有する学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	日本語および英語での論理的思考能力と、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の習得を目指す学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	生命医科学に幅広い関心と向上心を持ち、自ら課題を発見し、解決する能力の習得を目指す学生を求めています。 グローバル社会における人や文化の多様性を尊重し、生命医科学に関する知識をもって、主体的に社会貢献する能力の習得を希望する学生を求めています。 多様性に富んだ集団でも能力を発揮し、協調して課題を解決できることを目指す学生を求めています。 国際社会に通用する技術者・研究者となることを目指す学生を求めています。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、医工学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、数学・力学・生物学など医工学分野に関する幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、医工学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書）を通して、医工学科で学ぶために必要な一定水準以上の「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかどうかを評価しています。とりわけ、特に志望理由書から、医工学科で学びたいという高い意欲をもっているかどうかを判断して、総合的に審査しています。

生命医科学部医情報学科

アドミッション・ポリシー	
医情報学科では、医療、福祉、健康など「生命」に関連する幅広いフィールドで、医学および医情報学の複眼的視点から創意工夫をもって課題解決へと導くことのできる技術者、研究者を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。	
生命医科学部医情報学科の求める学生像	
知識・技能	生命医科学に関連する基礎医学や生体情報の取得・制御と、生体情報処理機構の情報システム構築への展開に関する知識を得るために必要な、自然科学の基礎学力やヒトを主体とする情報利用に関する技術を身につけるために必要な基礎的な知識・技能を有する学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	日本語および英語の基本的な読解能力と表現能力を有し、論理的思考能力と、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけたいと希望する学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	生命医科学に関する様々な問題について幅広い関心と向上心を持ち、自ら課題を発見し、解決する能力を習得したいと希望する学生を求めています。また、これらを協働して行うことを目指す学生を求めています。国際社会に通用する技術者、研究者となることを希求する学生を求めています。

大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、医情報学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、医情報学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ医情報学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を受け入れるために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類）では一定水準以上の「知識・技能」及び医情報学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」及び日本語能力が備わっているか、出願書類（志望理由書）及び口頭試問では「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、入学後の勉学における明確な志向及び意欲の評価に重点を置き、総合的に審査しています。

生命医科学部医生命システム学科

アドミッション・ポリシー	
医生命システム学科は、医療、福祉、健康など「生命」に関連する幅広いフィールドで、医学・生物・物理・化学の複眼的視点から創意工夫をもって課題解決へと導くことのできる技術者、研究者を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。	
生命医科学部医生命システム学科の求める学生像	
知識・技能	生命医科学に関連する基礎医学や細胞生物学の専門知識を得るために必要な、自然科学に関する基礎学力を有する学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	日本語および英語の基本的な読解能力と表現能力を有し、論理的思考能力と、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけたいと希望する学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	生命医科学に関する様々な問題について幅広い関心と向上心を持ち、自ら課題を発見し、解決する能力を習得したいと希望する学生を求めています。また、国際的に通用する技術者、研究者となることを希求する学生を求めています。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、医生命システム学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、医学・生物学全般に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書）を通して、医生命システム学科で学ぶために必要な一定水準以上の「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかどうかを評価しています。とりわけ、特に志望理由書から、医生命システム学科で学びたいという高い意欲をもっているかどうかを判断して、総合的に審査しています。

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科

アドミッション・ポリシー	
スポーツ健康科学部では、スポーツと健康、及びそれらを取り巻く社会環境に関する知見や諸理論、技能を総合的・体系的に修得し、スポーツ活動、国や地方自治体、教育機関、スポーツ関連産業及びヘルスケア産業等の現場で、専門的な立場から「健康の増進」やスポーツの「パフォーマンス向上」及び「社会的発展」に寄与・貢献できる多様な人材の養成を目指しています。そのために、スポーツ健康科学部では、次のような学生を求めています。	
スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科の求める学生像	
知識・技能	スポーツ健康科学部では、スポーツ健康科学に関する専門的知識・技能を修得するために必要な基礎知識や外国語の読解・表現能力等を有する学生を求めています。自然科学と人文社会科学にまたがる文理融合型のスポーツ健康科学を学ぶために幅広い基礎学力が必要となります。
思考力・判断力・表現力	スポーツ健康科学部では、高等学校までに培った確かな基礎学力に加え、それに基づく論理的思考力やスポーツと健康に対して幅広い関心を有し、既成の事実や価値観に捉われることなく、自ら課題を見出し、探究し、的確に表現できる学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	スポーツ健康科学部では、様々な立場にある人々の意見を取り入れ、相互理解を深めようとする協調性や高いコミュニケーション能力を有する学生を求めています。「スポーツを通じた健康づくり」、「トレーニング科学に基づいたスポーツパフォーマンスの向上」、「スポーツを取り巻く社会環境の整備・充実」などスポーツ健康科学に関わる課題に対して主体的かつ積極的に取り組む学生を求めています。

大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、スポーツ健康科学部での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、自然科学や人文社会科学に関する基礎学力、スポーツや健康に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつスポーツ健康科学部で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、スポーツ健康科学部で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、スポーツ健康科学部で学ぶために必要な基礎学力や語学能力が備わっているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

心理学部心理学科

アドミッション・ポリシー	
心理学部では、心の仕組みに関する知識や技能を基礎から応用まで体系的に学び、論理的な思考とデータによる実証を重視する姿勢を身につけることで、習得した知識や技能を適切に運用し、心理学の成果を社会に向けて主体的に発信できるようになることを目的としています。心理学の専門家として、人の心に関心を持ち、心の問題に科学的にアプローチする能力を備え、現代社会のさまざまな分野において貢献できる人物の育成を目指しています。こうした観点から、心理学部では、次のような学生を求めています。	
心理学部心理学科の求める学生像	
知識・技能	心理学部では、基礎心理学と応用心理学のバランスの取れた教育を通じて、心や行動の仕組みと機能に関する知識と技術の習得を目指しています。そのため、文系・理系を問わず、幅広い基礎知識が求められます。特に、一般的教養知識の習得や心理学の専門知識を身につける上で必要となる、日本語と英語の読解能力・表現能力を備えた学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	自らの主張や論理を組み立てる力、現象を客観的に観察・分析する力、そして、得られた実証データについて主体的に発信する力に優れた学生を求めています。これらの能力は入学後に培われますので、すべてを兼ね備えておく必要はありませんが、論理と実証を基礎とした科学的な心理学の探求に強い関心を持つ人物こそ心理学部の求める人物像です。
主体性・多様性・協働性	入学後は、同志社心理の伝統である「少人数教育」に基づいて、教員と学生はもちろん、学生同士もしっかりと向き合って学び合う機会が設けられます。そのため、他者と協働して社会における問題の解決を試みる行動力を持ち、社会のどのような領域でも活躍できるような幅広い関心やコミュニケーション能力を備えた学生を求めています。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
心理学部では、心理学の最新の知識を得るために外国書や英語論文を読み込む機会が多く、入学時より高い英語力が求められます。心理学の一般知識には、神経科学、生理学、統計学などに関する分野が含まれます。また、現代社会で発生する多様な問題への感度を高め、理解を深めるには、歴史的な視点と社会情勢に関わる基礎知識を有していることが望まれます。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、心理学部心理学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、心理学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ心理学部心理学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）、小論文、口頭試問等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、心理学部心理学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、心理学部心理学科への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科（日本語コース）

アドミッション・ポリシー（3コース共通）	
グローバル・コミュニケーション学部では、一定期間の留学を含むカリキュラムを通して、実践的外国語運用能力を伸長すると共に、幅広い知識と教養を身につけることにより、グローバル社会で卓越したコミュニケーション能力を駆使し、facilitator、negotiator、administratorとして活躍できる人材の育成を目的としています。そのために、次のような学生を求めています。	
グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科の求める学生像（3コース共通）	
知識・技能	グローバル社会を舞台に活躍するためには、多様な価値観に目を向け、背後にある社会や文化に関する確かな理解が求められます。また、外国語で発信された情報を正しく理解できることはもちろん、自らの考えを外国語で的確に表現する能力を磨いていく必要があります。本学部の数値的な到達目標は、英語コースはTOEFL iBT [®] テスト 79 点 (ITP550 点) 相当以上及び TOEIC [®] Listening & Reading Test 850 点以上、中国語コースは中国語検定 2 級ないし HSK 6 級（合計点の 6 割以上のスコア獲得を合格とみなす）、日本語コースは日本語実用テスト（J テスト）準 A 級ないしビジネス日本語能力テスト（BJT）J1 レベルです。これらの目標に向かい、継続的に努力ができる学生を求めています。

思考力・判断力・表現力	グローバル社会の様々な問題についての議論に加わっていくためには、多様な視点が存在することを十分考慮しながら、筋道を立てて考えることが必要です。状況に対して十分な観察を行い、問題点を整理し、自らの分析をしっかりと根拠と共に説明できなければいけません。論理的に思考し、自らのことばで意見を述べるができる学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	世界には多様な文化、言語、社会があり、政治・経済や環境問題などもこれらと密接に関わっています。そのような中で、グローバルな人材となるためには、異なる文化や価値観を持つ人々に対する寛容の精神と、偏見にとらわれず相互理解に向けての努力を惜しまない姿勢が求められます。異なる背景を持つ人々と様々な違いを乗り越えて協働しながら、1つ1つの課題に対して主体的に取り組むことができる学生を求めています。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
日本語	日本語コースはグローバル化する日本社会を舞台に facilitator、negotiator、administrator として活躍し得る高度な日本語能力を持つ人材の養成を目標に掲げています。この目標を達成するためには、「聞く、話す、読む、書く」の4技能をバランスよく身につけておく必要があります。入学後、日本語で講義を聞き、自分の言葉で意見を述べられるよう、また、専門的な文献を読んだり、レポートを書いたりすることができるよう、しっかりと基礎を作ることが重要です。 その上で、日本語の文章の内容を正確に理解し、趣旨を的確に把握し、その内容について批判的に考察できる読解力や、根拠や例を示して自己の考えを論理的に組み立て、まとめることのできる表現力を身につけるようにしてください。外国語を学ぶということは、単に文法や語彙を学ぶだけではなく、その背後にある文化を学ぶことであり、新しいものの見方や考え方、表現法やコミュニケーションの方法を学ぶことでもあります。ことばの学習に対する積極的な姿勢を何よりも大切にしてください。
英語	人間の豊かなコミュニケーションは「ことば」を基本に成り立っています。21世紀に入り、人びとの諸活動は世界規模で国境を越えて相互に浸透するようになり、ビジネスではもちろん、政治や教育、文化交流などあらゆる分野で、異なる文化の人と人とを結ぶコミュニケーションの能力が求められています。その際、世界で最も広く使われている「ことば」の一つが英語で、グローバル社会で活躍するために必要な言語です。そのため、一定のレベル以上の英語力を習得した人物を求めています。望ましい水準の目安としては、TOEIC® Listening & Reading Test 500点（あるいはそれと同等）以上を上げることができます。ただし、TOEIC® Listening & Reading Test の数値は一つの目安であって、外国語能力試験の成績を伸ばすことだけが英語学習の目的ではありません。日ごろから、英語ということばに関心を持ち、「聞く、話す、読む、書く」の4技能をバランスよく伸ばすことに留意してください。
地理歴史・公民	「ことば」は人間社会のなかで機能します。ことばの働きを理解し、ことばを使って効果的にコミュニケーションができるようになるためには、ことばの背後にある社会、文化の理解が不可欠です。地理歴史、公民を含む日本留学試験「総合科目」の望ましい水準の目安としては、おおむね120点以上を上げることができます。幅広い視野を持って、社会、文化に関する基礎的な知識を身につけるようにしてください。世界・日本と自国の歴史・文化や、グローバル化する現代の政治・経済に関心を持ち、主体的に考える力を養うことで、本学部での学びはより豊かなものになります。こうした力を養うためにも、新書、入門的な専門書、新聞の社説・評論などを積極的に読むように心がけてください。
入学者選抜制度	
グローバル・コミュニケーション学部では、日本語や英語の能力の他に、グローバル化社会に関する関心、学習意欲、表現力、コミュニケーション力などを評価する多様な入学者選抜を行うことにより、幅広い学生を受け入れています。学部外国人留学生入学試験では、書類審査、筆記試験、口頭試問を通じて、学力の3要素「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」について、それぞれの入試方法において重み付けを行い、志願者の能力や資質等を総合的に審査しています。	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	外国において12年の課程を修了し、それまでの学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ、グローバル・コミュニケーション学部日本語コースで学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を選抜することを目的にした入学試験です。まず、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）を通じて、一定水準以上の能力・知識が備わっているかを評価します。また、学部独自試験による筆記試験（小論文）では、それまでに学んだ「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」が備わっているかを測るために、日本語の文章を読んだ上で、その内容や自分の考えを論理的に述べてもらいます。さらに、口頭試問では、日本語の「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」を測るとともに、「主体性・多様性・協働性」も備わっているかなどを適正に評価します。このように学部外国人留学生入学試験では、出願書類、筆記試験、口頭試問を通じて、学力の3要素「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を総合的に審査します。

グローバル地域文化学部グローバル地域文化学科

アドミッション・ポリシー	
グローバル地域文化学部は、学部で培った知見を十全に活用することにより、本学の教育理念のひとつである国際主義を更に推進し、国内外のあらゆる場面で活躍できる、良心と自由な精神を備えた人物の育成を目的としています。そのために次のような学生を求めています。	
グローバル地域文化学部グローバル地域文化学科の求める学生像	
知識・技能	グローバル地域文化学部では、国際人として外国語の重要性を十分に認識し、一定以上の英語の能力を有し、英語以外の外国語の習得にも意欲を示すとともに、世界の歴史や地理、時事問題について基礎的な知識を持つ学生を求めています。
思考力・判断力・表現力	グローバル地域文化学部では、高等学校までに培った確かな基礎学力に加え、グローバルな視点から、日本を含む各地の文化、歴史、社会について論理的に考える力や判断する力、それを的確に表現する力を身につけるとともに、現代世界が抱える諸問題に進んで関心を寄せ、それらの解決に向けて柔軟で独創的な方法を考え、社会に働きかける意欲を持つ学生を求めています。
主体性・多様性・協働性	グローバル地域文化学部では、本学部の目的をよく理解し、学部カリキュラムを通じて研かれた外国語能力と地域文化の知見に基づき、主体性とともに寛容さをもって、多様な文化的背景を持つ人々と協働しながら国際社会に貢献したいと考える学生を求めています。
大学入学までの学習で身につけてほしいこと	
世界の各地域固有の文化や社会、そうした地域の枠を越えてグローバルに展開する今日の世界情勢を理解する上で、また実際に世界で様々な活動をする上で、各地域の歴史や地理、および政治経済に関する基礎知識は不可欠ですので、入学までにしっかりと身につけてください。また、世界の様々な地域の歴史や文化をより深く理解し、そこに住む人々と意思疎通を図る上で外国語能力、とりわけ実質的に世界共通語の役割を担う英語の能力は重要です。CEFR B1 レベル以上の英語力を入学までに習得できるよう努力してください。さらに、日本語の文学作品や論説文を的確に読み解き、その主題や趣旨を要約できる読解力や、問題点を整理し、自分の考えを論理的で説得力のある日本語の文章によって表現できる能力は、グローバル地域文化学部での学修や研究に不可欠です。本学部では卒業論文が必修であり、日頃から幅広い分野の読書を習慣づけるとともに、自分の考えを文章で表現する訓練を継続的に行うようにしてください。	
入学者選抜制度	
学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）	これまでの学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつグローバル地域文化学部で学ぶ高い意欲を持ち、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度をもって学部及び大学全体の活性化に寄与できるような優れた外国人留学生を選抜するために、出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書等）、口頭試問等を通じて、一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、グローバル地域文化学部で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、「主体性・多様性・協働性」が備わっているかななどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、グローバル地域文化学部への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、総合的に審査しています。

I 期入試

I. 募集学部・学科・コース／募集人数

学 部	学 科 ・ コース		募集人数
神 学 部	神学科		若干名
文 学 部	英文学科、哲学科、美学芸術学科、文化史学科（日本文化史コース、西洋・東洋文化史コース）、国文学科		若干名
社 会 学 部	社会学科、社会福祉学科、メディア学科、産業関係学科、教育文化学科		若干名
法 学 部	法律学科、政治学科		若干名
経 済 学 部	経済学科		Ⅱ期入試とあわせて15名
商 学 部	商学科（商学総合コースのみ）		Ⅱ期入試とあわせて15名
政 策 学 部	政策学科		若干名
文化情報学部	文化情報学科		若干名
理 工 学 部	インテリジェント情報工学科、情報システムデザイン学科、電気工学科、電子工学科、機械システム工学科、機械理工学科、機能分子・生命化学科、化学システム創成工学科、環境システム学科、数理システム学科		Ⅱ期入試とあわせて各学科1名
生命医科学部	医工学科、医情報学科、医生命システム学科		Ⅱ期入試とあわせて各学科2名
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科		Ⅱ期入試とあわせて3名
心 理 学 部	心理学科		若干名
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科 日本語コース		Ⅱ期入試とあわせて15名
グローバル地域文化学部	グローバル地域文化学科	ヨーロッパコース	若干名
		アジア・太平洋コース	若干名
		アメリカコース	若干名

※第3年次転入学・編入学試験は、2022年度入試より廃止しました。

※文学部文化史学科は出願時にコースの選択はありません。口頭試問時に確認します。

Ⅱ. 出願資格

I 期入試

外国籍を有し、以下の3項目を満たす者。

1. 次のいずれかに該当する者。

(1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、および2027年3月末日までに修了見込みの者。

(注意事項)

※「外国において学校教育における12年の課程を修了した者、および2027年3月末日までに修了見込みの者」とは、「外国の高等学校を卒業した者または卒業見込みの者」が対象である。外国の高等学校には、「日本にある外国人学校」および「文部科学大臣が認定した在外教育施設」は含まない。

※日本の学校教育法にもとづく小学校・中学校・高等学校等に在学した者は、その期間が通算4年以内である場合に限る。ただし、通算4年以内であっても、日本の高等学校または中等教育学校のみを卒業した者、および2027年3月末日までに卒業見込みの者は出願資格を有しない。

※「日本にある外国人学校」および「文部科学大臣が認定した在外教育施設」に在学した場合は、その在学期間を日本の学校教育法にもとづく小学校・中学校・高等学校等に在学した者と同様とみなす。

(2) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力を認定する当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者で、2027年3月末日までに満18歳に達する者。

(3) 中等教育の課程修了まで12年を要しない国の学校教育を修了した者で、文部科学大臣が指定した「我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程（準備教育課程）」を修了した者、および2027年3月末日までに修了見込みの者。

(4) 外国において高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされる者であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者および2027年3月末日までに修了見込みの者。

(5) 国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレアのいずれかの資格を外国において取得した者。

(6) その他本学において、前記(1)(2)(3)(4)(5)と同等以上の資格を有すると認めた者で、2027年3月末日までに満18歳に達するもの。

2. 独立行政法人日本学生支援機構による「日本留学試験」のうち、次のいずれかの試験において各学部が指定する科目を受験した者（「V. 選考内容」（15ページ～）参照）。

(1) 2024年度第2回（11月実施） (2) 2025年度第1回（6月実施）

(3) 2025年度第2回（11月実施） (4) 2026年度第1回（6月実施）

3. 次のいずれかの試験を受験し、そのスコアにより英語能力を証明することができる者。

(1) TOEFL iBT[®]テスト (2) TOEIC[®]Listening & Reading Test

(3) IELTSアカデミック・モジュール（IELTSコンピューター版、IELTS for UKVIを含む）

※TOEIC[®]Listening & Reading Test（IP）は対象としない。

※TOEFL ITP[®]テストは対象としない。

※TOEFL iBT[®]テストは「Test Dateスコア」のみを活用する（「MyBestTMスコア」は活用しない）。

※TOEFL iBT[®] Home Edition（旧TOEFL iBT[®] Special Home Edition）で取得したスコアは対象としない。

※IELTSオンライン版で取得したスコアは対象としない。

※IELTS One Skill Retakeで取得したスコアは対象としない。

※スコアの有効期間はテスト日より2年間とする（2024年10月11日以降に実施されたもの）。

※英語を母語とする者または英語が公用語となっている国・地域に居住する者が、通常の課程による直近6年間の学校教育を英語で受けた場合、その旨を証明する出身学校作成の書類を提出することができれば、スコアの提出を免除する。

※スポーツ健康科学部、グローバル・コミュニケーション学部は、TOEFL iBT[®] テストのスコアを以下の通り扱う。

2026年1月20日以前に実施された試験：0-120で示されたスコアを対象とする。

2026年1月21日以降に実施された試験：1-6のバンドスコアを対象とする。

■注意事項

- ①授業は、大部分が日本語で行われますので、十分な日本語能力が要求されます。
- ②2ページの1. (6)については志願する学部が出願資格の認定を行います。**2026年7月10日(金)**までに留学生課国際入学係に連絡してください。
- ③前項②以外で、出願資格について不明な点がある場合は、事前に留学生課国際入学係（今出川校地）に問い合わせてください（連絡先は表紙に記載）。
- ④入学試験に合格した者で、2027年3月末日までに出願資格の要件を満たさなかった者は入学を許可しません。

Ⅰ. 日程

インターネット出願システム登録期間	2026年8月18日(火)9時(日本時間)～2026年8月31日(月)17時(日本時間)
入学検定料納入期間	2026年8月18日(火)～2026年8月31日(月)
出願受付期間	2026年8月18日(火)～2026年8月31日(月)17時(日本時間) 郵送必着 ※韓国居住者が本学ソウル事務所に提出する場合は、2026年8月18日(火) ～2026年8月21日(金)17時(日本時間) 郵送必着

2. 出願方法

定められた期間内に、以下(1)～(4)の全てを完了する必要があります。

2学部・2学科以上に出願する場合は、**学部・学科ごとに提出用書類(出願確認票)の作成と入学検定料の納入が必要です。**

(1) インターネット出願システム登録

- ・次のURLにアクセスしてください。【URL：<https://sak-sak.net/app/dsnt/>】
- ・利用案内ページの「出願開始」ボタンをクリックし、画面の指示に従って必要事項を登録してください。
※登録したE-mail アドレスは、本学からの連絡手段として使用します。
- ・英字氏名はパスポート表記通りに入力してください。
- ・入学検定料の「支払方法選択」画面で、「クレジットカード」「コンビニエンスストア、ペイジー（日本国内居住者のみ）」「外国送金（日本国外居住者のみ）」のいずれかを選択してください。



(2) 提出用書類(出願確認票)の印刷

- ・画面に「出願情報登録完了」と表示されましたら、「提出用書類印刷」ボタンをクリックし、**提出用書類(出願確認票)をA4サイズで印刷してください。**
 - ・「**出願受付番号**」は、**出願受付に関する問い合わせ等で必要となります。**
- ※必ず定められた期間内に、提出用書類(出願確認票)の作成と印刷を行ってください。
※印刷完了後にWeb上で出願内容の変更はできません。変更が必要な場合は、印刷した提出用書類(出願確認票)に直接、自筆で修正してください。ただし、1ページ下部「志願情報」の変更が必要な場合は、提出前にji-intad@mail.doshisha.ac.jpまでE-mailにて連絡してください。



(3) 入学検定料の支払い

クレジットカードで納入する場合 (詳細は6ページを参照)

- ・「検定料支払い画面」から、入学検定料納入に必要な支払情報を入力してください。
- ・入学検定料納入後に受信する「【同志社大学 学部外国人留学生入学試験】入学検定料入金確認のお知らせ」のメール画面または入金完了の画面(収納証明書でも可)をA4サイズの用紙に印刷し、出願書類とともに提出してください。

コンビニエンスストア、ペイジーで納入する場合(日本国内居住者のみ) (詳細は6ページを参照)

- ・「検定料支払い画面」から、入学検定料の支払窓口を選択してください。
- ・入学検定料納入期間内に、選択した支払方法で入学検定料を納入し、収納証明書・明細票を受け取ってください(各コンビニエンスストア・ペイジーの支払方法の詳細は8～9ページを参照)。

外国送金で納入する場合(日本国外居住者のみ) (詳細は7ページを参照)

- ・取扱金融機関収納印のある振込金証明書、外国送金依頼書等を提出書類とともに提出してください。



(4) 出願書類の準備・作成・提出

- ・提出用書類(出願確認票)に記載された内容を確認し、他の出願書類(12～14ページ参照)と一緒に出願受付期間内に郵送してください。**持参は受け付けません。**出願受付期間内に全ての書類が本学に到着し、受理された時点をもって出願手続完了となります。
- ・韓国居住者については、2026年8月18日(火)～2026年8月21日(金)17時(日本時間)の期間に限り、本学ソウル事務所に郵送することができます。ソウル事務所も持参は受け付けません。

出願書類の提出先（郵送のみ）

■ 本学に郵送する場合

※出願受付期間内必着ですので、余裕を持って発送してください。

- ・複数の学部、学科を併願する場合は、出願書類一式を1つの封筒にまとめて送付してください。
- ・出願書類の到着確認は、各自で郵便局引受番号または国際宅配業者の追跡番号等で確認してください。

■ 日本国内から郵送する場合

提出用書類（出願確認票）と一緒に印刷される「出願書類提出用ラベル」を封筒に貼り、必ず簡易書留速達で郵送してください。

■ 日本国外から郵送する場合

国際スピード便（EMS）または国際宅配便で郵送してください。追跡確認ができる方法で送付してください。

送付先：〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

同志社大学 留学生課国際入学係

Section for International Admissions, Office of International Students, Doshisha University

Karasuma-higashiiru, Imadegawadori, Kamigyo-ku, Kyoto 602-8580, JAPAN

■ 本学ソウル事務所に郵送する場合

※2026年8月18日（火）～2026年8月21日（金）17時（日本時間）の期間内必着ですので、余裕を持って発送してください。必ず登記郵便で郵送してください。

送付先：Doshisha Seoul Office, #408, YMCA Jongno 69, Jongno-gu, Seoul, Korea 03164

3. 入学検定料および納入方法

（1）入学検定料

学部ごとの入学検定料は以下のとおりです。

出願学部	入学検定料
神学部、文学部、法学部、経済学部、商学部、文化情報学部、 生命医科学部（医情報学科）、心理学部、 グローバル・コミュニケーション学部（日本語コース）、グローバル地域文化学部	1学部・1学科 につき 15,000 円
社会学部、政策学部、理工学部、生命医科学部（医工学科、医生命システム学科）、 スポーツ健康科学部	1学部・1学科 につき 10,000 円

※2学部・2学科以上に出願する場合は、学部・学科ごとに分けて入学検定料を支払ってください。

※いったん納入された入学検定料は返還いたしませんので、注意してください。

(2) 納入方法

以下のいずれかの方法で、4 ページ記載の入学検定料納入期間に納入してください。

①クレジットカードで納入する場合

- ・インターネット出願システム入力時に「支払方法選択」画面で、「クレジットカードでお支払い」を選択します。
- ・「出願情報登録完了」画面（書類出力画面）で、「お支払い手続きへ」ボタンを押すと、「検定料支払い画面」が開きますので、支払情報を入力してください。
- ・「検定料支払い画面」は、出願後の登録完了メールまたは「出願状況確認」画面から開くこともできます。
- ・VISA、Master Card、JCB、AMERICAN EXPRESS のクレジットカードの利用が可能です。
- ・利用するクレジットカードの「カード番号」「有効期限」「セキュリティコード」を入力してください。

※支払い時の注意

- ・入学検定料の他に、事務手数料が別途かかります。詳しくは Web サイトをご確認ください。
- ・支払いの決済は、「円建て」で行われます。日本円への換算は、利用代金を国際提携組織の決済センターが処理した時点で適用した交換レートが適用されます。詳しくは、利用するクレジットカード会社へ問い合わせてください。
- ・入学検定料納入後に受信する「【同志社大学 学部外国人留学生入学試験】入学検定料入金確認のお知らせ」のメール画面または入金完了の画面（収納証明書でも可）を A 4 サイズの用紙に印刷し、出願書類とともに提出してください。

②コンビニエンスストア、ペイジーで納入する場合（日本国内居住者のみ）

- ・インターネット出願システム入力時に「支払方法選択」画面で、「コンビニエンスストアでお支払い」または「Pay-easy でお支払い」を選択します。
- ・「出願情報登録完了」画面（書類出力画面）で、「お支払い手続きへ」ボタンを押すと、「検定料支払い画面」が開きますので、支払窓口を選択してください。
- ・「検定料支払い画面」は、出願後の登録完了メールまたは「出願状況確認」画面から開くこともできます。

【コンビニエンスストアの場合】

- ・日本国内のコンビニエンスストア（ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セブン-イレブン）にて利用可能です。
- ・コンビニエンスストアでの納入方法の詳細については、8 ページを参照してください。
- ・入学検定料の他に、事務手数料が別途かかります。詳しくは Web サイトをご確認ください。
- ・コンビニエンスストアでの支払いに際しては、家族・知人が代理で手続する場合でも、必ず出願者本人の情報（氏名・住所・電話番号等）を入力してください。
- ・入学検定料納入後に発行される収納証明書を、提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。

【ペイジー（Pay-easy）の場合】

- ・ペイジーでの納入方法の詳細については、9 ページを参照してください。
- ・入学検定料の他に、事務手数料が別途かかります。詳しくは Web サイトをご確認ください。
- ・入学検定料納入後に発行される明細票を、提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。

③外国送金で納入する場合（日本国外居住者のみ）

※クレジットカードをお持ちの場合は、可能な限り、クレジットカードで納入してください。

クレジットカードによる納入ができない場合は下記の要領にしたがい、外国送金を行ってください。

- ・インターネット出願システム入力時に「支払方法選択」画面で、「外国送金でお支払い」を選択してください。

出願する学部により、入学検定料の金額、送金先口座番号が異なります。出願する学部の金額をよく確認して、間違いのないように手続きを行ってください。

入学検定料以外に、日本の銀行でかかる手数料 2,500 円を加算した金額を納入してください。

送金種別	電信送金（Telegraphic Transfer）			
送金方法	口座振込（Advise and Credit）			
送金手数料	送金時手数料は送金人負担&受取時手数料は受取人負担【SHA】 （Local charges borne by remitter & overseas charges by beneficiary【SHA】）			
通貨	日本円（JPY）			
送金額	入学検定料（5 ページ参照）　＋　日本の銀行でかかる手数料 2,500 円			
送金先口座				
銀行名	三井住友銀行（SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION）			
支店名	ラベンダー支店（LAVENDER Branch）			
銀行住所	〒 600-8008　京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町 8 （8 Naginataboko-cho, Karasuma-higashiiru, Shijo-dori, Shimogyo-ku, Kyoto, 600-8008, JAPAN）			
SWIFT ADDRESS	SMB CJPT			
預金種類	普通預金（Ordinary Account【Savings Account】）			
口座番号	神学部	976-0100100	文化情報学部	976-0100107
＊出願学部により 異なります	文学部	976-0100101	理工学部	976-0100008
	社会学部	976-0100002	生命医科学部（医工学科、医生命システム学科）	976-0100009
	法学部	976-0100103	生命医科学部（医情報学科）	976-0100109
	経済学部	976-0100104	スポーツ健康科学部	976-0100010
	商学部	976-0100105	心理学部	976-0100111
	政策学部	976-0100006	グローバル・コミュニケーション学部	976-0100112
			グローバル地域文化学部	976-0100113
受取人名	同志社大学（Doshisha University）			

※送金時の注意

- ・必ず金融機関窓口から送金してください（インターネットバンキングでの送金は不可）。
- ・送金者の名義は出願者本人としてください。
- ・受取人名には「同志社大学（Doshisha University）」以外入力しないでください。
- ・金融機関の振込依頼書のメッセージ欄に、志望する学部を記入してください。
- ・送金手数料は「OUR」ではなく「SHA」で送金してください。「OUR」にすると 2,500 円の過剰額が発生します。
- ・取扱金融機関収納印のある振込金証明書、外国送金依頼書等を出願書類とともに提出してください。

◆現金でのお支払い方法 — コンビニエンスストア —

取り扱いコンビニ、支払い方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

LAWSON ローソン



ミニストップ



Loppi ロッピー

■お支払い方法

1. 「お客様番号（11桁）」と「確認番号（4桁）」を持って Loppi（ロッピー）へ
2. 「各種サービスメニュー」→「各種代金・インターネット受付・コンビニ支払い（PG）…」→「各種代金お支払い」→「マルチペイメントサービス」
3. サービス内容を確認し、「お客様番号（11桁）」と「確認番号（4桁）」を入力
4. Loppi で出力された申込券をレジに持って行き、お支払いください。
5. 収納証明書である、「取扱明細書」を必ず受け取ってください。



■ Loppi（ロッピー）未設置のミニストップでは・・・

レジで「オンライン決済」と伝え、「お客様番号」を「オンライン決済番号」として伝えてお支払いください。

※受け取った「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。

FamilyMart

ファミリーマート マルチコピー機

■お支払い方法

1. 「お客様番号（11桁）」と「確認番号（4桁）」を持ってマルチコピー機へ
2. 「代金支払い」→「各種番号入力」
3. 「お客様番号（11桁）」と「確認番号（4桁）」を入力
4. マルチコピー機で出力された申込券をレジに持って行き、お支払いください。
5. 収納証明書である、「取扱明細書」を必ず受け取ってください。



※受け取った「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。



セブン-イレブン

■お支払い方法

1. パソコンでプリントアウトした「払込票」か、確定画面に表示された「払込票番号（13桁）」を持ってセブン-イレブンへ向かってください。
2. レジで「インターネット支払い」と伝えて「払込票」を渡すか、「払込票番号」を伝えてお支払いください。
3. 収納証明書である、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を必ず受け取ってください。

※マルチコピー機は利用しません。

※受け取った「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。



◆現金でのお支払い方法 — 銀行（ページ）—



※左記のページマーク表記のある ATM のみご利用いただけます。

※ATM で現金でのお支払いの場合は、10万円を超えるお支払いはできません。

ゆうちょ銀行 / 郵便局 ATM でお支払い



各金融機関の ATM でお支払い ※例. みずほ銀行の ATM



■お支払い方法

発行された「収納機関番号： 58021（共通）」と「お客様番号（11桁）」と「確認番号（4桁）」を持ってページに対応している金融機関の ATM へ向かってください。

現金でお支払いの場合

1. 「料金払込（ページ）」にタッチ
2. 「収納機関番号： 58021（共通）」、「お客様番号（11桁）」、「確認番号（4桁）」を入力
3. お支払い内容を確認し、[お支払い方法を選択] → 「現金」にタッチ
4. [入力画面（電話番号）] → 連絡可能な「電話番号」を入力します
5. [現金の投入] → 現金を投入口から入れてください
6. [おつりの確認] → おつりと明細票が出ますのでお受取りください

※受け取った「明細票」は、提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。

通帳・カードでお支払いの場合

1. 「料金払込（ページ）」にタッチ
2. 「収納機関番号： 58021（共通）」、「お客様番号（11桁）」、「確認番号（4桁）」を入力
3. お支払い内容を確認し、[お支払い方法を選択] → 「通帳・カード」にタッチ
4. [入力画面（電話番号）] → 連絡可能な「電話番号」を入力します
5. [通帳もしくはカードの投入と、暗証番号の入力] → 通帳またはカードを入れて暗証番号を入力してください
6. [お支払い金額の確認] → お支払い金額が表示されますので、よろしければ「確認」をタッチ
7. [通帳もしくはカードの返却] → 通帳もしくはカードが返却され、明細票が出ますのでお受取りください

※受け取った「明細票」は、提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。

（３）特定国に居住する出願者に対する入学検定料免除措置制度（Ⅰ期入試のみ）

本学では、特定国に居住し、かつ国籍を有する出願者に対し、入学検定料を免除します。該当する出願者は、以下の内容をよく読み、「2027年度同志社大学入学検定料免除措置申請書」（本学所定 様式④）を出願書類と一緒に提出してください。

特定国に居住する出願者に対する入学検定料免除措置制度

1. 概要

本学学部の出願者が、本学が指定する国に居住し、かつ国籍を有する場合、本人からの申請に応じて入学検定料を免除します。

2. 対象者

次の条件をすべて満たす者。

- 1) OECD/DACが発行するODA受給国リストに掲載される「Least Developed Countries」または「Other Low Income Countries」の認定国に居住し、かつ該当国の国籍を有する者。ただし、居住国と国籍は同一の国である必要はありません。

※「ODA受給国リスト（2025 flows）」参照。

※日本国内居住者の出願は対象外とします。

- 2) 重国籍の場合は、いずれの国籍も前項の国に該当していることが必要です。

- 3) Ⅰ期入試出願者のみを対象としています。

3. 手続

本学に出願する際、出願書類として提出を求めている入学検定料振込金証明書(外国送金依頼書のコピー)の代わりに以下の書類を同封して申請してください。事後の申請はいかなる理由でも受け付けません。

- 1) 2027年度同志社大学入学検定料免除措置申請書（本学所定 様式④）

- 2) パスポートのコピー（本人に関する記載事項のすべての欄）

※本申請をする場合は、入学検定料を支払う必要はありません。なお、本申請を行う前に支払ってしまった場合には、入学検定料の返還は行いません。

※万が一、申請者が本免除措置の対象とならない場合や、虚偽の申請があった場合は、その事実が判明した時点で出願自体を取り消すことがあります。

[ODA受給国リスト（2025 flows）]

○ 後開発途上国（Least Developed Countries）

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベナン、ブルキナファソ、ブルンジ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン共和国、スーダン、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、イエメン、ザンビア

○ 低所得国（Low Income Countries which are not LDCs）

朝鮮民主主義人民共和国、シリア・アラブ共和国

「特定国からの外国人留学生に対する支援奨学金」制度について

本学では外国人留学生の経済的負担を軽減し、海外より優秀な学生を受け入れることを目的とする「特定国からの外国人留学生に対する支援奨学金」制度があります。本学が指定する国に居住し、かつ国籍を有する者で、「特定国からの外国人留学生に対する支援奨学金」の受給を希望する場合は、出願時に49～50ページの内容をよく読み、「2027年度特定国からの外国人留学生に対する支援奨学金願書」（本学所定 様式⑤）を出願書類と一緒に提出してください。

① 本学所定用紙は巻末に綴じてあります。点線部から切り取って使用してください。また、所定用紙は本学ホームページからダウンロードして印刷したものを使用することもできます。

【URL : https://intad.doshisha.ac.jp/intad/japanese_program/guide_entrance_exam.html】

記入の際は、**黒のボールペン（鉛筆や消せるペンの使用は不可）**を使用してください。修正テープなどは使用しないでください。



② 特に指定のある場合を除き、**出願書類は原本（オリジナル）を提出してください。**書類の写し（コピー）は受け付けません（**原本公証を受けたコピーは原本と同等とはみなしません。**）。

③ 卒業（修了）証明書、成績証明書等の提出書類が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、以下の（１）（２）いずれかの日本語訳（または英語訳）を提出してください。

（１）本国大使館または在日外国公館で翻訳公証を受けた日本語訳（または英語訳）

（２）出身日本語学校または出身高校で作成した日本語訳（または英語訳）

出身日本語学校（または出身高校）で作成した場合は必ずその学校の公印が必要です（コピー不可）。なお、翻訳会社による翻訳は認められません。

④ **提出された書類（卒業証明書や成績証明書等、複数回発行可能なもの）は一切返却しません。**ただし、学位記や卒業証書等、原本が一度しか発行されない書類に限り返却します。返却を希望する場合は書類チェックシート（本学所定 様式③）下部の「返却依頼書」に必ず「返却希望書類・返却先住所・氏名」を記載して提出してください。「返却依頼書」に記載されていない書類の返却は一切行いません。また、返却を希望されても、大学が複数回発行可能な書類と判断した場合は返却しません。

なお、返送には時間がかかりますので、原本が一度しか発行されない書類ですぐに原本の返却を希望する場合は、留学生課窓口（今出川校地 扶桑館2階）で以下の期間に原本の照合を受け付けます。

受付期間：2026 年 7 月 6 日（月）～ 8 月 7 日（金）

受付時間：9:00～11:30、12:30～17:00（日本時間）土曜日・日曜日・祝日は閉室

⑤ 複数の学部・学科を併願する場合、学部・学科ごとに書類を作成して一つの封筒にまとめて封入してください。また2学部・2学科以上出願する場合は、学部・学科ごとに入学検定料の納入が必要です。なお、**学部独自試験を実施する学部・学科・コース同士の併願は認めません。**

⑥ **出願書類の不足等、不備がある場合は、出願を受理しません。**13～14ページの「出願書類」「注意事項」「提出者」を確認し、提出前に書類チェックシート（本学所定 様式③）と照らし合わせ、不備がないことを必ず確認してください。書類チェックシート（本学所定 様式③）は必要事項を記入のうえ、出願書類に同封してください。

⑦ **出願後は、出願内容についての変更・取消は一切認めません。**

	出願書類	注意事項	提出者
1	提出用書類（出願確認票）	①写真をアップロードしてください（出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真で正面、上半身、脱帽、背景無地のもの）。画像に写真アプリ等で加工をしないでください。加工等の理由により本人確認ができない場合は、顔写真・志願書類の再提出を求めることがあるほか、不正行為と判断する場合があります。 ②インターネット出願システムで作成・印刷し、自筆で「日付」と「出願者署名」を記入してください。「出願者署名」がないものは受付不可となります。詳細は、「Ⅲ.出願手続 2.出願方法」（4ページ）を参照してください。氏名に漢字が表示されない場合は、漢字氏名欄に自筆で記入してください。	全員
2	同志社大学学部外国人留学生入学試験 志望理由書（本学所定 様式①）	出願者本人が自筆で記入してください。	全員
3	出身高等学校卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書【原本（オリジナル）】	原本（オリジナル）に限ります。 ※国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEALレベル、国際ALレベル、欧州バカロレア資格を保有し出願資格を満たす場合は、その証明書を提出してください。 ※大学を卒業している場合は、大学卒業（修了）証明書も提出してください。	全員
3-1	CSSD（学信網）が発行する Verification Report of China Secondary Education Qualification Certificateのプリントアウト	中国の現地正規課程による高等学校を卒業した場合は、3に加えて、提出してください。提出できない場合は、2026年7月10日（金）までに留学生課国際入学係に問い合わせてください。	該当者
3-2	Hong Kong Diploma of Secondary Education Examinationの証明書のコピー	香港の高等学校を卒業した場合は、3に加えて、提出してください。	該当者
3-3	国際的な評価団体の認定を受けている事を示す書類	国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設を修了（見込）の場合は、修了（見込）の教育施設が国際的な評価団体の認定を受けている事を示す証明書やウェブサイトのプリントアウト等を提出してください。	該当者
4	出身高等学校成績証明書【原本（オリジナル）】	①在学中の全学年・全学期の成績が記入されたものを提出してください。証明書に全学年・全学期の成績が記載されていない場合は、その理由を証明する出身学校作成の書類をあわせて提出してください（卒業見込の者で最終学期の成績が未確定の場合は不要）。 ②原本（オリジナル）に限ります。 ※大学を卒業している場合、大学の成績証明書も提出してください。	全員
5	準備教育課程修了証明書または修了見込証明書【原本（オリジナル）】	中等教育の課程修了まで12年を要しない国の学校教育を修了した者で、わが国の大学に入学するための準備教育課程を修了した者および2027年3月末日までに修了見込みの者は、その修了証明書または修了見込証明書の原本（オリジナル）を提出してください。	該当者
6	日本留学試験の成績確認書のプリントアウト	①次のいずれかの試験の成績確認書のプリントアウトを提出してください。複数の提出は認めません。また、インターネット出願システム上で登録された実施回以外のものは受け付けることができませんので注意してください。 2024年度第2回（11月実施）、2025年度第1回（6月実施） 2025年度第2回（11月実施）、2026年度第1回（6月実施） ②「Ⅴ. 選考内容」（15ページ～）で学部指定科目を確認してください。 ③日本留学試験の成績確認書の氏名と、その他の提出書類の氏名が一致していることを必ず確認してください。記載に誤りがある場合は、日本学生支援機構に連絡し、訂正してもらってください。 ④A4サイズ用の紙にプリントアウトしてください。	全員
7	英語能力を証明する書類【原本（オリジナル）】 （TOEFL iBT®テスト、TOEIC®Listening & Reading Test、IELTSアカデミック・モジュール（IELTSコンピューター版、IELTS for UKVIを含む）のいずれかのスコア） ※TOEFL iBT®テストのスコアはTest Dateスコアのみを活用します（MyBest™スコアは活用しません）。 ※TOEFL iBT® Home Edition（iBT® Special Home Edition）で取得したスコアは対象としません。 ※IELTSオンライン版で取得したスコアは対象としません。 ※IELTS One Skill Retakeで取得したスコアは対象としません。 ※英語を母語とする者または英語が公用語となっている国・地域に居住する者が、通常の課程による直近6年間の学校教育を英語で受けた場合、その旨を証明する出身学校作成の書類を提出することができれば、スコアカードの提出を免除します。 ※スポーツ健康科学部、グローバル・コミュニケーション学部は、TOEFL iBT®テストのスコアを以下の通り扱います。 2026年1月20日以前に実施された試験：0-120で示されたスコアを対象とします。 2026年1月21日以降に実施された試験：1-6のバンドスコアを対象とします。	①対象となる試験について、必ず「Ⅴ. 選考内容」（15ページ～）を参照してください。 ②2024年10月11日以降に実施されたテストのスコアが有効です。 ③TOEFL iBT®のスコアを利用する場合、My TOEFL Homeからスコアデータを同志社大学に直送するよう手続してください。直送する場合のコードは「7078」です。 ④TOEIC® Listening & Reading Testのスコアを利用する場合、紙の公式認定証（プリントアウト可）を提出してください。ただし、日本国内で受験した場合は、Digital Official Score Certificateに限ります。 ⑤IELTSのスコアを利用する場合、追加成績証明書を手配してください。送信方法は「電子送信」で、「Doshisha University- International Admissions Office」を選択してください。 ⑥提出されたスコアは出願締切日までに到着したものを有効とします（直送による提出の場合は、出願期間開始前に到着したものも有効です）。直送する手続きをしたにも関わらず、出願締切日までに本学へスコアが届かなかった場合、出願は受理されません。なお、スコアの到着状況に関する問い合わせには応じられません。 ⑦TOEFLならびにIELTSの結果を複数回直送されることは妨げません。ただし当該入学試験において利用できる結果は1回のみです。複数回直送した場合は、本入学試験に提出を希望する結果のみ、インターネット出願システム上で予め登録することになります。登録されたもの以外は受け付けることができませんので注意してください。 ⑧提出免除については「Ⅱ. 出願資格」（2ページ）を参照の上、事前に相談してください。該当する場合は、出身学校が作成した「直近6年間の学校教育を英語で受けたことを証明する書類」の原本（オリジナル）を提出してください。 ⑨本入学試験で一度提出し、本学が保管しているスコアを次回以降の入試に利用することはできません。有効期間内であれば過去に提出したスコア自体は有効ですが、スコアは改めて提出（TOEFL iBT®とIELTSは直送手続）してください。	全員

	出願書類	注意事項	提出者
8	推薦状（本学所定 様式②）	教育機関（出身学校を含む）等に勤務する人で、推薦者としてふさわしい人からのもの。	神学部
9	【日本国内居住者】 住民票記載事項証明書（コピー不可） 【日本国外居住者】 パスポートのコピー または 身分を証明する書類のコピー	日本国内居住者※ 国籍・在留資格・在留期間・在留期間の満了日が記載されているものを提出してください。 ※出願時から入学時まで日本に引き続き滞在し、改めて在留資格認定証明書（COE）の申請が不要である者。 日本国外居住者 ①顔写真・氏名が記載されているページをA4サイズの用紙にコピーしてください。 ②パスポートがない場合は、政府またはこれに準じる公的機関が発行した証明書（顔写真、氏名が記載されたもの）のコピーでも構いません。	全員
9-1	漢字氏名が記載された公的書類のコピー	韓国籍の者は、9に加えて、提出してください。	該当者
10	写真票	出願者氏名欄は、提出用書類（出願確認票）に記載した「漢字氏名」を自筆で丁寧に記入してください。氏名の一部に漢字がない場合、その文字は「カタカナ」で記入してください。また「漢字氏名」がない場合は、「英字氏名」を記入してください。なお、入学が許可された場合には、学生証用写真や教務情報等に使用します。	全員
11	入学検定料納入を証明する書類	クレジットカードで納入した場合 入学検定料納入後に受信する「【同志社大学 学部外国人留学生入学試験】入学検定料入金確認のお知らせ」のメール画面または入金完了の画面（収納証明書でも可）をA4サイズの用紙に印刷し、出願書類とともに提出してください。 コンビニエンスストア・ページで納入した場合（日本国内居住者のみ） 入学検定料納入後に発行される収納証明書または明細票を、提出用書類（出願確認票）の所定の欄に貼り付けてください。 外国送金で納入した場合（日本国外居住者のみ） 取扱金融機関収納印のある振込金証明書、外国送金依頼書等を提出書類とともに提出してください。	全員
12	宛名シート	インターネット出願システムで提出用書類（出願確認票）と一緒に印刷されます。受験票発送や選考結果を通知するために使用しますので、送付を希望する宛先が印刷されているか確認してください。出願後に住所を変更した場合はすみやかにji-intad@mail.doshisha.ac.jpまでE-mailにて連絡してください。	日本国内居住者のみ
13	書類チェックシート （本学所定 様式③）	このチェックシートで出願に必要な書類に不備・不足がないことを確認し、出願書類とともに提出してください。	全員
14	2027年度同志社大学入学検定料免除措置申請書（I期入試のみ） （本学所定 様式④）	本学が指定する国に居住し、かつ国籍を有する出願者は、10ページをよく読み、パスポートの必要箇所のコピーと本申請書を、他の出願書類とともに提出してください。	該当者
15	2027年度特定国からの外国人留学生に対する支援奨学金願書（I期入試のみ） （本学所定 様式⑤）	本学が指定する国に居住し、かつ国籍を有する出願者は49～50ページをよく読み、他の出願書類とともに提出してください。	該当者

V. 選考内容

I 期入試

1. 選考方法

神学部、文学部、法学部、経済学部、商学部、文化情報学部、 生命医科学部（医情報学科）、心理学部、 グローバル・コミュニケーション学部（日本語コース）、 グローバル地域文化学部	出願書類および学部独自試験により 総合判定
社会学部、政策学部、理工学部、 生命医科学部（医工学科、医生命システム学科）、 スポーツ健康科学部	出願書類により総合判定

2. 出願書類の指定について

選考に際して、下記、および別表【学部が指定する出願書類・学部が実施する独自試験】（16ページ）の
とおり指定していますので、間違いのないよう注意してください。

(1) 日本留学試験について

①対象となる日本留学試験は次のいずれかです。

2024年度第2回（11月実施）、2025年度第1回（6月実施）、2025年度第2回（11月実施）、2026年度第1回（6月実施）

②出題言語は、全学部とも日本語を指定します。

③学部が指定する利用科目は【学部が指定する出願書類・学部が実施する独自試験】（16ページ）のとお
りです。指定する利用科目を受験していない場合は出願することができませんので注意してください。

④「日本語」は、次に示す点数を合格の基準点とします。この基準点は、本学で学ぶにあたり最低必要と
思われる日本語能力の目安ですので、出願する際の参考にしてください（出願資格ではありません）。

合格の基準点：315点／450点満点

ただし、選考にあたっては、前項「1. 選考方法」の表のとおり、総合的に判定しますので、「日本語」
が基準点に達していることが合格を保証するものではありません。なお、この基準点は志願状況や得点
状況により、随時見直しを行います。

※グローバル・コミュニケーション学部（日本語コース）では、上記の「日本語」の合格の基準点
のほかに、以下の（1）もしくは（2）の条件を満たす場合、「日本語」の合格の基準点を200点
／450点満点とします。

（1）英語を母語とする者、もしくは英語が公用語となっている国・地域に居住する者（ただし、通
常の課程による直近6年間の学校教育を英語で受けたことを証明する書類を提出できること）

（2）以下のいずれかの条件を満たす者

TOEFL iBT®テスト

2026年1月20日以前に実施された試験：68点以上

2026年1月21日以降に実施された試験：Overall Score 4以上

TOEIC®Listening & Reading Test 650点以上

IELTSアカデミック・モジュール（IELTSコンピューター版、IELTS for UKVIを含む）

Overall Band Score 5.5以上

上記の外部試験の対象となる試験の種類は「(2) 英語能力を証明する書類について」に準ずる。

(2) 英語能力を証明する書類について

次のいずれかを対象とします。ただし、スコアカードの有効期間はテスト日より2年間とします（2024年
10月11日以降に実施されたもの）。

TOEFL iBT®テスト、TOEIC® Listening & Reading Test、IELTSアカデミック・モジュール（IELTS
コンピューター版、IELTS for UKVIを含む）

※TOEIC®Listening & Reading Test（IP）は対象としません。

※TOEFL ITP®テストは対象としません。

※TOEFL iBT®テストは「Test Dateスコア」のみを活用します（「MyBest™スコア」は活用しません）。

※TOEFL iBT® Home Edition（旧TOEFL iBT® Special Home Edition）で取得したスコアは対象としません。

※IELTSオンライン版で取得したスコアは対象としません。

※IELTS One Skill Retakeで取得したスコアは対象としません。

※英語を母語とする者または英語が公用語となっている国・地域に居住する者が、通常の課程による直
近6年間の学校教育を英語で受けた場合、その旨を証明する出身学校作成の書類を提出することができ
れば、スコアカードの提出を免除します。

※スポーツ健康科学部、グローバル・コミュニケーション学部は、TOEFL iBT® テストのスコアを以下
のとおり取り扱います。

2026年1月20日以前に実施された試験：0-120で示されたスコアを対象とします。

2026年1月21日以降に実施された試験：1-6のバンドスコアを対象とします。

(3) 志望理由書について

本学所定用紙（様式①）で提出してください。

【学部が指定する出願書類・学部が実施する独自試験】

	出願書類									学部独自試験		
	日本留学試験利用科目 注) 5							英語能力を 証明する 書類	志望 理由書	推薦状	小論文	面接 または 口頭試問
	日本語	総合 科目	数学		理科							
			コース1	コース2	物理	化学	生物					
神 学 部	○	○						○	○	○		面接
文 学 部	○	○						○	○			口頭試問 注) 1
社会学部	○	○						○	○			
法 学 部	○	○						○	○			面接
経済学部	○	○ (いずれか1科目選択)						○	○			口頭試問
商 学 部	○	○						○	○			面接
政策学部	○	○						○	○			
文化情報学部	○	○ (いずれか1科目選択)						○	○			口頭試問
理工学部 注) 2	○			○	○	○		○	○			
理工学部 注) 3	○			○	○ (いずれか2科目選択)			○	○			
生命医科学部 (医工学科・医生命システム学科)	○			○	○ (いずれか2科目選択)			○	○			
生命医科学部 (医情報学科)	○			○	○ (いずれか2科目選択)			○	○			口頭試問
スポーツ 健康科学部	○	○ (いずれか1科目選択)						○	○			
心理学部	○	○						○	○		○	口頭試問
グローバル・ コミュニケーション学部 (日本語コース)	○	○						○	○		○	口頭試問
グローバル 地域文化学部	○	○						○	○			口頭試問 注) 4

日本留学試験の出題言語は、全学部とも日本語を指定します。

- 注) 1 文学部英文学科の口頭試問については、日本語および英語で行います。文学部文化史学科の口頭試問については、入学後のカリキュラムを踏まえ、日本文化史コース、西洋・東洋文化史コースのいずれを希望するかを確認した上で、質問をします。文学部国文学科の口頭試問については、当日配付する日本語の文章の音読、およびその内容についての質疑応答を含みます。
- 注) 2 理工学部のうち、電気工学科、電子工学科、機械システム工学科、機械理工学科は、理科の選択科目について、物理と化学の2科目を指定します。
- 注) 3 理工学部のうち、インテリジェント情報工学科、情報システムデザイン学科、機能分子・生命化学科、化学システム創成工学科、環境システム学科、数理システム学科は理科の選択科目について、物理、化学、生物のうち、いずれか2科目を選択してください。
- 注) 4 グローバル地域文化学部の口頭試問について、質問は日本語で行います。英語での質問を加えることがあります。
- 注) 5 志望する学部・学科で定められた科目を日本留学試験で受験しなかった場合は可否判定対象外となり、不合格となります。

3. 学部独自試験

神学部、文学部、法学部、経済学部、商学部、文化情報学部、生命医科学部（医情報学科）、心理学部、グローバル・コミュニケーション学部（日本語コース）、グローバル地域文化学部は、次の要領で学部独自試験を実施します。

試験日：2026年10月10日（土）

	試験会場			試験科目・試験時間	
	同志社大学 今出川校地	同志社大学 京田辺校地	海外	詳細は学部から発送される案内を 確認してください。	
神 学 部	○		○	面接	
文 学 部	○		○	口頭試問（100点）	
法 学 部	○		○	面接	
経済学部	○		○	口頭試問	
商 学 部	○		○	面接	
文化情報学部		○	○	口頭試問	
生命医科学部 （医情報学科）		○		口頭試問	
心理学部		○	○	小論文（60分）	口頭試問
グ ローバル・ コミュニケーション学部 （日本語コース）		○	○	小論文（70分）	口頭試問
グ ローバル 地域文化学部	○		○	口頭試問	

注）不測の事態により予定が変更される場合があります。その場合は出願時に届け出たE-mailアドレスに連絡しますので、同志社大学とのやり取りが確実にできるE-mailアドレスを記載のうえ、定期的に確認するようにしてください。

（1）試験会場について

出願時に選択した試験会場は変更できません（試験当日の会場変更も許可しません）。

日本国内居住者

学部により、受験する会場が異なりますので注意してください（上表参照）。

- ・ 今出川校地（京都市上京区今出川通烏丸東入）

【URL： <https://www.doshisha.ac.jp/information/imadegawa/index.html> 】



- ・ 京田辺校地（京都府京田辺市多々羅都谷1-3）

【URL： <https://www.doshisha.ac.jp/information/kyotanabe/index.html> 】



日本国外居住者

海外試験会場は次の国・都市を予定しています。詳細は受験票発送の際にお知らせいたします。

試験実施予定地：韓国（ソウル）

※ただし、生命医科学部（医情報学科）については、海外試験会場の設定はありません。

（２）試験時間について

試験時間は本学が指定し、受験票発送の際にお知らせいたします。必ずその通知で確認してください。

（３）面接または口頭試問について

- ①面接または口頭試問は日本語で行います。ただし、文学部英文学科の口頭試問については、日本語および英語で行います。また、グローバル地域文化学部の口頭試問について、質問は日本語で行います。英語での質問を加えることがあります。
- ②文学部文化史学科の口頭試問については、入学後のカリキュラムを踏まえ、日本文化史コース、西洋・東洋文化史コースのいずれを希望するかを確認した上で、質問をします。
- ③文学部国文学科の口頭試問については、当日配付する日本語の文章の音読、およびその内容についての質疑応答を含みます。
- ④海外試験会場では、テレビ会議システム等を利用して遠隔地面接または口頭試問を実施します。
- ⑤面接または口頭試問では、持参した資料の参照はできません。

４．受験上の注意**（１）受験票について**

学部独自試験のある学部・学科は郵送で届く受験票、学部独自試験のない学部・学科はインターネット上で確認するデジタル受験票になります。

郵送で届く受験票 学部独自試験のある学部・学科

- ①受験票は、出願書類を受理した後に受験番号を付与して出願学部の事務室から出願者宛に 2026 年 9 月 28 日（月）頃に発送します。

10月5日（月）までに届かない場合は**出願学部の事務室**へ連絡してください（連絡先は53ページ参照）。

- ②試験当日は必ず受験票を持参してください。合格者発表の際に必要なので、なくさずに保管してください。

デジタル受験票 学部独自試験のない学部・学科

- ①受験票は、インターネット上で出願者自身が確認してください（紙媒体の受験票は発行・郵送しません）。パソコン・スマートフォン・タブレット端末から下記のアドレスにアクセスし、自身の受験番号を確認してください（※詳細は20ページ参照）。

【URL：https://sak-sak.net/app/ref/dsnt/】（パソコン・スマートフォン・タブレット端末共通）

- ②取得可能期間は以下のとおりです。

2026 年 9 月 30 日（水）16:00（日本時間）～ 2026 年 10 月 30 日（金）17:00（日本時間）

**（２）集合について**

- ①集合時間の詳細については、受験票発送の際に通知します。
- ②筆記試験の場合、試験開始15分前までには試験会場に入室・着席してください。
- ③筆記試験の場合、試験開始後30分以上遅刻した場合は受験を許可しません。
- ④面接または口頭試問の場合、集合時間までに所定の会場に入室・着席してください。また、集合時間に30分以上遅刻した場合は受験を許可しません。

(3) 不可抗力による事故等について

自然災害（大雨、大雪、地震、津波、台風、洪水等）、火災、停電、感染症またはその他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始の繰り下げ（試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更になること、また試験時間を確保するために休憩時間を調整することがあります）をすることがあります。また、試験の実施が困難であると本学が判断した場合は試験日を翌週の土曜日（2026年10月17日（土））に延期します。また、試験日が延期になった場合、合格者発表日も延期します。これらの取り扱いは日本国内会場、海外会場ごとに異なることがあります。なお、これらの措置によって生じた受験生負担の費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。

(4) 受験生への連絡について

前記（3）の措置をとる場合の受験生への連絡は、基本的に本学ホームページ上で行います。

【URL：<https://intad.doshisha.ac.jp/intad/>】

**(5) 感染症について**

試験当日、学校保健安全法での出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻しん、風しん、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し治療していない場合は、他の受験生や試験監督者等への感染の恐れがありますので、受験をお断りすることがあります。試験当日の体調管理については十分に注意してください。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をお断りした場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還はいたしません。

(6) 障がい等のある受験生の受験に際しての要望について

受験方法や入学後の修学について要望がある場合は、出願に先立ち、2026年7月10日（金）までに出願学部の事務室にお問い合わせください。

(7) その他

学部独自試験の会場、集合場所、集合時間など、受験票を受け取ってからの質問は、出願学部の事務室に問い合わせてください（連絡先は53ページ参照）。

学部外国人留学生入学試験（I期入試）の受験番号について デジタル受験票取得方法

URL : <https://sak-sak.net/app/ref/dsnt/>

※パソコン・スマートフォン・タブレット端末で取得できます。

※サイトに接続できない場合は、未成年者アクセス制限サービスを解除してご利用ください。

パソコン・スマートフォン・タブレット端末からの取得方法

1 ■デジタル受験票取得URL (<https://sak-sak.net/app/ref/dsnt/>)



2 同志社大学提出用書類（出願確認票）に記載した日本留学試験受験票等に記載されている受験番号（数字部分12桁）および生年月日（西暦で半角数字8桁）を入力して、「受験番号確認」を押してください。



3 表示された内容を確認してください。表示された受験番号はブラウザの機能等で印刷するか内容を必ずメモしてください。

QRコードからもアクセスできます。

タブレット、スマートフォン、QRコード読み取り可能な機種からは右のQRコードが利用できます。対応については、各携帯電話の取扱説明書で確認するか、各携帯電話会社に確認してください。（本学へのお問い合わせには応じられません。）



デジタル受験票の取得に必要なもの

同志社大学提出用書類（出願確認票）に記入した日本留学試験受験票等に記載されている受験番号（数字部分12桁）および生年月日（西暦で半角数字8桁）で認証を行います。

※誕生月あるいは誕生日が1桁の場合は10の位に0を入力してください。

※日本留学試験受験番号については、*を除く半角数字12桁を入力してください。

控 用

日本留学試験受験番号（半角数字）

□□ * □□□□ * □□□□□□

生年月日（半角数字）

□□□□ 年 □□ 月 □□ 日

注 意 事 項

- ここで表示される受験票の内容は正式なものであり、別途受験票等の郵送はありませんので、必ず控えるか保存してください。
- 本受験票は合格発表日まで大切に保管してください。
- 本受験票の内容が出願内容と相違ないことを確認してください。
- パソコンの性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。
- パソコンのブラウザの設定によっては、画像のずれ・文字化けなどが発生する場合があります。その場合はブラウザの調整をしてください。
- 操作方法に関して、本学へのお問い合わせには応じかねます。

VI. 合格者発表

I 期入試

2026年10月23日（金）

上記の日程に、合格者には合格通知書を速達郵便で発送します（学内での掲示による発表はありません）。合格通知書に添えて、入学手続書類を同封し、日本国内居住者は書類送付先住所、日本国外居住者は現住所（国外）宛に発送します。

不合格者には不合格通知書を送付しません。後述のインターネットによる「合格者受験番号案内」をもって代えます。また、学部独自試験の欠席者は合否判定の対象外となります。

なお、合格通知書の未着に関する事以外、合否に関する問い合わせ等には一切応じません。

※合格通知書の郵送途中で生じた事故（紛失、個人情報の漏洩など）について本学では責任を負いかねます。

■インターネットによる「合格者受験番号案内」

正式な合格者発表は合格通知書の郵送によるものとしませんが、受験生の便宜を考慮し、インターネットによる「合格者受験番号案内」を行います。

①本学ホームページに合格者の受験番号一覧が表示されますので、確認してください。

【URL：<https://www.doshisha.ac.jp/international/oisgouhi/gouhi.html>】

②掲載期間は以下のとおりです。

2026年10月23日（金）10：00（日本時間）～2026年10月30日（金）17：00（日本時間）

③アクセス状況に関する問い合わせには一切応じません。アクセスしにくい場合は時間をずらして再度アクセスしてください。



※学部独自試験のない学部・学科では紙媒体の受験票を発行・郵送しません。デジタル受験票を取得して受験番号を確認してください（詳細は20ページ参照）。

VII. 入学手続

I 期入試

所定の期限までに次の手続を完了してください。手続の詳細は、合格通知書に同封される入学手続書類で必ず確認してください。期限までに入学手続を完了しない場合には、入学を許可しません。

学生納付金の納入

日本国内居住者

第1次手続と第2次手続があります。本学所定の振込依頼書を用い、金融機関の窓口から「電信扱」で振り込んでください。納入金額と納入方法等詳細は入学手続書類でお知らせいたします。

	納入期間	納入金額
第1次手続	2026年11月9日(月)までに納入してください。	登録料(入学金相当額)
第2次手続	2027年2月4日(木)～2027年3月2日(火)	入学手続時納入必要額から登録料を差し引いた金額

⇒上記の手続が完了したことが確認でき次第、「入学許可書」を発行します。

日本国外居住者

以下に、参考として現段階での入学手続方法の概要を示しますが、変更になる場合がありますので、必ず合格者に送付される「合格通知書の送付と入学手続等について」にしたがって手続を行ってください。

【参考】入学手続方法の概要

オンライン送金または金融機関の窓口から送金してください。納入金額と納入方法等詳細は入学手続書類でお知らせいたします。

納入期間	納入金額
2026年12月2日(水)までに納入してください。	入学手続時納入必要額全額

本学では、日本国外に居住している合格者のために、留学ビザ取得のために必要な「在留資格認定証明書」の代理申請を行っています。代理申請を希望する場合は、次の手続をしてください。詳細は入学手続書類でお知らせします。

- ①2026年12月2日(水)までに入学手続時納入必要額の全額を納入してください。
- ②2026年12月2日(水)までに「在留資格認定証明書」の代理申請必要書類(申請者情報ならびに日本留学・滞在に必要な経費支弁に関する証明書等)を提出してください。経費支弁に関する証明書の詳細は、23ページを参照してください。
- ③上記①および②の手続完了が確認できた者から順に、法務省に「在留資格認定証明書」を本学が代理申請します。
- ④「在留資格認定証明書」が交付されましたら、「入学許可書」とともに送付しますので、居住する国にある日本大使館あるいは総領事館に持参し、留学ビザ発給を申請してください。
- ⑤日本に入国する際は、必ず留学ビザを取得のうえ、在留資格「留学」で入国してください。留学ビザを取得しなかった場合、帰国して留学ビザを取得しなおす必要があります。

※学生納付金を外国送金する際の手数料等を過剰に入金した場合の過剰額は、秋学期の学費に充当します。

**在留資格認定証明書（Certificate of Eligibility: COE）の取得のために必要な
申請書類について**

詳細は合格通知書に同封される入学手続書類で必ず確認してください。

＜提出書類＞

1. 申請者本人のパスポートのコピー
2. 申請者本人の顔写真
3. 日本滞在に必要な1年分の経費（学費および生活費）を支弁できることを証明する書類

下記①～③から該当する支弁方法を選び、必要書類を提出してください。

①本人が経費を支弁する場合

- 本人名義の預金残高証明書（1年間の学費＋生活費月額100,000円×12ヶ月分以上の残高があるもので、日本に送金可能な銀行および通貨のもの）
※奨学金を活用する場合は、奨学金受給決定通知書や契約書（受給金額、受給予定期間、支給機関が明記されたもの）等の写しを提出してください。

②本人の親族等が経費を支弁する場合

- 経費支弁書
- 経費支弁者名義の預金残高証明書（1年間の学費＋生活費月額100,000円×12ヶ月分以上の残高があるもので、日本に送金可能な銀行および通貨のもの）
- 経費支弁者の総所得金額の記載のある書類（源泉徴収票、確定申告書控（写）、住民税の課税証明書、所得税の納税証明書のうちのいずれかひとつ）
- 経費支弁者の身分証明書（パスポート等）のコピー

③日本在住者が経費を支弁する場合

- 経費支弁書
- 経費支弁者の総所得金額の記載のある書類（源泉徴収票、確定申告書控（写）、住民税の課税証明書、所得税の納税証明書のうちのいずれかひとつ）
- 経費支弁者の住民票

※経費支弁者が複数いる場合は経費支弁者全員分の必要書類を記入・提出してください。

※日本語または英語以外で作成された書類の場合は、日本語訳または英語訳を添付してください。

※経費支弁に関する証明書に関して、不明な点がある場合は、留学生課国際入学係（今出川校地）に問い合わせてください。

■注意事項

いったん納入された登録料または入学金はいかなる事情があっても返還いたしません。

入学手続を完了した後、**2027年3月31日（水）（消印有効）**までに所定の方法（「入学辞退理由書」の原本を提出）により入学手続を取り消す場合に限り、学生納付金から入学金を差し引いた金額を返還します。

VIII. その他の注意事項

I 期入試

1. 学年は4月に始まり、翌年3月に終わります。
2. 入学後は「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定める在留資格（原則として「留学」）の取得が必要です。「留学」以外の日本に長期で滞在できる在留資格でも入学・在学することはできますが、その場合「留学」の在留資格を対象にした各種補助制度を利用できませんのでご了承ください。また、「短期滞在」の在留資格で大学に在籍し続けることはできません。
3. 在留資格認定証明書の交付は法務省が行うものであり、不交付となった場合および交付が遅れたことによって発生した費用等については本学は責任を負うことはできません。不交付となった場合は入学を取り消すことがあります。また、在学期間中に在留資格を失うことになった場合は本学に在籍することはできません。
4. 出願書類または入学手続の際に提出すべき書類に、虚偽または不備があった場合は、入学を取り消すことがあります。
5. 商学部の合格者には、入学前教育プログラムを必ず受講していただきます。詳細は合格発表後に改めて通知します。
6. その他、出願に関して不明な点があれば、留学生課国際入学係（今出川校地）に問い合わせてください。

Ⅱ期入試

I. 募集学部・学科・コース／募集人数

学 部	学 科 ・ コース		募集人数
神学部	神学科		若干名
文学部	英文学科、哲学科、美学芸術学科、文化史学科（日本文化史コース、西洋・東洋文化史コース）、国文学科		若干名
社会学部	社会学科、社会福祉学科、メディア学科、産業関係学科、教育文化学科		若干名
法学部	法律学科、政治学科		若干名
経済学部	経済学科		I期入試とあわせて15名
商学部	商学科（商学総合コースのみ）		I期入試とあわせて15名
政策学部	政策学科		若干名
文化情報学部	文化情報学科		若干名
理工学部	インテリジェント情報工学科、情報システムデザイン学科、電気工学科、電子工学科、機械システム工学科、機械理工学科、機能分子・生命化学科、化学システム創成工学科、環境システム学科、数理システム学科		I期入試とあわせて各学科1名
生命医科学部	医工学科、医情報学科、医生命システム学科		I期入試とあわせて各学科2名
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科		I期入試とあわせて3名
心理学部	心理学科		若干名
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科 日本語コース		I期入試とあわせて15名
グローバル地域文化学部	グローバル地域文化学科	ヨーロッパコース	若干名
		アジア・太平洋コース	若干名
		アメリカコース	若干名

※第3年次転入学・編入学試験は、2022年度入試より廃止しました。

※文学部文化史学科は出願時にコースの選択はありません。口頭試問時に確認します。

外国籍を有し、以下の3項目を満たす者。

1. 次のいずれかに該当する者。

(1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、および2027年3月末日までに修了見込みの者。

(注意事項)

※「外国において学校教育における12年の課程を修了した者、および2027年3月末日までに修了見込みの者」とは、「外国の高等学校を卒業した者または卒業見込みの者」が対象である。外国の高等学校には、「日本にある外国人学校」および「文部科学大臣が認定した在外教育施設」は含まない。

※日本の学校教育法にもとづく小学校・中学校・高等学校等に在学した者は、その期間が通算4年以内である場合に限る。ただし、通算4年以内であっても、日本の高等学校または中等教育学校のみを卒業した者、および2027年3月末日までに卒業見込みの者は出願資格を有しない。

※「日本にある外国人学校」および「文部科学大臣が認定した在外教育施設」に在学した場合は、その在学期間を日本の学校教育法にもとづく小学校・中学校・高等学校等に在学した者と同様とみなす。

(2) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力を認定する当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者で、2027年3月末日までに満18歳に達する者。

(3) 中等教育の課程修了まで12年を要しない国の学校教育を修了した者で、文部科学大臣が指定した「我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程（準備教育課程）」を修了した者、および2027年3月末日までに修了見込みの者。

(4) 外国において高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされる者であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定する者を修了した者および2027年3月末日までに修了見込みの者。

(5) 国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレアのいずれかの資格を外国において取得した者。

(6) その他本学において、前記(1)(2)(3)(4)(5)と同等以上の資格を有すると認めた者で、2027年3月末日までに満18歳に達するもの。

2. 独立行政法人日本学生支援機構による「日本留学試験」のうち、次のいずれかの試験において各学部が指定する科目を受験した者（「V. 選考内容」（37ページ～）参照）。

(1) 2025年度第1回（6月実施） (2) 2025年度第2回（11月実施）

(3) 2026年度第1回（6月実施） (4) 2026年度第2回（11月実施）

3. 次のいずれかの試験を受験し、そのスコアにより英語能力を証明することができる者。

(1) TOEFL iBT[®]テスト (2) TOEIC[®]Listening & Reading Test

(3) IELTSアカデミック・モジュール（IELTSコンピューター版、IELTS for UKVIを含む）

※TOEIC[®]Listening & Reading Test（IP）は対象としない。

※TOEFL ITP[®]テストは対象としない。

※TOEFL iBT[®]テストは「Test Dateスコア」のみを活用する（「MyBestTMスコア」は活用しない）。

※TOEFL iBT[®] Home Edition（旧TOEFL iBT[®] Special Home Edition）で取得したスコアは対象としない。

※IELTSオンライン版で取得したスコアは対象としない。

※IELTS One Skill Retakeで取得したスコアは対象としない。

※スコアの有効期間はテスト日より2年間とする（2025年1月10日以降に実施されたもの）。

※英語を母語とする者または英語が公用語となっている国・地域に居住する者が、通常の課程による直近6年間の学校教育を英語で受けた場合、その旨を証明する出身学校作成の書類を提出することができれば、スコアの提出を免除する。

※スポーツ健康科学部、グローバル・コミュニケーション学部は、TOEFL iBT[®] テストのスコアを以下の通り扱う。

2026年1月20日以前に実施された試験：0-120で示されたスコアを対象とする。

2026年1月21日以降に実施された試験：1-6のバンドスコアを対象とする。

■注意事項

- ①授業は、大部分が日本語で行われますので、十分な日本語能力が要求されます。
- ②26ページのI.(6)の該当者については志願する学部が出願資格の認定を行います。**2026年10月5日（月）**までに留学生課国際入学係に連絡してください。
- ③前項②以外で、出願資格について不明な点がある場合は、事前に留学生課国際入学係（今出川校地）に問い合わせてください（連絡先は表紙に記載）。
- ④入学試験に合格した者で、2027年3月末日までに出願資格の要件を満たさなかった者は入学を許可しません。

1. 日程

インターネット出願システム登録期間	2026年11月2日(月)9時(日本時間)～2026年11月16日(月)17時(日本時間)
入学検定料納入期間	2026年11月2日(月)～2026年11月16日(月)
出願受付期間	2026年11月2日(月)～2026年11月16日(月)17時(日本時間) 郵送必着 ※韓国居住者が本学ソウル事務所に提出する場合は、2026年11月2日(月)～2026年11月6日(金)17時(日本時間) 郵送必着

2. 出願方法

定められた期間内に、以下(1)～(4)の全てを完了する必要があります。

2学部・2学科以上に出席する場合は、**学部・学科ごとに提出用書類(出願確認票)の作成と入学検定料の納入が必要です。**

(1) インターネット出願システム登録

- ・次のURLにアクセスしてください。【URL：<https://sak-sak.net/app/dsnt/>】
- ・利用案内ページの「出願開始」ボタンをクリックし、画面の指示に従って必要事項を登録してください。
- ※登録したE-mailアドレスは、本学からの連絡手段として使用します。
- ・英字氏名はパスポート表記通りに入力してください。
- ・入学検定料の「支払方法選択」画面で、「クレジットカード」「コンビニエンスストア、ペイジー(日本国内居住者のみ)」「外国送金(日本国外居住者のみ)」のいずれかを選択してください。



(2) 提出用書類(出願確認票)の印刷

- ・画面に「出願情報登録完了」と表示されましたら、「提出用書類印刷」ボタンをクリックし、**提出用書類(出願確認票)をA4サイズで印刷してください。**
- ・「出願受付番号」は、出願受付に関する問い合わせ等で必要となります。

※必ず定められた期間内に、提出用書類(出願確認票)の作成と印刷を行ってください。

※印刷完了後にWeb上で出願内容の変更はできません。変更が必要な場合は、印刷した提出用書類(出願確認票)に直接、自筆で修正してください。ただし、1ページ下部「志願情報」の変更が必要な場合は、提出前にji-intad@mail.doshisha.ac.jpまでE-mailにて連絡してください。



(3) 入学検定料の支払い

クレジットカードで納入する場合(詳細は30ページを参照)

- ・「検定料支払い画面」から、入学検定料納入に必要な支払情報を入力してください。
- ・入学検定料納入後に受信する「【同志社大学 学部外国人留学生入学試験】入学検定料入金確認のお知らせ」のメール画面または入金完了の画面(収納証明書でも可)をA4サイズの用紙に印刷し、出願書類とともに提出してください。

コンビニエンスストア、ペイジーで納入する場合(日本国内居住者のみ)(詳細は30ページを参照)

- ・「検定料支払い画面」から、入学検定料の支払窓口を選択してください。
- ・入学検定料納入期間内に、選択した支払方法で入学検定料を納入し、収納証明書・明細票を受け取ってください(各コンビニエンスストア・ペイジーの支払方法の詳細は32～33ページを参照)。

外国送金で納入する場合(日本国外居住者のみ)(詳細は31ページを参照)

- ・取扱金融機関収納印のある振込金証明書、外国送金依頼書等を出願書類とともに提出してください。



(4) 出願書類の準備・作成・提出

- ・提出用書類(出願確認票)に記載された内容を確認し、他の出願書類(34～36ページ参照)と一緒に出願受付期間内に郵送してください。持参は受け付けません。出願受付期間内に全ての書類が本学に到着し、受理された時点をもって出願手続完了となります。
- ・韓国居住者については、2026年11月2日(月)～2026年11月6日(金)17時(日本時間)の期間に限り、本学ソウル事務所に郵送することができます。ソウル事務所も持参は受け付けません。

出願書類の提出先（郵送のみ）

本学に郵送する場合

※出願受付期間内必着ですので、余裕を持って発送してください。

- ・複数の学部、学科を併願する場合は、出願書類一式を1つの封筒にまとめて送付してください。
- ・出願書類の到着確認は、各自で郵便局引受番号または国際宅配業者の追跡番号等で確認してください。

■日本国内から郵送する場合

提出用書類（出願確認票）と一緒に印刷される「出願書類提出用ラベル」を封筒に貼り、必ず簡易書留速達で郵送してください。

■日本国外から郵送する場合

国際スピード便（EMS）または国際宅配便で郵送してください。追跡確認ができる方法で送付してください。

送付先：〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

同志社大学 留学生課国際入学係

Section for International Admissions, Office of International Students, Doshisha University

Karasuma-higashiiru, Imadegawadori, Kamigyo-ku, Kyoto 602-8580, JAPAN

本学ソウル事務所に郵送する場合

※2026年11月2日（月）～2026年11月6日（金）17時（日本時間）の期間内必着ですので、余裕を持って発送してください。必ず登記郵便で郵送してください。

送付先：Doshisha Seoul Office, #408, YMCA Jongno 69, Jongno-gu, Seoul, Korea 03164

3. 入学検定料および納入方法

（1）入学検定料

学部ごとの入学検定料は以下のとおりです。

出願学部	入学検定料
神学部、文学部、法学部、文化情報学部、生命医科学部（医情報学科）、心理学部、グローバル・コミュニケーション学部（日本語コース）、グローバル地域文化学部	1学部・1学科につき 15,000 円
社会学部、経済学部、商学部、政策学部、理工学部、生命医科学部（医工学科、医生命システム学科）、スポーツ健康科学部	1学部・1学科につき 10,000 円

※2学部・2学科以上に出願する場合は、学部・学科ごとに分けて入学検定料を支払ってください。

※いったん納入された入学検定料は返還いたしませんので、注意してください。

(2) 納入方法

以下のいずれかの方法で、28 ページ記載の入学検定料納入期間に納入してください。

①クレジットカードで納入する場合

- ・インターネット出願システム入力時に「支払方法選択」画面で、「クレジットカードでお支払い」を選択します。
- ・「出願情報登録完了」画面（書類出力画面）で、「お支払い手続きへ」ボタンを押すと、「検定料支払い画面」が開きますので、支払情報を入力してください。
- ・「検定料支払い画面」は、出願後の登録完了メールまたは「出願状況確認」画面から開くこともできます。
- ・VISA、Master Card、JCB、AMERICAN EXPRESS のクレジットカードの利用が可能です。
- ・利用するクレジットカードの「カード番号」「有効期限」「セキュリティコード」を入力してください。

※支払い時の注意

- ・入学検定料の他に、事務手数料が別途かかります。詳しくは Web サイトをご確認ください。
- ・支払いの決済は、「円建て」で行われます。日本円への換算は、利用代金を国際提携組織の決済センターが処理した時点で適用した交換レートが適用されます。詳しくは、利用するクレジットカード会社へ問い合わせてください。
- ・入学検定料納入後に受信する「【同志社大学 学部外国人留学生入学試験】入学検定料入金確認のお知らせ」のメール画面または入金完了の画面（収納証明書でも可）を A 4 サイズの用紙に印刷し、出願書類とともに提出してください。

②コンビニエンスストア、ペイジーで納入する場合（日本国内居住者のみ）

- ・インターネット出願システム入力時に「支払方法選択」画面で、「コンビニエンスストアでお支払い」または「Pay-easy でお支払い」を選択します。
- ・「出願情報登録完了」画面（書類出力画面）で、「お支払い手続きへ」ボタンを押すと、「検定料支払い画面」が開きますので、支払窓口を選択してください。
- ・「検定料支払い画面」は、出願後の登録完了メールまたは「出願状況確認」画面から開くこともできます。

【コンビニエンスストアの場合】

- ・日本国内のコンビニエンスストア（ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セブンイレブン）にて利用可能です。
- ・コンビニエンスストアでの納入方法の詳細については、32 ページを参照してください。
- ・入学検定料の他に、事務手数料が別途かかります。詳しくは Web サイトをご確認ください。
- ・コンビニエンスストアでの支払いに際しては、家族・知人が代理で手続する場合でも、必ず出願者本人の情報（氏名・住所・電話番号等）を入力してください。
- ・入学検定料納入後に発行される収納証明書を、提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。

【ペイジー（Pay-easy）の場合】

- ・ペイジーでの納入方法の詳細については、33 ページを参照してください。
- ・入学検定料の他に、事務手数料が別途かかります。詳しくは Web サイトをご確認ください。
- ・入学検定料納入後に発行される明細票を、提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。

③外国送金で納入する場合（日本国外居住者のみ）

※クレジットカードをお持ちの場合は、可能な限り、クレジットカードで納入してください。

クレジットカードによる納入ができない場合は下記の要領にしたがい、外国送金を行ってください。

- ・インターネット出願システム入力時に「支払方法選択」画面で、「外国送金でお支払い」を選択してください。

出願する学部により、入学検定料の金額、送金先口座番号が異なります。出願する学部の金額をよく確認して、間違いのないように手続きを行ってください。

入学検定料以外に、日本の銀行でかかる手数料 2,500 円を加算した金額を納入してください。

送金種別	電信送金（Telegraphic Transfer）			
送金方法	口座振込（Advise and Credit）			
送金手数料	送金時手数料は送金人負担 & 受取時手数料は受取人負担 [SHA] (Local charges borne by remitter & overseas charges by beneficiary [SHA])			
通貨	日本円（JPY）			
送金額	入学検定料（29 ページ参照） + 日本の銀行でかかる手数料 2,500 円			
送金先口座				
銀行名	三井住友銀行（SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION）			
支店名	ラベンダー支店（LAVENDER Branch）			
銀行住所	〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町8 (8 Naginataboko-cho, Karasuma-higashiiru, Shijo-dori, Shimogyo-ku, Kyoto, 600-8008, JAPAN)			
SWIFT ADDRESS	SMBCJPJT			
預金種類	普通預金（Ordinary Account [Savings Account]）			
口座番号	神学部	976-0100100	文化情報学部	976-0100107
＊出願学部により 異なります	文学部	976-0100101	理工学部	976-0100008
	社会学部	976-0100002	生命医科学部（医工学科、医生命システム学科）	976-0100009
	法学部	976-0100103	生命医科学部（医情報学科）	976-0100109
	経済学部	976-0100004	スポーツ健康科学部	976-0100010
	商学部	976-0100005	心理学部	976-0100111
	政策学部	976-0100006	グローバル・コミュニケーション学部	976-0100112
			グローバル地域文化学部	976-0100113
受取人名	同志社大学（Doshisha University）			

※送金時の注意

- ・必ず金融機関窓口から送金してください（インターネットバンキングでの送金は不可）。
- ・送金者の名義は出願者本人としてください。
- ・受取人名には「同志社大学（Doshisha University）」以外入力しないでください。
- ・金融機関の振込依頼書のメッセージ欄に、志望する学部を記入してください。
- ・送金手数料は「OUR」ではなく「SHA」で送金してください。「OUR」にすると 2,500 円の過剰額が発生します。
- ・取扱金融機関収納印のある振込金証明書、外国送金依頼書等を出願書類とともに提出してください。

◆現金でのお支払い方法 – コンビニエンスストア –

取り扱いコンビニ、支払い方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにのご案内いたします。

LAWSON ローソン



ミニストップ



ロッピー

■お支払い方法

1. 「お客様番号（11桁）」と「確認番号（4桁）」を持って Loppi（ロッピー）へ
2. 「各種サービスメニュー」→「各種代金・インターネット受付・コンビニ支払い（PG）…」→「各種代金お支払い」→「マルチペイメントサービス」
3. サービス内容を確認し、「お客様番号（11桁）」と「確認番号（4桁）」を入力
4. Loppi で出力された申込券をレジに持って行き、お支払いください。
5. 収納証明書である、「取扱明細書」を必ず受け取ってください。



■ Loppi（ロッピー）未設置のミニストップでは・・・

レジで「オンライン決済」と伝え、「お客様番号」を「オンライン決済番号」として伝えてお支払いください。

※受け取った「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。

FamilyMart

ファミリーマート マルチコピー機

■お支払い方法

1. 「お客様番号（11桁）」と「確認番号（4桁）」を持ってマルチコピー機へ
2. 「代金支払い」→「各種番号入力」
3. 「お客様番号（11桁）」と「確認番号（4桁）」を入力
4. マルチコピー機で出力された申込券をレジに持って行き、お支払いください。
5. 収納証明書である、「取扱明細書」を必ず受け取ってください。



※受け取った「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。



セブン-イレブン

■お支払い方法

1. パソコンでプリントアウトした「払込票」か、確定画面に表示された「払込票番号（13桁）」を持ってセブン-イレブンへ向かってください。
2. レジで「インターネット支払い」と伝えて「払込票」を渡すか、「払込票番号」を伝えてお支払いください。
3. 収納証明書である、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を必ず受け取ってください。

※マルチコピー機は利用しません。

※受け取った「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。



◆現金でのお支払い方法 — 銀行（ページ）—



※左記のページマーク表記のある ATM のみご利用いただけます。

※ATM で現金でのお支払いの場合は、10万円を超えるお支払いはできません。

ゆうちょ銀行 / 郵便局 ATM でお支払い



各金融機関の ATM でお支払い ※例. みずほ銀行の ATM



■お支払い方法

発行された「収納機関番号： 58021（共通）」と「お客様番号（11桁）」と「確認番号（4桁）」を持ってページに対応している金融機関の ATM へ向かってください。

現金でお支払いの場合

1. 「料金払込（ページ）」にタッチ
2. 「収納機関番号： 58021（共通）」、「お客様番号（11桁）」、「確認番号（4桁）」を入力
3. お支払い内容を確認し、[お支払い方法を選択] → 「現金」にタッチ
4. [入力画面（電話番号）] → 連絡可能な「電話番号」を入力します
5. [現金の投入] → 現金を投入口から入れてください
6. [おつりの確認] → おつりと明細票が出ますのでお受取りください

※受け取った「明細票」は、提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。

通帳・カードでお支払いの場合

1. 「料金払込（ページ）」にタッチ
2. 「収納機関番号： 58021（共通）」、「お客様番号（11桁）」、「確認番号（4桁）」を入力
3. お支払い内容を確認し、[お支払い方法を選択] → 「通帳・カード」にタッチ
4. [入力画面（電話番号）] → 連絡可能な「電話番号」を入力します
5. [通帳もしくはカードの投入と、暗証番号の入力] → 通帳またはカードを入れて暗証番号を入力してください
6. [お支払い金額の確認] → お支払い金額が表示されますので、よろしければ「確認」をタッチ
7. [通帳もしくはカードの返却] → 通帳もしくはカードが返却され、明細票が出ますのでお受取りください

※受け取った「明細票」は、提出用書類（出願確認票）に貼り付けてください。

- ① 本学所定用紙は巻末に綴じてあります。点線部から切り取って使用してください。また、所定用紙は本学ホームページからダウンロードして印刷したものを使用することもできます。

【URL : https://intad.doshisha.ac.jp/intad/japanese_program/guide_entrance_exam.html】

記入の際は、**黒のボールペン（鉛筆や消せるペンの使用は不可）**を使用してください。修正テープなどは使用しないでください。



- ② 特に指定のある場合を除き、**出願書類は原本（オリジナル）を提出してください。**書類の写し（コピー）は受け付けません（**原本公証を受けたコピーは原本と同等とはみなしません。**）。

- ③ 卒業（修了）証明書、成績証明書等の提出書類が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、以下の（１）（２）いずれかの日本語訳（または英語訳）を提出してください。

（１） 本国大使館または在日外国公館で翻訳公証を受けた日本語訳（または英語訳）

（２） 出身日本語学校または出身高校で作成した日本語訳（または英語訳）

出身日本語学校（または出身高校）で作成した場合は必ずその学校の公印が必要です（コピー不可）。なお、翻訳会社による翻訳は認められません。

- ④ **提出された書類（卒業証明書や成績証明書等、複数回発行可能なもの）は一切返却しません。**ただし、学位記や卒業証書等、原本が一度しか発行されない書類に限り返却します。返却を希望する場合は書類チェックシート（本学所定 様式③）下部の「返却依頼書」に必ず「返却希望書類・返却先住所・氏名」を記載して提出してください。「返却依頼書」に記載されていない書類の返却は一切行いません。また、返却を希望されても、大学が複数回発行可能な書類と判断した場合は返却しません。

なお、返送には時間がかかりますので、原本が一度しか発行されない書類ですぐに原本の返却を希望する場合は、留学生課窓口（今出川校地 扶桑館2階）で以下の期間に原本の照合を受け付けます。

受付期間：2026年9月30日（水）～10月30日（金）

受付時間：9:00～11:30、12:30～17:00（日本時間）土曜日・日曜日・祝日は閉室

- ⑤ 複数の学部・学科を併願する場合、学部・学科ごとに~~出願書類~~を作成して一つの封筒にまとめて封入してください。また2学部・2学科以上出願する場合は、学部・学科ごとに入学検定料の納入が必要です。なお、**学部独自試験を実施する学部・学科・コース同士の併願は認めません。**

- ⑥ **出願書類の不足等、不備がある場合は、出願を受理しません。**35～36ページの「出願書類」「注意事項」「提出者」を確認し、提出前に書類チェックシート（本学所定 様式③）と照らし合わせ、不備がないことを必ず確認してください。書類チェックシート（本学所定 様式③）は必要事項を記入のうえ、出願書類に同封してください。

- ⑦ **出願後は、出願内容についての変更・取消は一切認めません。**

	出願書類	注意事項	提出者
1	提出用書類（出願確認票）	①写真をアップロードしてください（出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真で正面、上半身、脱帽、背景無地のもの）。画像に写真アプリ等で加工をしないでください。加工等の理由により本人確認ができない場合は、顔写真・志願書類の再提出を求めることがあるほか、不正行為と判断する場合があります。 ②インターネット出願システムで作成・印刷し、 自筆で「日付」と「出願者署名」 を記入してください。「出願者署名」がないものは受付不可となります。詳細は、「Ⅲ.出願手続 2.出願方法」（28ページ）を参照してください。氏名に漢字が表示されない場合は、漢字氏名欄に自筆で記入してください。	全員
2	同志社大学学部外国人留学生入学試験 志望理由書（本学所定 様式①）	出願者本人が自筆で記入してください。	全員
3	出身高等学校卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書【 原本（オリジナル） 】	原本（オリジナル）に限り ます。 ※国際バカロレア、アビトゥア、パカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格を保有し出願資格を満たす場合は、その証明書を提出してください。 ※大学を卒業している場合は、大学卒業（修了）証明書も提出してください。	全員
3-1	CSSD（学信網）が発行する Verification Report of China Secondary Education Qualification Certificateのプリントアウト	中国の現地正規課程による高等学校を卒業した場合は、 <u>3に加えて</u> 、提出してください。提出できない場合は、2026年10月5日（月）までに留学生課国際入学係に問い合わせてください。	該当者
3-2	Hong Kong Diploma of Secondary Education Examinationの証明書のコピー	香港の高等学校を卒業した場合は、 <u>3に加えて</u> 、提出してください。	該当者
3-3	国際的な評価団体の認定を受けている事を示す書類	国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設を修了（見込）の場合は、 修了（見込）の教育施設が国際的な評価団体の認定を受けている事を示す証明書やウェブサイトのプリントアウト等 を提出してください。	該当者
4	出身高等学校成績証明書【 原本（オリジナル） 】	①在学中の全学年・全学期の成績が記入されたものを提出してください。証明書に全学年・全学期の成績が記載されていない場合は、その理由を証明する出身学校作成の書類をあわせて提出してください（卒業見込の者で最終学期の成績が未確定の場合は不要）。 ② 原本（オリジナル）に限り ます。 ※大学を卒業している場合、大学の成績証明書も提出してください。	全員
5	準備教育課程修了証明書または修了見込証明書【 原本（オリジナル） 】	中等教育の課程修了まで12年を要しない国の学校教育を修了した者で、わが国の大学に入学するための準備教育課程を修了した者および2027年3月末日までに修了見込みの者は、その修了証明書または修了見込証明書の 原本（オリジナル） を提出してください。	該当者
6	日本留学試験の次のいずれかの書類・成績確認書のプリントアウト・受験票（2026年度第2回（11月実施）に限る）のコピー	①次のいずれかの試験の成績確認書のプリントアウトを提出してください。ただし、2026年度第2回（11月実施）に限り受験票のコピーを提出してください。 複数の提出は認めません 。また、インターネット出願システム上で登録された実施回以外のものは受け付けることができませんので注意してください。 2025年度第1回（6月実施）、2025年度第2回（11月実施） 2026年度第1回（6月実施）、2026年度第2回（11月実施） ②「Ⅴ. 選考内容」（37ページ～）で学部指定科目を確認してください。 ③日本留学試験の成績確認書、受験票の氏名と、その他の提出書類の氏名が一致していることを必ず確認してください。記載に誤りがある場合は、日本学生支援機構に連絡し、訂正してもらってください。 ④A 4 サイズの用紙にコピーもしくはプリントアウトしてください。	全員

	出願書類	注意事項	提出者
7	英語能力を証明する書類 【原本（オリジナル）】 (TOEFL iBT®テスト、TOEIC® Listening & Reading Test、IELTSアカデミック・モジュール (IELTSコンピューター版、IELTS for UKVIを含む) のいずれかのスコア) ※TOEFL iBT®テストのスコアはTest Dateスコアのみを活用します (MyBest™スコアは活用しません)。 ※TOEFL iBT® Home Edition (旧TOEFL iBT® Special Home Edition) で取得したスコアは対象としません。 ※IELTSオンライン版で取得したスコアは対象としません。 ※IELTS One Skill Retakeで取得したスコアは対象としません。 ※英語を母語とする者または英語が公用語となっている国・地域に居住する者が、通常の課程による直近6年間の学校教育を英語で受けた場合、その旨を証明する出身学校作成の書類を提出することができれば、スコアカードの提出を免除します。 ※スポーツ健康科学部、グローバル・コミュニケーション学部は、TOEFL iBT® テストのスコアを以下の通り扱います。 2026年1月20日以前に実施された試験：0-120で示されたスコアを対象とします。 2026年1月21日以降に実施された試験：1-6のバンドスコアを対象とします。	①対象となる試験について、必ず「V. 選考内容」(37ページ～) を参照してください。 ②2025年1月10日以降に実施されたテストのスコアが有効です。 ③TOEFL iBT® のスコアを利用する場合、My TOEFL Homeからスコアデータを同志社大学に直送するよう手続きしてください。直送する場合のコードは「7078」です。 ④TOEIC® Listening & Reading Testのスコアを利用する場合、紙の公式認定証 (プリントアウト可) を提出してください。ただし、日本国内で受験した場合は、Digital Official Score Certificateに限りません。 ⑤IELTSのスコアを利用する場合、追加成績証明書を手配してください。送信方法は「電子送信」で、「Doshisha University- International Admissions Office」を選択してください。 ⑥提出されたスコアは出願締切日までに到着したものを有効とします (直送による提出の場合は、出願期間開始前に到着したものも有効です)。直送する手続きをしたにも関わらず、出願締切日までに本学へスコアが届かなかった場合、出願は受理されません。なお、スコアの到着状況に関する問い合わせには応じられません。 ⑦TOEFLならびにIELTSの結果を複数回直送されることは妨げません。ただし当該入学試験において利用できる結果は1回のみです。複数回直送した場合は、本入学試験に提出を希望する結果のみ、インターネット出願システム上で予め登録することになります。登録されたものの以外は受け付けることができませんので注意してください。 ⑧提出免除については「Ⅱ. 出願資格」(26ページ) を参照の上、事前に相談してください。該当する場合は、出身学校が作成した「直近6年間の学校教育を英語で受けたことを証明する書類」の原本 (オリジナル) を提出してください。 ⑨本入学試験で一度提出し、本学が保管しているスコアについては、Ⅰ期入試の時に一度提出している場合であっても、次回以降の入試に利用することはできません。有効期間内であれば過去に提出したスコア自体は有効ですが、スコアは改めて提出 (TOEFL iBT® とIELTSは直送手続) してください。	全員
8	推薦状 (本学所定 様式②)	教育機関 (出身学校を含む) 等に勤務する人で、推薦者としてふさわしい人からのもの。	神学部
9	【日本国内居住者】 住民票記載事項証明書 (コピー不可) 【日本国外居住者】 パスポートのコピー または 身分を証明する書類のコピー	日本国内居住者※ 国籍・在留資格・在留期間・在留期間の満了日が記載されているものを提出してください。 ※出願時から入学時まで日本に引き続き滞在し、改めて在留資格認定証明書 (COE) の申請が不要である者。 日本国外居住者 ①顔写真・氏名が記載されているページをA4サイズの用紙にコピーしてください。 ②パスポートがない場合は、政府またはこれに準じる公的機関が発行した証明書 (顔写真、氏名が記載されているもの) のコピーでも構いません。	全員
9-1	漢字氏名が記載された公的書類のコピー	韓国籍の者は、9に加えて、提出してください。	該当者
10	写真票	出願者氏名欄は、提出用書類 (出願確認票) に記載した「漢字氏名」を自筆で丁寧に記入してください。氏名の一部に漢字がない場合、その文字は「カタカナ」で記入してください。また「漢字氏名」がない場合は、「英字氏名」を記入してください。なお、入学が許可された場合には、学生証用写真や教務情報等に使用します。	全員
11	入学検定料納入を証明する書類	クレジットカードで納入した場合 入学検定料納入後に受信する「【同志社大学 学部外国人留学生入学試験】入学検定料入金確認のお知らせ」のメール画面または入金完了の画面 (収納証明書でも可) をA4サイズの用紙に印刷し、出願書類とともに提出してください。 コンビニエンスストア・ペイジーで納入した場合 (日本国内居住者のみ) 入学検定料納入後に発行される収納証明書または明細票を、提出用書類 (出願確認票) の所定の欄に貼り付けてください。 外国送金で納入した場合 (日本国外居住者のみ) 取扱金融機関収納印のある振込金証明書、外国送金依頼書等を提出書類とともに提出してください。	全員
12	宛名シート	インターネット出願システムで提出用書類 (出願確認票) と一緒に印刷されます。受験票発送や選考結果を通知するために使用しますので、送付を希望する宛先が印刷されているか確認してください。出願後に住所を変更した場合はすみやかにji-intad@mail.doshisha.ac.jpまでE-mailにて連絡してください。	日本国内居住者のみ
13	書類チェックシート (本学所定 様式③)	このチェックシートで出願に必要な書類に不備・不足がないことを確認し、出願書類とともに提出してください。	全員

1. 選考方法

神学部、文学部、法学部、文化情報学部、 生命医科学部（医情報学科）、心理学部、 グローバル・コミュニケーション学部（日本語コース）、 グローバル地域文化学部	出願書類および学部独自試験により 総合判定
社会学部、経済学部、商学部、政策学部、理工学部、 生命医科学部（医工学科、医生命システム学科）、 スポーツ健康科学部	出願書類により総合判定

2. 出願書類の指定について

選考に際して、下記、および別表【学部が指定する出願書類・学部が実施する独自試験】（38ページ）の
とおり指定していますので、間違いのないよう注意してください。

(1) 日本留学試験について

①対象となる日本留学試験は次のいずれかです。

2025年度第1回（6月実施）、2025年度第2回（11月実施）、2026年度第1回（6月実施）、2026年度第2回（11月実施）

②出題言語は、全学部とも日本語を指定します。

③学部が指定する利用科目は【学部が指定する出願書類・学部が実施する独自試験】（38ページ）の
とおりです。指定する利用科目を受験していない場合は出願することができませんので注意してください。

④「日本語」は、次に示す点数を合格の基準点とします。この基準点は、本学で学ぶにあたり最低必要と
思われる日本語能力の目安ですので、出願する際の参考にしてください（出願資格ではありません）。

合格の基準点：315点／450点満点

ただし、選考にあたっては、前項「1. 選考方法」の表のとおり、総合的に判定しますので、「日本語」
が基準点に達していることが合格を保証するものではありません。なお、この基準点は志願状況や得点
状況により、随時見直しを行います。

※グローバル・コミュニケーション学部（日本語コース）では、上記の「日本語」の合格の基準点
のほかに、以下の（1）もしくは（2）の条件を満たす場合、「日本語」の合格の基準点を200点
／450点満点とします。

（1）英語を母語とする者、もしくは英語が公用語となっている国・地域に居住する者（ただし、通
常の課程による直近6年間の学校教育を英語で受けたことを証明する書類を提出できること）

（2）以下のいずれかの条件を満たす者

TOEFL iBT®テスト

2026年1月20日以前に実施された試験：68点以上

2026年1月21日以降に実施された試験：Overall Score 4以上

TOEIC® Listening & Reading Test 650点以上

IELTSアカデミック・モジュール（IELTSコンピューター版、IELTS for UKVIを含む）

Overall Band Score 5.5以上

上記の外部試験の対象となる試験の種類は「(2) 英語能力を証明する書類について」に準ずる。

(2) 英語能力を証明する書類について

次のいずれかを対象とします。ただし、スコアカードの有効期間はテスト日より2年間とします（2025年1
月10日以降に実施されたもの）。

TOEFL iBT®テスト、TOEIC®Listening & Reading Test、IELTSアカデミック・モジュール（IELTS
コンピューター版、IELTS for UKVIを含む）

※TOEIC®Listening & Reading Test（IP）は対象としません。

※TOEFL ITP®テストは対象としません。

※TOEFL iBT®テストは「Test Dateスコア」のみを活用します（「MyBest™スコア」は活用しません）。

※TOEFL iBT® Home Edition（旧TOEFL iBT® Special Home Edition）で取得したスコアは対象としません。

※IELTSオンライン版で取得したスコアは対象としません。

※IELTS One Skill Retakeで取得したスコアは対象としません。

※英語を母語とする者または英語が公用語となっている国・地域に居住する者が、通常の課程による直
近6年間の学校教育を英語で受けた場合、その旨を証明する出身学校作成の書類を提出することができ
れば、スコアカードの提出を免除します。

※スポーツ健康科学部、グローバル・コミュニケーション学部は、TOEFL iBT® テストのスコアを以下
のとおり取り扱います。

2026年1月20日以前に実施された試験：0-120で示されたスコアを対象とします。

2026年1月21日以降に実施された試験：1-6のバンドスコアを対象とします。

(3) 志望理由書について

本学所定用紙（様式①）で提出してください。

【学部が指定する出願書類・学部が実施する独自試験】

	出願書類									学部独自試験		
	日本留学試験利用科目 注) 5							英語能力を 証明する 書類	志望 理由書	推薦状	小論文	面接 または 口頭試問
	日本語	総合 科目	数学		理科							
			コース1	コース2	物理	化学	生物					
神 学 部	○	○						○	○	○		面接
文 学 部	○	○						○	○			口頭試問 注) 1
社会学部	○	○						○	○			
法 学 部	○	○						○	○			面接
経済学部	○	○ (いずれか1科目選択)						○	○			
商 学 部	○	○						○	○			
政策学部	○	○						○	○			
文化情報学部	○	○ (いずれか1科目選択)						○	○			口頭試問
理工学部 注) 2	○			○	○	○		○	○			
理工学部 注) 3	○			○	○ (いずれか2科目選択)			○	○			
生命医科学部 (医工学科・医生命システム学科)	○			○	○ (いずれか2科目選択)			○	○			
生命医科学部 (医情報学科)	○			○	○ (いずれか2科目選択)			○	○			口頭試問
スポーツ 健康科学部	○	○ (いずれか1科目選択)						○	○			
心理学部	○	○						○	○		○	口頭試問
グローバル・ コミュニケーション学部 (日本語コース)	○	○						○	○		○	口頭試問
グローバル 地域文化学部	○	○						○	○			口頭試問 注) 4

日本留学試験の出題言語は、全学部とも日本語を指定します。

- 注) 1 文学部英文学科の口頭試問については、日本語および英語で行います。文学部文化史学科の口頭試問については、入学後のカリキュラムを踏まえ、日本文化史コース、西洋・東洋文化史コースのいずれを希望するかを確認した上で、質問をします。文学部国文学科の口頭試問については、当日配付する日本語の文章の音読、およびその内容についての質疑応答を含みます。
- 注) 2 理工学部のうち、電気工学科、電子工学科、機械システム工学科、機械理工学科は、理科の選択科目について、物理と化学の2科目を指定します。
- 注) 3 理工学部のうち、インテリジェント情報工学科、情報システムデザイン学科、機能分子・生命化学科、化学システム創成工学科、環境システム学科、数理システム学科は理科の選択科目について、物理、化学、生物のうち、いずれか2科目を選択してください。
- 注) 4 グローバル地域文化学部の口頭試問について、質問は日本語で行います。英語での質問を加えることがあります。
- 注) 5 志望する学部・学科で定められた科目を日本留学試験で受験しなかった場合は可否判定対象外となり、不合格となります。

3. 学部独自試験

神学部、文学部、法学部、文化情報学部、生命医科学部（医情報学科）、心理学部、グローバル・コミュニケーション学部（日本語コース）、グローバル地域文化学部は、次の要領で学部独自試験を実施します。

試験日：2027年1月9日（土）

	試験会場			試験科目・試験時間	
	同志社大学 今出川校地	同志社大学 京田辺校地	海外	詳細は学部から発送される案内を 確認してください。	
神学部	○		○	面接	
文学部	○		○	口頭試問（100点）	
法学部	○		○	面接	
文化情報学部		○	○	口頭試問	
生命医科学部 （医情報学科）		○		口頭試問	
心理学部		○	○	小論文（60分）	口頭試問
グローバル・ コミュニケーション学部 （日本語コース）		○	○	小論文（70分）	口頭試問
グローバル 地域文化学部	○		○	口頭試問	

注）不測の事態により予定が変更される場合があります。その場合は出願時に届け出たE-mailアドレスに連絡しますので、同志社大学とのやり取りが確実に行えるE-mailアドレスを記載のうえ、定期的に確認するようにしてください。

（1）試験会場について

出願時に選択した試験会場は変更できません（試験当日の会場変更も許可しません）。

日本国内居住者

学部により、受験する会場が異なりますので注意してください（上表参照）。

- ・今出川校地（京都市上京区今出川通烏丸東入）

【URL：<https://www.doshisha.ac.jp/information/imadegawa/index.html>】

- ・京田辺校地（京都府京田辺市多々羅都谷1-3）

【URL：<https://www.doshisha.ac.jp/information/kyotanabe/index.html>】



日本国外居住者

海外試験会場は次の国・都市を予定しています。詳細は受験票発送の際にお知らせいたします。

試験実施予定地：韓国（ソウル）

※ただし、生命医科学部（医情報学科）については、海外試験会場の設定はありません。

（2）試験時間について

試験時間は本学が指定し、受験票発送の際にお知らせいたします。必ずその通知で確認してください。

（3）面接または口頭試問について

- ①面接または口頭試問は日本語で行います。ただし、文学部英文学科の口頭試問については、日本語および英語で行います。また、グローバル地域文化学部の口頭試問について、質問は日本語で行います。英語での質問を加える場合があります。
- ②文学部文化史学科の口頭試問については、入学後のカリキュラムを踏まえ、日本文化史コース、西洋・東洋文化史コースのいずれを希望するかを確認した上で、質問をします。
- ③文学部国文学科の口頭試問については、当日配付する日本語の文章の音読、およびその内容についての質疑応答を含みます。
- ④海外試験会場では、テレビ会議システム等を利用して遠隔地面接または口頭試問を実施します。
- ⑤面接または口頭試問では、持参した資料の参照はできません。

4. 受験上の注意

(1) 受験票について

学部独自試験のある学部・学科は郵送で届く受験票、学部独自試験のない学部・学科はインターネット上で確認するデジタル受験票になります。

郵送で届く受験票 学部独自試験のある学部・学科

①受験票は、出願書類を受理した後に受験番号を付与して出願学部の事務室から出願者宛に2026年12月18日(金)頃に発送します。

12月24日(木)までに届かない場合は**出願学部の事務室**へ連絡してください(連絡先は53ページ参照)。

②試験当日は必ず受験票を持参してください。合格者発表の際に必要なので、なくさずに保管してください。

デジタル受験票 学部独自試験のない学部・学科

①受験票は、インターネット上で出願者自身が確認してください(紙媒体の受験票は発行・郵送しません)。パソコン・スマートフォン・タブレット端末から下記のアドレスにアクセスし、確認してください(※詳細は41ページ参照)。

【URL: <https://sak-sak.net/app/ref/dsnt/>】(パソコン・スマートフォン・タブレット端末共通)

②取得可能期間は以下のとおりです。

2026年12月18日(金)16:00(日本時間)～2027年2月5日(金)17:00(日本時間)



(2) 集合について

①集合時間の詳細については、受験票発送の際に通知します。

②筆記試験の場合、試験開始15分前までには試験会場に入室・着席してください。

③筆記試験の場合、試験開始後30分以上遅刻した場合は受験を許可しません。

④面接または口頭試問の場合、集合時間までに所定の会場に入室・着席してください。また、集合時間に30分以上遅刻した場合は受験を許可しません。

(3) 不可抗力による事故等について

自然災害(大雨、大雪、地震、津波、台風、洪水等)、火災、停電、感染症またはその他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始の繰り下げ(試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更になること、また試験時間を確保するために休憩時間を調整することがあります)をすることがあります。また、試験の実施が困難であると本学が判断した場合は試験日を翌週の土曜日(2027年1月16日(土))に延期します。また、試験日が延期になった場合、合格者発表日も延期します。これらの取り扱い日本国内会場、海外会場ごとに異なることがあります。なお、これらの措置によって生じた受験生負担の費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。

(4) 受験生への連絡について

上記(3)の措置をとる場合の受験生への連絡は、基本的に本学ホームページ上で行います。

【URL: <https://intad.doshisha.ac.jp/intad/>】



(5) 感染症について

試験当日、学校保健安全法での出席の停止が定められている感染症(インフルエンザ、麻しん、風しん、新型コロナウイルス感染症等)に罹患し治療していない場合は、他の受験生や試験監督者等への感染の恐れがありますので、受験をお断りすることがあります。試験当日の体調管理については十分に注意してください。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をお断りした場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還はいたしません。

(6) 障がい等のある受験生の受験に際しての要望について

受験方法や入学後の修学について要望がある場合は、出願に先立ち、2026年10月5日(月)までに出願学部の事務室にお問い合わせください。

(7) その他

学部独自試験の会場、集合場所、集合時間など、受験票を受け取ってからの質問は、出願学部の事務室にお問い合わせください(連絡先は53ページ参照)。

学部外国人留学生入学試験（Ⅱ期入試）の受験番号について デジタル受験票取得方法

URL : <https://sak-sak.net/app/ref/dsnt/>

※パソコン・スマートフォン・タブレット端末で取得できます。

※サイトに接続できない場合は、未成年者アクセス制限サービスを解除してご利用ください。

パソコン・スマートフォン・タブレット端末からの取得方法

1 ■デジタル受験票取得URL (<https://sak-sak.net/app/ref/dsnt/>)

2 同志社大学提出書類（出願確認票）に記載した日本留学試験受験票等に記載されている受験番号（数字部分12桁）および生年月日（西暦で半角数字8桁）を入力して、「受験番号確認」を押してください。

3 表示された内容を確認してください。表示された受験番号はブラウザの機能等で印刷するか内容を必ずメモしてください。

QRコードからもアクセスできます。

タブレット、スマートフォン、QRコード読み取り可能な機種からは右のQRコードが利用できます。
対応については、各携帯電話の取扱説明書で確認するか、各携帯電話会社に確認してください。
（本学へのお問い合わせには応じられません。）



デジタル受験票の取得に必要なもの

同志社大学提出書類（出願確認票）に記入した日本留学試験受験票等に記載されている受験番号（数字部分12桁）および生年月日（西暦で半角数字8桁）で認証を行います。

※誕生月あるいは誕生日が1桁の場合は10の位に0を入力してください。

※日本留学試験受験番号については、*を除く半角数字12桁を入力してください。

控 用

日本留学試験受験番号（半角数字）

□□ * □□□□ * □□□□□□

生年月日（半角数字）

□□□□ 年 □□ 月 □□ 日

注 意 事 項

- ここで表示される受験票の内容は正式なものであり、別途受験票等の郵送はありませんので、必ず控えるか保存してください。
- 本受験票は合格発表日まで大切に保管してください。
- 本受験票の内容が出願内容と相違ないことを確認してください。
- パソコンの性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。
- パソコンのブラウザの設定によっては、画像のずれ・文字化けなどが発生する場合があります。その場合はブラウザの調整をしてください。
- 操作方法に関して、本学へのお問い合わせには応じかねます。

2027年1月22日（金）

上記の日程に、合格者には合格通知書を速達郵便で発送します（学内での掲示による発表はありません）。合格通知書に添えて、入学手続書類を同封し、日本国内居住者は書類送付先住所、日本国外居住者は現住所（国外）宛に発送します。

不合格者には不合格通知書を送付しません。後述のインターネットによる「合格者受験番号案内」をもって代えます。また、学部独自試験の欠席者は合否判定の対象外となります。

なお、合格通知書の未着に関すること以外の、合否に関する問い合わせ等には一切応じません。

※合格通知書の郵送途中で生じた事故（紛失、個人情報の漏洩など）について本学では責任を負いかねます。

■インターネットによる「合格者受験番号案内」

正式な合格者発表は合格通知書の郵送によるものとしませんが、受験生の便宜を考慮し、インターネットによる「合格者受験番号案内」を行います。

- ①本学ホームページに合格者の受験番号一覧が表示されますので、確認してください。

【URL：<https://www.doshisha.ac.jp/international/oisgouhi/gouhi.html>】

- ②掲載期間は以下のとおりです。

2027年1月22日（金）10：00（日本時間）～2027年2月5日（金）17：00（日本時間）

- ③アクセス状況に関する問い合わせには一切応じません。アクセスしにくい場合は時間をずらして再度アクセスしてください。



※学部独自試験のない学部・学科では紙媒体の受験票を発行・郵送しません。デジタル受験票を取得して受験番号を確認してください（詳細は41ページ参照）。

所定の期限までに次の手続を完了してください。手続の詳細は、合格通知書に同封される入学手続書類で必ず確認してください。期限までに入学手続を完了しない場合には、入学を許可しません。

学生納付金の納入

日本国内居住者

第1次手続と第2次手続があります。本学所定の振込依頼書を用い、金融機関の窓口から「電信扱」で振り込んでください。納入金額と納入方法等詳細は入学手続書類でお知らせいたします。

	納入期間	納入金額
第1次手続	2027年2月4日(木)までに納入してください。	登録料(入学金相当額)
第2次手続	2027年3月2日(火)までに納入してください。	入学手続時納入必要額から登録料を差し引いた金額

⇒上記の手続が完了したことが確認でき次第、「入学許可書」を発行します。

日本国外居住者

以下に、参考として現段階での入学手続方法の概要を示しますが、変更になる場合がありますので、必ず合格者に送付される「合格通知書の送付と入学手続等について」にしたがって手続を行ってください。

【参考】入学手続方法の概要

オンライン送金または金融機関の窓口から送金してください。納入金額と納入方法等詳細は入学手続書類でお知らせいたします。

納入期間	納入金額
2027年2月4日(木)までに納入してください。	入学手続時納入必要額全額

本学では、日本国外に居住している合格者のために、留学ビザ取得のために必要な「在留資格認定証明書」の代理申請を行っています。代理申請を希望する場合は、次の手続をしてください。詳細は入学手続書類でお知らせします。

- ①2027年2月4日(木)までに入学手続時納入必要額の全額を納入してください。
- ②2027年2月4日(木)までに「在留資格認定証明書」の代理申請必要書類(申請者情報ならびに日本留学に必要な経費支弁に関する証明書等)を提出してください。経費支弁に関する証明書の詳細は、44ページを参照してください。
- ③上記①および②の手続完了が確認できた者から順に、法務省に「在留資格認定証明書」を本学が代理申請します。
- ④「在留資格認定証明書」が交付されましたら、「入学許可書」とともに送付しますので、居住する国にある日本大使館あるいは総領事館に持参し、留学ビザ発給を申請してください。
- ⑤日本に入国する際は、必ず留学ビザを取得のうえ、在留資格「留学」で入国してください。留学ビザを取得しなかった場合、帰国して留学ビザを取得しなおす必要があります。

※学生納付金を外国送金する際の手数料等を過剰に入金した場合の過剰額は、秋学期の学費に充当します。

在留資格認定証明書（Certificate of Eligibility: COE）の取得のために必要な 申請書類について

詳細は合格通知書に同封される入学手続書類で必ず確認してください。

＜提出書類＞

1. 申請者本人のパスポートのコピー
2. 申請者本人の顔写真
3. 日本滞在に必要な1年分の経費（学費および生活費）を支弁できることを証明する書類

下記①～③から該当する支弁方法を選び、必要書類を提出してください。

①本人が経費を支弁する場合

- 本人名義の預金残高証明書（1年間の学費＋生活費月額100,000円×12ヶ月分以上の残高があるもので、日本に送金可能な銀行および通貨のもの）
※奨学金を活用する場合は、奨学金受給決定通知書や契約書（受給金額、受給予定期間、支給機関が明記されたもの）等の写しを提出してください。

②本人の親族等が経費を支弁する場合

- 経費支弁書
- 経費支弁者名義の預金残高証明書（1年間の学費＋生活費月額100,000円×12ヶ月分以上の残高があるもので、日本に送金可能な銀行および通貨のもの）
- 経費支弁者の総所得金額の記載のある書類（源泉徴収票、確定申告書控（写）、住民税の課税証明書、所得税の納税証明書のうちのいずれかひとつ）
- 経費支弁者の身分証明書（パスポート等）のコピー

③日本在住者が経費を支弁する場合

- 経費支弁書
- 経費支弁者の総所得金額の記載のある書類（源泉徴収票、確定申告書控（写）、住民税の課税証明書、所得税の納税証明書のうちのいずれかひとつ）
- 経費支弁者の住民票

※経費支弁者が複数いる場合は経費支弁者全員分の必要書類を記入・提出してください。

※日本語または英語以外で作成された書類の場合は、日本語訳または英語訳を添付してください。

※経費支弁に関する証明書に関して、不明な点がある場合は、留学生課国際入学係（今出川校地）に問い合わせてください。

■注意事項

いったん納入された登録料または入学金はいかなる事情があっても返還いたしません。

入学手続を完了した後、2027年3月31日（水）（消印有効）までに所定の方法（「入学辞退理由書」の原本を提出）により入学手続を取り消す場合に限り、学生納付金から入学金を差し引いた金額を返還します。

VIII. その他の注意事項

Ⅱ期入試

1. 学年は4月に始まり、翌年3月に終わります。
2. 入学後は「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定める在留資格（原則として「留学」）の取得が必要です。「留学」以外の日本に長期で滞在できる在留資格でも入学・在学することはできますが、その場合「留学」の在留資格を対象にした各種補助制度を利用できませんのでご了承ください。また、「短期滞在」の在留資格で大学に在籍し続けることはできません。
3. 在留資格認定証明書の交付は法務省が行うものであり、不交付となった場合および交付が遅れたことによって発生した費用等については本学は責任を負うことはできません。不交付となった場合は入学を取り消すことがあります。また、在学期間中に在留資格を失うことになった場合は本学に在籍することはできません。
4. 出願書類または入学手続の際に提出すべき書類に、虚偽または不備があった場合は、入学を取り消すことがあります。
5. 商学部の合格者には、入学前教育プログラムを必ず受講していただきます。詳細は合格発表後に改めて通知します。
6. その他、出願に関して不明な点があれば、留学生課国際入学係（今出川校地）に問い合わせてください。

学生納付金

学部 第1年次入学生

[参考]2026年度入学生学生納付金（実績）
 （※2027年度第1年次入学生の学費・諸会費は、決定次第公表しますので、本学ウェブサイトで確認してください。）

（単位：円）

		第1年次 合 計	入学手続時 納入必要額	2026年度入学生学費（年額）			諸会費	
				入学金	授業料	教育充実費	学会費	父母会費
神学部		1,172,000	686,000	200,000	803,000	167,000	2,000	-
文学部	英文学科	1,179,000	689,500	200,000	803,000	167,000	5,000	4,000
	哲学、美学芸術、文化史学科	1,178,000	689,000	200,000	803,000	167,000	4,000	4,000
	国文学科	1,180,000	690,000	200,000	803,000	167,000	※ 6,000	4,000
社会学部		1,179,000	689,500	200,000	803,000	167,000	5,000	4,000
法学部		1,178,000	689,000	200,000	803,000	167,000	8,000	-
経済学部		1,179,500	689,750	200,000	803,000	167,000	4,500	5,000
商学部		1,180,000	690,000	200,000	803,000	167,000	5,000	5,000
政策学部		1,177,000	688,500	200,000	803,000	167,000	7,000	-
文化情報学部		1,298,000	749,000	200,000	916,000	180,000	2,000	-
理工学部	数理システム学科を除く	1,774,000	987,000	200,000	1,320,000	252,000	2,000	-
	数理システム学科	1,697,000	948,500	200,000	1,243,000	252,000	2,000	-
生命医科学部		1,781,000	990,500	200,000	1,320,000	252,000	2,000	7,000
スポーツ健康科学部		1,337,000	768,500	200,000	949,000	180,000	3,000	5,000
心理学部		1,365,000	782,500	200,000	968,000	188,000	3,000	6,000
グローバル・コミュニケーション学部		1,311,000	755,500	200,000	918,000	188,000	5,000	-
グローバル地域文化学部		1,175,000	687,500	200,000	803,000	167,000	5,000	-

- （1）入学金は初年度のみ徴収します。
- （2）授業料・教育充実費については、各々2分の1が春学期学費および秋学期学費です。
- （3）入学手続時納入必要額とは、入学金全額と、春学期学費および諸会費の2分の1です。
 ※文学部国文学科の学会費は、文化学会費（4,000円）と、国文学会費（2,000円）を徴収します。
 ＊学会について
 各学会は、機関誌の発行等を通じ、本学の教育研究活動に寄与することを目的に設置されています。
 ＊＊父母会について
 各父母会は、本学の教育の充実と発展を目的に設置されています。
- （4）2026年度入学生の第2年次から第4年次の学費は下表のとおりです。
 2027年度入学生の学費は決定次第公表しますので、本学ウェブサイトで確認してください。

（単位：円）

		授業料	教育充実費
神、文、社会、法、経済、商、政策、 グローバル地域文化学部	第2,3,4年次	1,003,000	167,000
文化情報学部	第2,3,4年次	1,116,000	180,000
理工、生命医科学部 （理工学部数理システム学科を除く）	第2,3,4年次	1,520,000	252,000
理工学部数理システム学科	第2,3,4年次	1,443,000	252,000
スポーツ健康科学部	第2,3,4年次	1,149,000	180,000
心理学部	第2,3,4年次	1,168,000	188,000
グローバル・コミュニケーション学部	第2,3,4年次	1,118,000	188,000

注）諸会費として、学会費（第1年次と同額）を毎年徴収します。
 ※文学部、社会学部、経済学部、商学部、生命医科学部、スポーツ健康科学部、心理学部については、父母会・教員父母連絡会費（第1年次と同額）を毎年徴収します。
 また、第4年次には全学部生から校友会費を、法学部、経済学部、商学部、理工学部、心理学部生から当該学部の卒業生団体会費を徴収します。

私費外国人留学生（学部生）のための学生生活支援情報

I. 奨学金

■同志社大学の奨学金

本学では、優秀な外国人留学生の方に安心して学業に取り組んでいただくために、私費外国人留学生（学部生）を対象として以下の奨学金を設けています。

1. 同志社大学私費外国人留学生成績優秀者授業料減免奨学金

学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）において、一定の成績基準を満たした外国人留学生に、「同志社大学私費外国人留学生成績優秀者授業料減免奨学金」を給付します。受給区分ごとの給付額は、本学ウェブサイト（<https://ois.doshisha.ac.jp/ois/scholarships/merit.html>）に掲載されている一覧表のとおりです。本奨学金の受給区分の決定通知は、学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）の選考結果通知に同封します。



給付期間	2年間 ※入学試験の成績によって決定します。 ※一定の成績基準を満たす学生については、本人による申請にもとづき、標準修業年限を上限に更新することができます。更新時には、在学中の成績によって受給区分が変動することがあります。 ※原則として、休学期間は給付期間に含みます。ただし、兵役による休学期間はこの限りではありません。
区 分 ・ 給付人数	入学する学部により給付人数の割合が異なります。 ○神学部、文学部、社会学部、法学部、経済学部、商学部、政策学部、文化情報学部、理工学部、生命医科学部、スポーツ健康科学部、心理学部、グローバル地域文化学部 1. 区分S（合格者の上位10%程度） 2. 区分A（合格者の中位20%程度） 3. 区分C（合格者の下位30%程度） ※合格者の下位40%程度は給付の対象となりません。 ○グローバル・コミュニケーション学部日本語コース 1. 区分S（合格者の上位10%程度） 2. 区分A（合格者の中位20%程度） 3. 区分C（合格者の下位60%程度） ※合格者の下位10%程度は給付の対象となりません。
注意事項	入学金、教育充実費、学会費等は減免されません。

2. 特定国からの外国人留学生に対する支援奨学金〔Ⅰ期入試のみ〕

出願資格	以下の2項目を満たす者 ①入学後「出入国管理及び難民認定法」により在留資格「留学」を取得する者。 ②OECD/DACが発行するODA受給国リストに掲載される「Least Developed Countries」または「Low Income Countries which are not LDCs」の認定国に居住しその国籍を有する者、特に経費支弁が困難である国及び地域から本学への入学を希望する者。重国籍の場合は、いずれの国籍も経費支弁が困難であるとされる国に該当している者。
選 考	本学の基準により決定 （決定通知は学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試）の選考結果通知に同封します）。
給付期間	①入学時から2年間（ただし、標準修業年限を上限に更新することができます）。 ②原則として、休学期間は給付期間に含みます。ただし、兵役期間はこの限りではありません。
給 付 額	①支援奨学金：月額85,000円 ②学生納付金（入学金、授業料、教育充実費及び諸会費）の全額
給付人数	各年度2名（春学期入学者1名、秋学期入学者1名）
応募方法	出願期間内に「2027年度特定国からの外国人留学生に対する支援奨学金願書」（本学所定 様式⑤）を出願書類と一緒に提出してください。
注意事項	本学の学内奨学金との併給はできません。 Ⅰ期入試の出願者のみ応募できます（Ⅱ期入試の出願者は応募できません）。

◆該当国/Eligible Countries *ODA受給国 (46 recipient countries of ODA, reporting on 2025 flows)

○後開発途上国 (Least Developed Countries)

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベナン、ブルキナファソ、ブルンジ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン共和国、スーダン、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、イエメン、ザンビア

○低所得国 (Low Income Countries which are not LDCs)

朝鮮民主主義人民共和国、シリア・アラブ共和国

■独立行政法人 日本学生支援機構 (JASSO) の奨学金

1. 日本留学試験 (EJU) 受験者を対象とした奨学金 (2025 年度実績)

日本留学試験 (EJU) の出願時に、奨学金受給を希望した者の中から、優秀な成績を修めた者を対象とする奨学金です。

種類	対象	月額	期間	採用者数
文部科学省外国人留学生学習奨励費 (予約制度)	日本留学試験 (EJU) 受験者で、 正規入学をする者	48,000 円	1 年間	69 名 (単年度給付)

2. 渡日前入学許可による入学予定者を対象とした奨学金 (2025 年度実績)

出願から可否発表まで日本に来ることなく入学を許可された者を対象とした奨学金です。大学から推薦を行うので、学生本人からの申し込みはできません。

種類	対象	月額	期間	採用者数
文部科学省外国人留学生学習奨励費 〔予約制度 (大学推薦)〕	渡日前入学許可による入学予定者 (①日本留学試験利用予約枠および、②英語コース予約枠)	48,000 円	1 年間または 6 か月間	4 月入学: 31 名 9 月入学: 21 名

■その他の奨学金

文部科学省奨学金、地方公共団体の奨学金、その他民間団体奨学金があります。

II. 生活費

京都での平均生活費は住居費を含めて月額12万円程度、少なくとも10万円以上かかります。したがって、1年間の滞在資金計画を立てる際には、このことを十分念頭においてください。

Ⅲ. 住居

本学では、学内外の住居斡旋機関の紹介、本学借上げ宿舎および学生寮への入居募集などを行っています。

Ⅰ. 民間賃貸住宅

民間の賃貸住宅を探す場合、本学では外国人留学生の皆さんが円滑に契約できるよう、以下の不動産会社および保証人代行会社と提携していますので、これらの会社の利用を推奨します。

【提携する不動産会社】

- ・ 同志社生活協同組合
- ・ (株)ジェイ・エス・ビー・ネットワーク (ユニライフ)
- ・ (株)学生情報センター (ナジック)
- ・ (株)バン・ネット・システム
- ・ (株)フラットエージェンシー
- ・ (株)京都ライフ
- ・ (株)共立メンテナンス (学生会館)

【提携する保証人代行会社※】

- ・ 株式会社グローバルトラストネットワークス (略称GTN)

※日本国内で連帯保証人を見つけられない場合に利用します。

【住居を探す場合の注意事項】

- ・ 同志社大学は今出川校地と京田辺校地の 2 地域に分かれています。主に通学する校地を確認した上で、住居を探してください。
- ・ 住居費は特に大きな支出です。地域や住居設備、広さ、築年数により大きく変わりますので、支出可能な金額と各種条件のバランスをよく検討してください。
- ・ 住居費には、毎月支払うものと、契約時に支払うものがあります。契約時は、一般的に手付金・礼金・敷金・仲介手数料等の支払いが必要です。契約更新の際は更新料が必要です。事前によく確認し、総額を把握してください。

2. 外国人留学生用宿舎

本学は外国人留学生のためにいくつか宿舎を用意していますが、部屋数に限りがあります。学部外国人留学生入学試験に合格された場合は、日本国外居住者に限って入居募集を行います。対象となる宿舎は毎年異なりますので、合格後に送付する宿舎案内で確認してください。

3. 学生寮

「継志寮」(けいしりょう)

継志寮は、2021年9月に開設した教育寮です。継志寮では、人種、性別、障がいの有無、文化等の様々な違いや背景を持つ学生が混住・交流する環境のもと、多文化共生、地域社会との異世代共生を実践する生活を通して多様な価値観を理解し合い、その違いを新たな創造へ導く力を持つ人物の養成を目指します。

寮生は全員Residential Learning Program(寮生が、地域社会との関わり等を通じた実践学習に参加し、その成果の発表や振り返りを通して自己の成長を確認する取り組み)に参加していただきます。

継志寮についての詳細は、本学ウェブサイトおよび合格後に送付する宿舎案内で確認してください。

<https://student-support.doshisha.ac.jp/s-support/student-life/boarding-dormitory/education-dormitory.html>



「松蔭寮」(しょういんりょう)

同志社大学が京都市内に設けている女子寮で、外国人留学生も受け入れています。舎費を一般的な学生マンションの家賃と比べて低額に抑えており、本学の経済的な支援のひとつとして機能しています。寮の運営は、寮生が寮の伝統・文化を大切にしながら自主的に行っています。入寮の出願は、例年2月に受け付けています。

松蔭寮についての詳細は、本学ウェブサイトで確認してください。

<https://student-support.doshisha.ac.jp/s-support/student-life/boarding-dormitory/dormitory.html>



IV. 医療費補助制度

留学生活中に、病気やけがをして病院で治療を受けたときには、以下の医療費補助の制度がありますので利用してください。

・国民健康保険制度

病気やけがをした時に医療費を負担し、経済的な負担を軽減して医者にかかることを目的とした健康保険制度の一つです。加入に際して保険料が必要ですが、医療機関で医療費の自己負担額30%を支払うだけで済みます。日本に3ヶ月を超えて在留し、住民票が作成される外国人は国民健康保険に加入することが義務づけられています。

V. 外国人留学生ピアサポート制度

本学では外国人留学生の修学および生活上の悩み相談に応じたり、会話のパートナーとして異文化交流を深めたりする「外国人留学生ピアサポート制度」を設けています。本学の正規学生がサポーターとなり、外国人留学生の学生生活が実りあるものとなるよう支援します。

試験に関する問い合わせ先

■同志社大学事務室一覧

事由	事務室名	電話・FAX・E-mail等
入学試験全般 出願資格 出願書類 在留資格・ビザ	留学生課国際入学係	TEL: (+81) -075-251-3257 FAX: (+81) -075-251-3123 E-mail: ji-intad@mail.doshisha.ac.jp
学部独自試験 受験票 入学後のカリキュラム	神学部・神学研究科事務室	TEL: (+81) -075-251-3330 E-mail: ji-sinjm@mail.doshisha.ac.jp
	今出川キャンパス教務センター（文学部）	TEL: (+81) -075-251-3361 E-mail: ji-bunjm@mail.doshisha.ac.jp
	社会学部・社会学研究科事務室	TEL: (+81) -075-251-3411 E-mail: ji-shajm@mail.doshisha.ac.jp
	今出川キャンパス教務センター（法学部）	TEL: (+81) -075-251-3511 E-mail: ji-houjm@mail.doshisha.ac.jp
	今出川キャンパス教務センター（経済学部）	TEL: (+81) -075-251-3521 E-mail: ji-keijm@mail.doshisha.ac.jp
	商学部・商学研究科事務室	TEL: (+81) -075-251-3660 E-mail: ji-shojm@mail.doshisha.ac.jp
	政策学部・総合政策科学研究科事務室	TEL: (+81) -075-251-3107 E-mail: ji-seijm@mail.doshisha.ac.jp
	文化情報学部・文化情報学研究科事務室	TEL: (+81) -0774-65-7610 E-mail: jt-bnkjm@mail.doshisha.ac.jp
	理工学部・理工学研究科事務室	TEL: (+81) -0774-65-6200 E-mail: jt-koujm@mail.doshisha.ac.jp
	生命医科学部・生命医科学研究科事務室	TEL: (+81) -0774-65-6020 E-mail: jt-semjm@mail.doshisha.ac.jp
	京田辺キャンパス教務センター（スポーツ健康科学部）	TEL: (+81) -0774-65-7056 E-mail: jt-spojkm@mail.doshisha.ac.jp
	京田辺キャンパス教務センター（心理学部）	TEL: (+81) -0774-65-7337 E-mail: jt-snrjm@mail.doshisha.ac.jp
	京田辺キャンパス教務センター （グローバル・コミュニケーション学部）	TEL: (+81) -0774-65-8993 E-mail: jt-gcjm@mail.doshisha.ac.jp
	グローバル地域文化学部事務室	TEL: (+81) -075-251-2610 E-mail: ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp
学生納付金	学費管理センター	TEL: (+81) -075-606-5157

※各事務室の窓口事務取扱時間は、下記URLをご参照ください。

【URL: <https://www.doshisha.ac.jp/contact/index.html>】

■同志社大学ソウル事務所

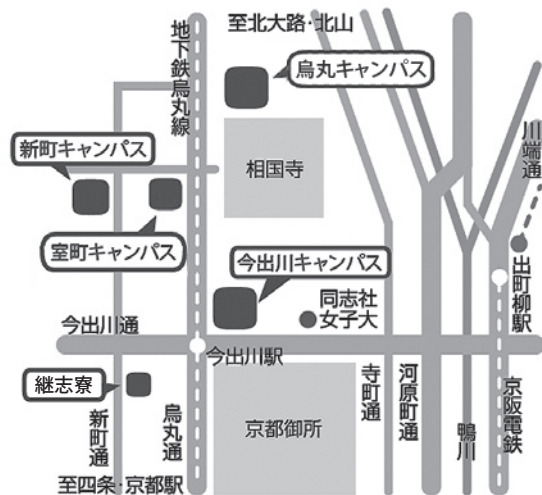
Doshisha Seoul Office, #408, YMCA Jongno 69, Jongno-gu, Seoul, Korea 03164

TEL: (+82) -02-732-7704 E-mail: ji-int29@mail.doshisha.ac.jp

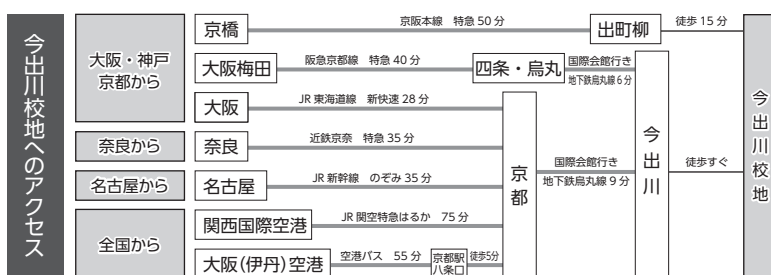


アクセスマップ

今出川校地



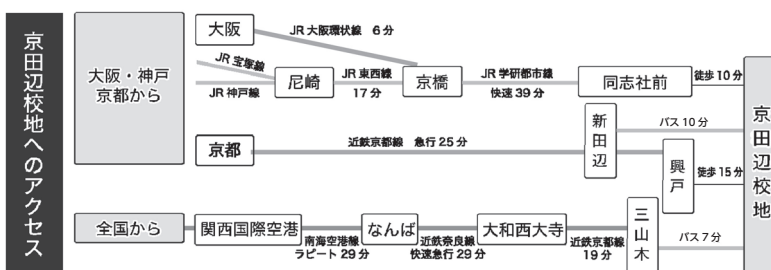
○地下鉄「今出川」駅から徒歩1分
○京阪「出町柳」駅から徒歩15分
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入



京田辺校地



○近鉄「興戸」駅から徒歩15分
○近鉄「新田辺」駅からバス・タクシーで10分
○近鉄「三山木」駅からバスで7分
○JR「同志社前」駅から徒歩10分
〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3



所定用紙

- | | |
|-----|--------------------------------|
| 様式① | 同志社大学学部外国人留学生入学試験 志望理由書 |
| 様式② | 推薦状〔神学部出願者のみ〕 |
| 様式③ | 書類チェックシート |
| 様式④ | 2027 年度同志社大学入学検定料免除措置申請書 |
| 様式⑤ | 2027 年度特定国からの外国人留学生に対する支援奨学金願書 |

同志社大学学部外国人留学生入学試験 志望理由書

大学記入欄

様式①

※受験番号

記入上の注意：出願者本人が日本語で自筆で記入してください。

黒のボールペンを使用してください。鉛筆や消せるペンの使用は受け付けません。訂正する場合は、黒のボールペンで訂正箇所の上から二重線を引き、正しい内容を近くのスペースに書き直してください。修正テープなどは使用しないでください。記入欄が足りない場合は本紙を複写して使用してください。

氏名:

生年月日： 年 月 日

学 部	学 科

[illegible]

神学部出願者

For Applicants to School of Theology

大学記入欄

様式②

※受験番号

推薦状

LETTER OF RECOMMENDATION

※日本語または英語で記入してください。／Please write in Japanese or English.

出願者へ

Note to applicant

自分の氏名と住所等を記入し、署名のうえ、推薦者に手渡すか郵送してください。

Fill in your name and other required information below, sign the form and deliver or mail to the recommender.

出願者氏名

Name of applicant

姓 (Last / Family)

名 (First / Given)

Middle (もしあれば if any)

生年月日

Date of birth

年 (Year)

月 (Month)

日 (Day)

国籍

Nationality

現住所

Present address

自筆署名

Signature

推薦者へ

Note to recommender

上記の者は同志社大学神学部に入学を希望しております。つきましては下記事項についてご評価をお聞かせください。

当然のことながら秘密は厳守いたします。厳封のうえ、出願者にお渡しください。

The person whose name appears above has applied for admission to School of Theology, Doshisha University. We would like to have your assessment of the applicant as noted below. Any information you provide will be considered strictly confidential. Please seal and return it to the applicant.

1. 本人を知るようになってからどのくらいになりますか。また、どんなご関係ですか。

How long have you known the applicant and in what connection?

2. 本人に関するご意見

(本人が日本で勉強するのに必要な資質、能力等について率直なご意見をお書きください。紙面が足りない場合は裏面もご使用ください。)

Your statement concerning the applicant:

(We would appreciate your candid opinion of the applicant's qualifications for studying in Japan. Please continue on reverse side if necessary.)

3. ご存知の学生たちの中で本人はどの辺りに位置するか可能であればお示しください(適当な語を○で囲んでください)。

Please indicate where the applicant would rank among students with whom you are acquainted, if possible. (Circle the appropriate word.)

極めて優れている

Outstanding

(top 5%)

優れている

Excellent

(top 15%)

良い

Good

(top third)

平均的

Average

(middle third)

劣る

Poor

(bottom third)

氏名 (活字体で書いてください。)

Name: (Print)

現住所

Present address:

所属機関

Current school or institution:

役職

Position:

日付

Date:

自筆署名

Signature:

同志社大学
Doshisha University

学部出願者用

大学確認欄

書類チェックシート

出願者氏名

*出願先を記入してください(裏面にも記入欄があります)。

学部

学科

- ・提出する書類の確認のため、必要箇所のチェック欄に ☒ 印をつけてください。出願書類の詳細は入試要項で確認してください。
- ・提出必須欄に○印があるものは全員提出してください。○印がないものは、必要に応じて該当者のみ提出する書類です。
- ・▼は本学所定用紙です。
- ・各自で必要な書類を確認のうえ、不備のないよう提出してください。

出願書類の不足等、不備があった場合は、出願を受理できませんので注意してください。

No	出 願 書 類	提出必須	注意事項	チェック欄 ☒	大学確認欄 (記入しないこと)
1	提出用書類(出願確認票) *インターネット出願システムで作成	☐	・「日付」と「出願者署名」を黒のボールペンで書きましたか?(鉛筆や消せるペンの使用不可) ・氏名に漢字が表示されない場合は、漢字氏名欄を黒のボールペンで書きましたか?(鉛筆や消せるペンの使用不可)		
2	▼ 様式① 同志社大学学部外国人留学生入学試験 志望理由書	☐	黒のボールペンで書きましたか?(鉛筆や消せるペンの使用不可)		
3	出身高等学校(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書	☐ コピー不可	原本を入れましたか?		
	【大学を卒業している者】 大学卒業(修了)証明書	該当者 コピー不可	高等学校の卒業証明書に加えて、原本を入れましたか?		
3-1	CSSD(学信網)が発行するVerification Report of China Secondary Education Qualification Certificateのプリントアウト ※英語版を提出してください	該当者	中国の現地正規課程による高等学校を卒業した場合は、 上記3に加えて、プリントアウトを入れましたか?		
3-2	Hong Kong Diploma of Secondary Education Examinationの証明書のコピー	該当者	香港の高等学校を卒業した場合は、 上記3に加えて、コピーを入れましたか?		
3-3	【国際的な評価団体の認定を受けた教育施設を修了(見込)の者】 国際的な評価団体の認定を受けている事を示す書類	該当者	国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS)の認定を受けた教育施設を修了(見込)の場合は、 修了(見込)の教育施設が国際的な評価団体の認定を受けている事を示す証明書やウェブサイトのプリントアウト等 を入れましたか?		
4	出身高等学校成績証明書	☐ コピー不可	・高等学校(3年間分、卒業見込者は直近の学期までの分)の成績証明書の 原本を入れましたか? ・卒業見込者を除いて、一部の学年・学期の成績が記載されていない場合は、その理由を証明する出身学校作成の書類を入れましたか? ※転校した場合は、在籍した全ての学校から成績証明書を取り寄せてください。		
	【大学を卒業している者】 大学成績証明書	該当者 コピー不可	高等学校(3年間分)の成績証明書と大学(全学年分)の成績証明書の 原本を入れましたか?		
5	準備教育課程修了証明書または修了見込証明書	該当者 コピー不可	原本を入れましたか?		

- カラーコピーや、インターネットからダウンロードした書類で印影やサインが印刷されたものは、原本と見なしませんので紙の原本を提出してください。原本公証を受けたコピーは原本とは見なしません。
- 出身高等学校の卒業(見込)証明書は必ず全員が原本を提出してください。**CSSDのCertificateのみでは出願を受け付けません。**
- 証明書が日本語または英語以外の言語の場合は必ず大使館等で翻訳公証を受けた翻訳を提出してください。なお、**翻訳会社による翻訳は認められません。**
- 不明な点がある場合は、できるだけ早く留学生課国際入学係に問い合わせてください。

*出願先を記入してください(表面にも記入欄があります)。

	学部	学科
--	----	----

No	出 願 書 類	提出必須	注意事項	チェック欄 ✓	大学確認欄 (記入しないこと)
6	日本留学試験の次のいずれかの書類 ・成績確認書のプリントアウト ・受験票(2026年度第2回(11月実施)に限る)のコピー	○	指定されている回、指定科目を入試要項(2ページ、26ページ)で確認しましたか？		
7	英語能力を証明する書類 (提出免除に該当する場合は、「通常の課程による直近6年間の学校教育を英語で受けたことを証明する書類」)	○	・スコアの有効期限を入試要項(2ページ、26ページ)で確認しましたか？ ・提出時の注意事項を入試要項(13ページ、36ページ)で確認しましたか？ ・TOEFL iBT®テストまたはIELTSのスコアを試験実施団体から 本学へ直送する場合は、当てはまる欄に○を記入してください。	TOEFL iBT® テストの スコアを直送 IELTSの スコアを 直送	
8	▼ 様式② 推薦状	神学部 <u>コピー不可</u>	・推薦者に日本語または英語で記入するように依頼しましたか？		
9	【日本国内居住者※】 住民票記載事項証明書(コピー不可) ※出願時から入学時まで日本に引き続き滞在し、改めて在留資格認定証明書(COE)の申請が不要である者。 【日本国外居住者】 パスポートのコピー または 身分を証明する書類のコピー(パスポートがない場合)	○ <u>いずれか ひとつ</u>	・在留期間を確認しましたか？ ・国籍・在留資格・在留期間・在留期間の満了日が記載されていますか？ 顔写真・氏名のページのコピー(A4サイズ)を入れましたか？		
9-1	【韓国籍の者】 漢字氏名が記載された公的書類のコピー	該当者	韓国籍の者は、上記に加えて、コピーを入れましたか？		
10	写真票 ＊インターネット出願システムで作成	○	・出願者氏名欄を黒のボールペンで書きましたか？(鉛筆や消せるペンの使用不可)		
11	入学検定料納入を証明する書類	○	クレジットカードで納入した場合 入学検定料納入後に受信する「【同志社大学 学部外国人留学生入学試験】入学検定料入金確認のお知らせ」のメール画面または入金完了の画面(収納証明書でも可)をA4サイズの用紙に印刷し、出願書類とともに提出してください。 コンビニエンスストアの場合 入学検定料納入後に発行される収納証明書を、出願確認票の所定の欄に貼り付けて、出願書類とともに提出してください。 ペイジーの場合 入学検定料納入後に発行される明細票を、出願確認票の所定の欄に貼り付けて、出願書類とともに提出してください。 外国送金で納入した場合 取扱金融機関収納印のある振込金証明書、外国送金依頼書等を出願書類とともに提出してください。		
12	宛名シート ＊インターネット出願システムで作成	日本国内 居住者のみ	・受験票や選考結果通知の送付を希望する住所が印刷されていますか？		
13	▼ 様式③ 書類チェックシート(本紙)	○			
14	▼ 様式④ 2027年度同志社大学入学検定料免除措置申請書(Ⅰ期入試のみ)	該当者	・黒のボールペンで書きましたか？(鉛筆や消せるペンの使用不可)		
15	▼ 様式⑤ 2027年度特定国からの外国人留学生に対する支援奨学金願書(Ⅰ期入試のみ)	該当者	・黒のボールペンで書きましたか？(鉛筆や消せるペンの使用不可)		

※返却を希望する書類がある場合は、本依頼書の「返却希望書類」欄と「返却先住所・氏名」欄に必ず記入してください。

返却希望書類

原本が一度しか発行されない書類のみ返却します。大学が複数回発行可能な書類と判断した場合は返却しません。

返却先住所・氏名

様

※日本国外居住者は、英字で記入してください。

本依頼書への記載のない場合は、一切返却を行いません。
後日返却を依頼されても対応はできませんのでご注意ください。

※指定された国・地域に居住し、その国籍を
有する I 期入試出願者のみ申請可能

大学記入欄

※受験番号

2027 年度同志社大学入学検定料免除措置申請書 Request Form for Application Fee Waiver, 2027 Doshisha University

申請日： 年 月 日
Date of Request: Year Month Day

同志社大学の入学検定料免除を希望する場合は、本様式を作成し、他の書類と一緒に提出して下さい。また、本申請をする場合、所定の入学検定料の支払は不要です。万が一、支払った場合でも、返金は出来ませんので注意してください。

If you would like to request an application fee waiver, please submit this request form with the other documents. If you request an application fee waiver, you are not required to pay the application fee. Please note that you will not be reimbursed under any circumstances once the payment of application fee has been made.

志望学部：

Desired Faculty _____

氏名：

Name _____

姓 Last

名 First

Middle

国籍 1：

Nationality 1 _____

国籍 2：

Nationality 2 _____

(for applicants with dual nationality)

現住所：

Present address _____

〒

Tel(Home)：

Mobile：

E-mail：

◆該当国/Eligible Countries *ODA受給国 (46 recipient countries of ODA, reporting on 2025 flows)

○ 後開発途上国 (Least Developed Countries)

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベナン、ブルキナファソ、ブルンジ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、馬拉ウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン共和国、スーダン、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、イエメン、ザンビア

Afghanistan, Angola, Bangladesh, Benin, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Central African Rep., Chad, Comoros, Democratic Republic of the Congo, Djibouti, Eritrea, Ethiopia, Gambia, Guinea, Guinea-Bissau, Haiti, Kiribati, Laos People's Democratic Republic, Lesotho, Liberia, Madagascar, Malawi, Mali, Mauritania, Mozambique, Myanmar, Nepal, Niger, Rwanda, Senegal, Sierra Leone, Solomon Islands, Somalia, South Sudan, Sudan, Tanzania, Timor-Leste, Togo, Tuvalu, Uganda, Yemen, Zambia

○ 低所得国 (Low Income Countries which are not LDCs)

朝鮮民主主義人民共和国、シリア・アラブ共和国
D.P.R.Korea, Syrian Arab Republic

※指定された国・地域に居住し、その国籍を有するⅠ期入試出願者のみ申請可能

大学記入欄

様式⑤

※受験番号

2027 年度特定国からの外国人留学生に対する支援奨学金願書

志望学部	学部		学科		コース	
国または地域	国籍に○印を記入してください。 ※下記の国に居住し、その国籍を有する者以外は申請できません。 ○後開発途上国 (Least Developed Countries) アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベナン、ブルキナファソ、ブルンジ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、馬拉ウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン共和国、スーダン、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、イエメン、ザンビア ○低所得国 (Low Income Countries which are not LDCs) 朝鮮民主主義人民共和国、シリア・アラブ共和国					
カナ氏名	姓		名			
漢字氏名 (あれば)						
英字氏名						
生年月日	年 月 日 (歳)【2027.4.1 現在】			性別	男 ・ 女	
連絡先	〒 -					
	電話番号： - -			E-mail:		
	携帯番号： - -					
学費および生活費の出所	家族から・連絡人から・奨学金から・その他から ()					
過去および現在申請中の奨学金	年度		奨学金名：			
	受給金額：月額・年額		円	受給期間：		年 月～ 年 月
	年度		奨学金名：			
	受給金額：月額・年額		円	受給期間：		年 月～ 年 月
	年度		奨学金名：			
受給金額：月額・年額		円	受給期間：		年 月～ 年 月	

【奨学金出願理由】 金額などをあげて経済状況を中心に具体的に詳しく記載してください。

様式⑤

[illegible]

〈本外国人留学生入学試験以外による外国人留学生の受け入れについて〉

1. 本学の外国人留学生には、正規学生以外に特別学生という身分があります。その取り扱いとは以下のとおりです（ただし、本外国人留学生入学試験要項による学部の特別学生は募集しません）。

【外国人留学生（特別学生）】

学部または大学院において特定の科目を履修する者もしくは聴講する者、または研究指導を受ける者とし、その取り扱いは以下のとおりとします。

- (1) 入学時期は原則として4月とします。ただし、特別の事情がある者については、所定の審議を経て、4月以外に入学を認める場合があります。
 - (2) 在学期間は原則として半年以上1年以下とします。ただし、審議のうえ1年を限度として、在学期間の延長を認める場合があります。
 - (3) 原則として年度内20単位まで学科目登録ができます。特定の指導教授を定めて、学業に専念できるよう指導します。
 - (4) 履修した科目の単位は、正規学生としての卒業（修了）単位として認定されることがあります。
 - (5) 登録科目の試験に合格した場合は、その科目の履修証明書を発行することがあります。
2. 日本政府、外国政府関係機関、同志社大学と学術交流協定を結んでいる外国の大学、その他国内外の財団法人等の機関から依頼がある場合、あるいはこれらの機関から奨学金を支給されることになっている場合には、同志社大学所定以外の出願書類を受理し、所定の選考時期以外に選考することがあります。
 3. 前項の機関等から依頼があり、本学が特に必要と認めた場合は、通常の特別学生の在学期間（原則として半年以上1年以下とし、審査のうえ1年を限度として在学期間を延長する）以外の在学期間を認めることがあります。
 4. AKPおよびチュービンゲン大学同志社日本研究センター（旧名称：チュービンゲン大学同志社日本語センター）修了者で、引き続き本学法学部での勉学を志す外国人留学生に対して、選考のうえ特別学生としての入学を認めることがあります。出願については、今出川キャンパス教務センター（法学部・法学研究科）に問い合わせてください。

志願者の個人情報の保護について

本学では、「個人情報の保護に関する法律」ならびに本学が定める「個人情報保護の基本方針」及び「同志社個人情報保護規程」に基づき、取得した個人情報の漏洩、流出、不正利用等がないよう必要かつ適正な管理を行います。入学試験の出願に際して出願者から提供された、住所、氏名、生年月日、写真をはじめとする個人情報は、入学試験の実施、入学手続、奨学生の採用、入学予定者に対して行う各種事業、入学者に対する入学後の教育指導及び、これらに付随する業務のために使用するほか、出願傾向に係る情報を分析して、入学試験制度及び入学広報の改善のために利用します。また、個人が特定できないデータの形で、入学試験制度に関する各種統計処理等のために利用します。上記業務の一部については外部業者等に委託し、個人データを提供することがあります。その場合、本学が委託先に対し、契約等により必要な事項を定めることで、当該個人データの安全管理が図られるよう必要かつ適切な監督を行います。

TOEFL[®]、TOEFL iBT[®]およびTOEICはエデュケーション・テスト・サービス（ETS）の登録商標です。この印刷物はETSの検討を受けまたはその承認を得たものではありません。

